

村山市
子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書

平成31年3月

山形県 村山市 子育て支援課

目 次

第1章 調査実施の概要について	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
(1) 調査票の種類と調査対象者等	1
3. 調査の実施方法と配布・回収状況	2
(1) 調査時期と調査方法	2
(2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	2
4. 報告書の見方について	3
(1) 年齢・学年の定義	3
(2) 電算処理の注意点	3
(3) グラフの見方について	3
5. 調査対象者の属性・家族状況について	4
(1) 就学前児童の属性	4
(2) 小学生の属性	5
(3) 居住地域と住宅の種類状況	6
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無	7
6. 調査結果からみた市全域の課題について	8
第2章 子育て家庭を取り巻く環境について	10
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	10
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	10
(2) 子育てに関する相談先	15
2. 保護者の就労状況について	17
(1) 母親の就労状況	17
(2) 父親の就労状況	26
(3) 育児休業制度の利用状況	34
第3章 子育て支援サービスの現在の利用状況と今後の利用希望について	36
1. 定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望について	36
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望	36
(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望	46
2. 地域の子育て支援事業の現在の利用状況と今後の利用希望について	52
(1) 地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況と今後の利用希望	52
(2) 病児・病後児保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望	54
(3) 不定期の教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望	61
(4) 宿泊を伴う一時保育事業の現在の利用状況	65
3. 放課後の過ごし方について	67
(1) 就学前児童の小学校就学後の平日の放課後の過ごし方の今後の希望	67
(2) 小学生の平日の放課後の過ごし方の現状と今後の希望	70
(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの今後の利用希望	77

4. 幼児教育・保育の無償化について	83
(1) 幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況	83
(2) 幼児教育・保育の無償化の実施によるサービス利用意向の変化	84
(3) 幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響	85
(4) 幼児教育・保育の無償化の実施によりさらに子どもを持つことへの考えの変化	86
第4章 子育て環境について	87
1. 子育ての情報源や悩んでいることについて	87
(1) 子育てに必要な施策などの情報の入手先	87
(2) 子育てに関して日常悩んでいることや気になること	89
(3) 父親の育児参加状況	91
2. 子育て環境について	92
(1) 教育・保育・学校の環境について望むこと	92
(2) 本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと	93
(3) 本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと	96
(4) 村山市の住みやすさ	99
(5) 村山市への定住意向と定住し続けるために必要なこと	100
(6) 地域における子育ての環境や支援への満足度	104
3. 自由意見について	105
資料編	107
1. 調査票（就学前児童）	107
2. 調査票（小学生）	131

第1章 調査実施の概要について

1. 調査の目的

村山市では、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「村山市子ども・子育て支援事業計画『むらやま子育て あいあるプラン』」を平成26年12月に策定し、子育てしやすい環境づくりのための諸施策を総合的に推進している。

今回、平成32年度から始まる次期計画を策定するにあたり、子育て家庭の現状とニーズを的確に把握・分析し、計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、2種類の調査票の趣旨は次のとおり。

(1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者別の調査内容は、以下のとおり。

① 調査票「村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者用）」	
調査対象者	就学前児童の保護者
調査件数	892件
調査内容	子育て家庭を取り巻く環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望、地域の子育て支援事業の現在の利用状況と今後の利用希望、放課後の過ごし方、幼児教育・保育の無償化、子育ての情報源や悩んでいること、子育て環境に関する設問 等
② 調査票「村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (小学1年生から3年生の保護者用)」	
調査対象者	小学1年生から3年生の保護者
調査件数	490件
調査内容	子育て家庭を取り巻く環境、保護者の就労状況、地域の子育て支援事業の現在の利用状況と今後の利用希望、放課後の過ごし方、子育ての情報源や悩んでいること、子育て環境に関する設問 等

3. 調査の実施方法と配布・回収状況

(1) 調査時期と調査方法

村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査は、平成30年12月13日～12月28日にかけて実施した（平成31年1月18日までの回収票も有効とした）。

「就学前児童の保護者」に対する調査方法について、幼稚園・保育園・認定こども園等を利用している就園児の保護者には施設を通して調査票を配布・回収し、未就園児の保護者には郵送により調査票を配布・回収した。

また、「小学生の保護者」に対する調査方法について、市立小学校に通学している小学1年生から3年生の保護者には小学校を通して調査票を配布・回収した。

(2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおり。

ニーズ調査では、各種の教育・保育事業のニーズ量を推計することから、調査の信頼度（95%）が求められている。今回の調査では、就学前児童の保護者447人、小学生の保護者333人から回答をいただいた。

調査の配布・回収状況

区 分	就学前児童の保護者			小学生の保護者		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	892人	447人	50.1%	490人	333人	68.0%

調査の信頼度

区 分	就学前児童の保護者			小学生の保護者		
	対象者数	回収数	必要 サンプル数	対象者数	回収数	必要 サンプル数
市全域	911人	447人	270人	490人	333人	216人

■社会調査信頼度95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

※n：サンプル数

N：全体の人数（母集団）

E：許容できる誤差の範囲

P：母比率 = 0.5 （50%のときに最大のサンプル数となるため）

k：信頼度係数 = 1.96 （通常、信頼度95%を基準とするため）

4. 報告書の見方について

国資料及びニーズ調査票では「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用しているが、この報告書では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学生」と表記している。

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行った。

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成29年4月以降	6歳児	平成23年4月～平成24年3月
1歳児	平成28年4月～平成29年3月	7歳児	平成22年4月～平成23年3月
2歳児	平成27年4月～平成28年3月	8歳児	平成21年4月～平成22年3月
3歳児	平成26年4月～平成27年3月		
4歳児	平成25年4月～平成26年3月		
5歳児	平成24年4月～平成25年3月		

(注) 調査期間【平成30年度】における年齢定義

(2) 電算処理の注意点

- ◆ 調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。

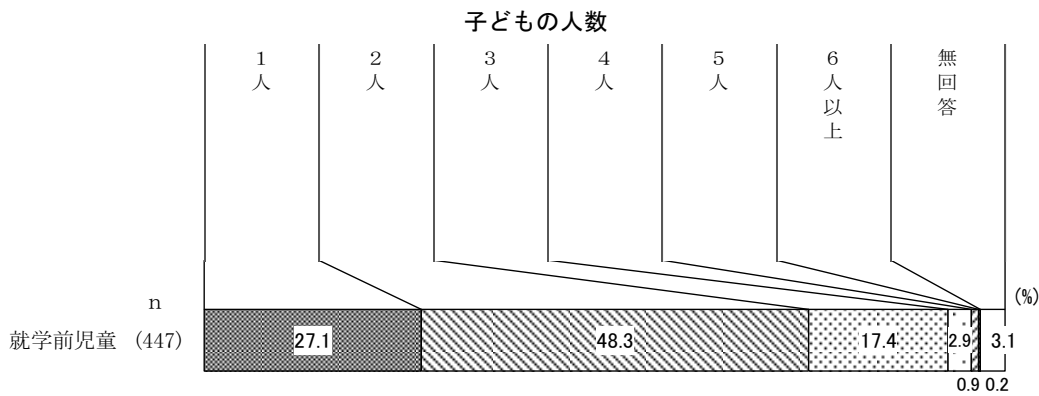
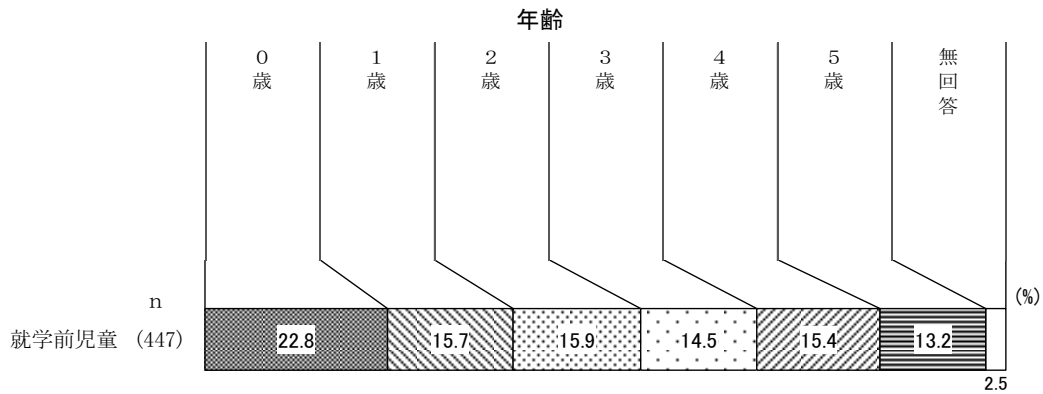
(3) グラフの見方について

- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

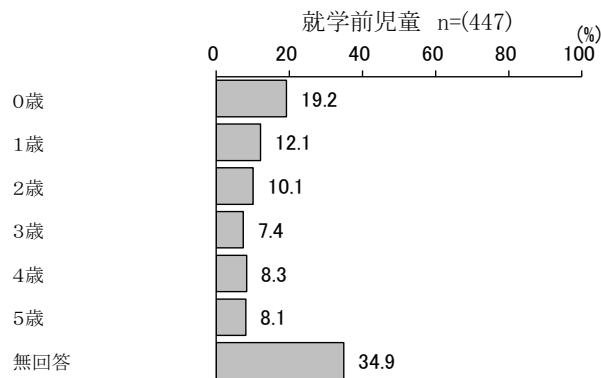
5. 調査対象者の属性・家族状況について

(1) 就学前児童の属性

回答された447件の就学前児童の属性は、以下のとおり。

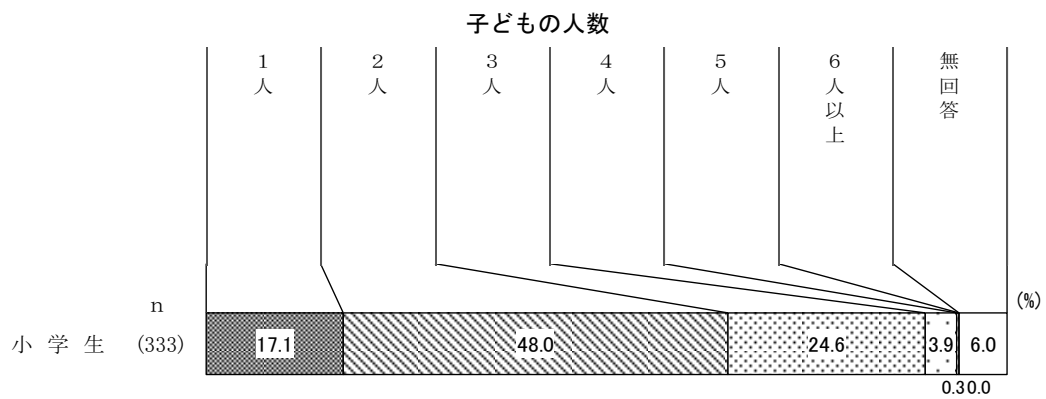
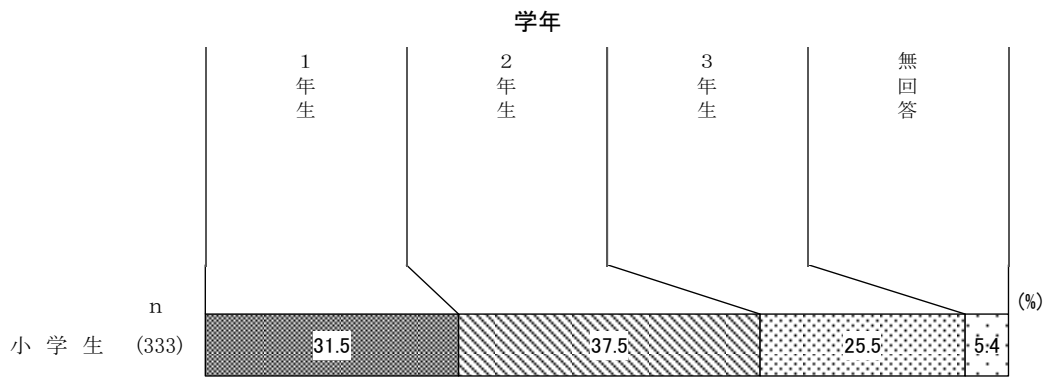


末子の年齢

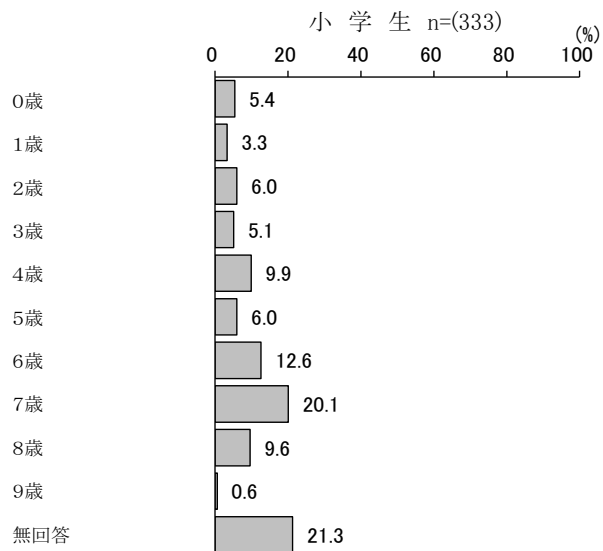


(2) 小学生の属性

回答された 333 件の小学生の属性は、以下のとおり。

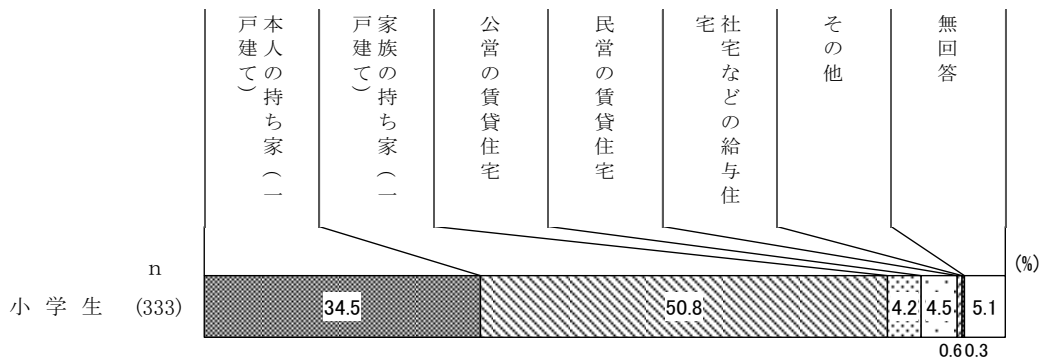
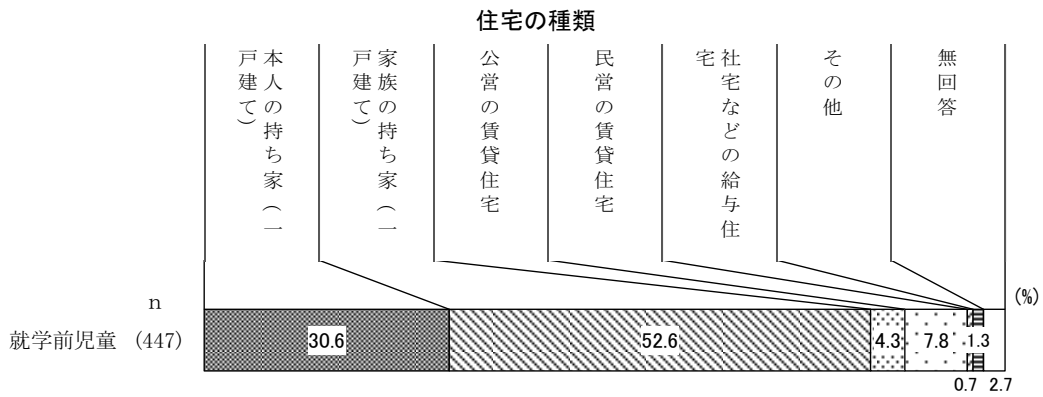
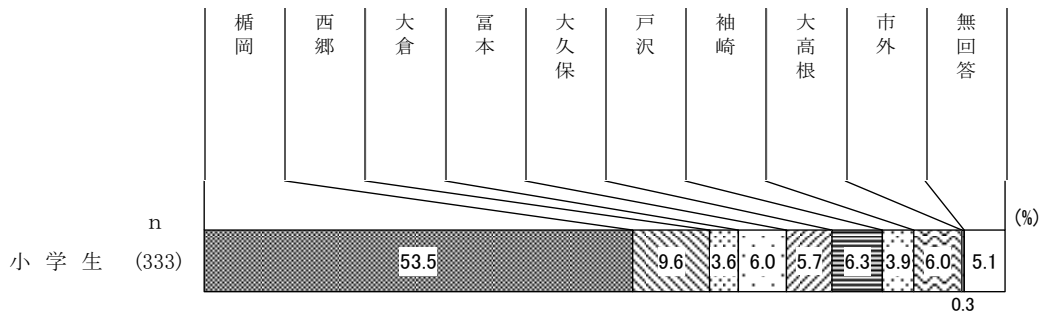
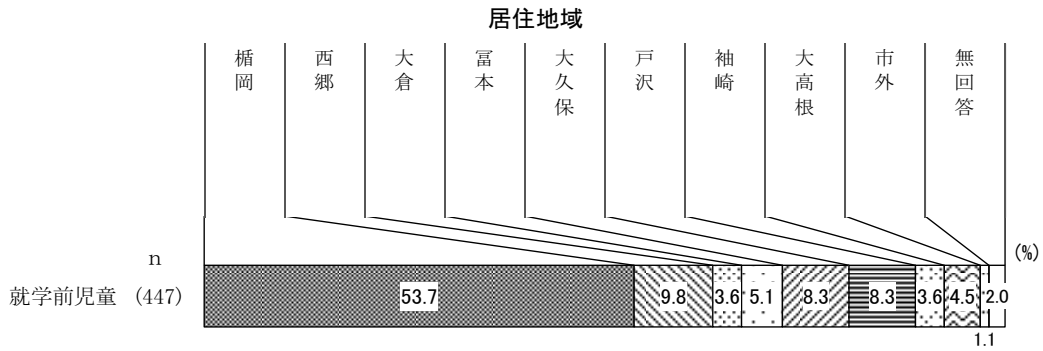


末子の年齢



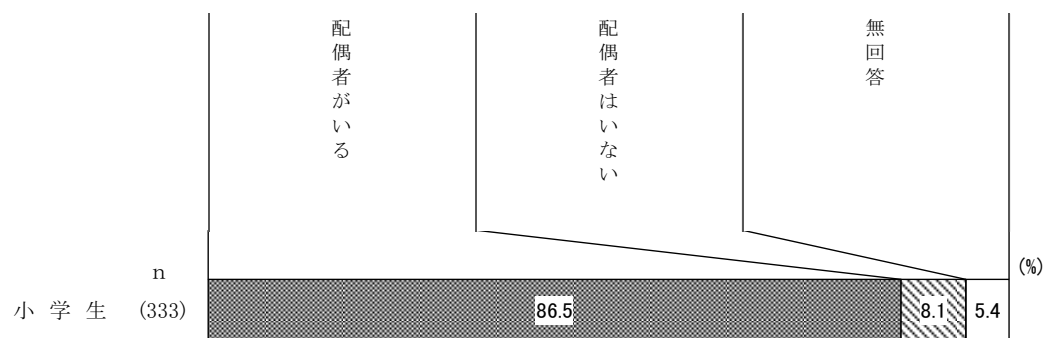
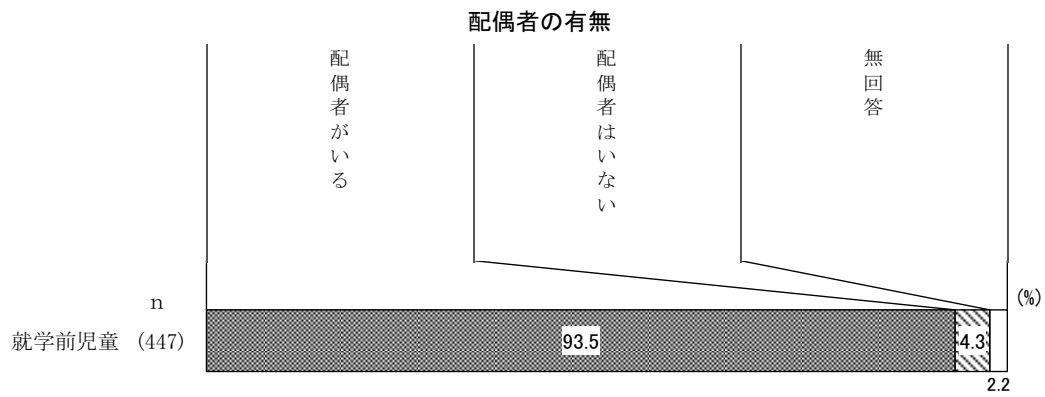
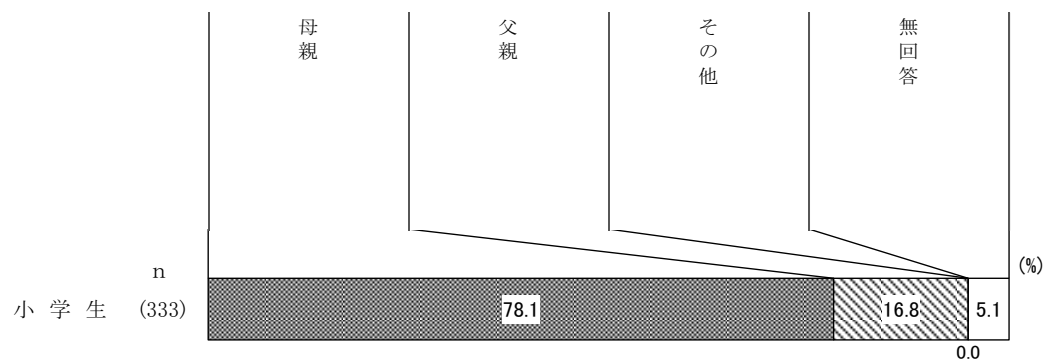
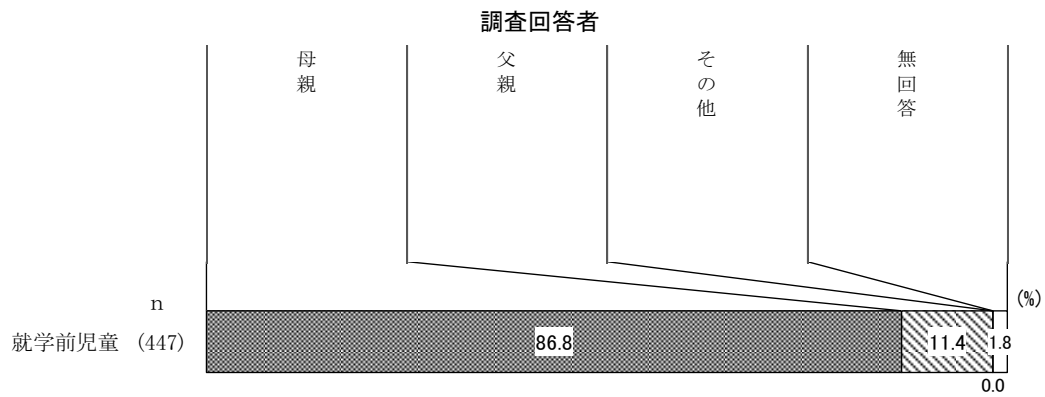
(3) 居住地域と住宅の種類

回答者が居住している地域及び住宅の種類は、以下のとおり。



(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

この調査の回答者は、以下のとおり。



6. 調査結果からみた市全域の課題について

※[]は小学生調査の問番号をあらわす

課題1 教育・保育事業の多様性の維持

平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況をみると、「利用」が78.7%であり、0歳で47.1%、1歳で71.4%、2歳で81.7%、3歳以上で97.4%と、利用年齢の低年齢化が進んでいる。

平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望をみると、「保育園」（現状49.7%・希望52.6%）が最も多く、以下「認定こども園」（現状27.3%・希望33.6%）、「幼稚園」（現状17.3%・希望30.0%）となっており、いずれも現状を上回るニーズがある。【問14、問14-1、問15】36・37・44頁参照

課題2 幼児の教育・保育事業の無償化への対応

幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況をみると、「内容を知っている」は11.2%にとどまっていることから、今後、内容の詳細も含めての幼児教育・保育の無償化の制度の周知徹底が重要と考えられる。

無償化の実施によるサービス利用意向の変化をみると、「保育園を利用したい」、「認定こども園を利用したい」、「幼稚園を利用したい」の順になっており、サービスを利用したいと考える方は約85%と、現状の利用の78.7%を上回っている。

さらに子どもを持つことへの考えの変化をみると、「前向きに考えると思う」が42.9%となっており、教育・保育事業の拡充と出生動向を合わせて勘案していく必要がある。【問28、問29、問31】83・84・86頁参照

課題3 病児・病後児保育事業の拡充の検討

病気やケガで、平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」は、就学前児童で74.7%、小学生で53.8%であり、子どもの成長に伴い減少している。父親または母親が休んで看病した方の今後の病児・病後児保育施設の利用意向は就学前児童では29.7%、小学生では13.5%であり、子どもが2歳以下で40%弱であるなど幼いほどニーズが高く、事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の希望が圧倒的に多く、年少者に対応したサービスが求められる。【問20、問20-2、問20-3 [問16、問16-2、問16-3]】54・56・57頁参照

課題4 放課後児童クラブ（学童保育）の見込みの検討

小学生の平日の放課後の過ごし方の現状と希望をみると、ともに上位は、順位は逆転するが同じ項目であり、「放課後児童クラブ [学童保育]」（現状48.6%・希望52.6%）と「自宅」（現状46.2%・希望61.3%）がともに多く、「放課後児童クラブ [学童保育]」の希望は1年生で64.8%と低学年ほど多くなっている。

5歳以上の就学前児童の家庭の希望をみると、小学生に比べ、「放課後児童クラブ [学童保育]」（61.0%）の希望が多く、理想と現実の違いを考慮した見込みを検討する必要がある。【問24 [問12、問13]】67・70・74頁参照

課題5 教育・保育・学校環境の充実

教育・保育・学校環境について望むことをみると、「子どもの安全体制が十分なこと」（就学前児童49.2%・小学生56.2%）、が最も多いが、就学前児童では「自宅や職場などの近所にあること」（就学前児童44.5%・小学生29.4%）も重視していることがわかる。【問35 [問21]】92頁参照

課題6 本市独自の子育て支援施策の充実

本市独自の子育て支援施策の評価をみると、評価派の比率は、就学前児童でより高く、13項目中11項目が80%以上であり、そのうち上位5位は『産後1ヶ月の母子健診が無料』、『保育料が半額』、『中学3年生まで医療費が無料』、『給付型奨学金』、『児童手当に年額9万円プラス』と、90%以上の高評価となっている。小学生の評価派の出産前・乳児期向けの項目の評価比率は就学前児童に比べやや下がっている。

今後力を入れるべき項目で賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なっており、今後も継続が望まれる。

なお、転入者、住宅関連など対象者が限定されかつ1回限りの項目の評価は、他の項目に比べ低く、今後の力を入れるべき項目でも賛同者比率が低くなっているため、意義の理解を深める啓発活動が必要と思われる。【問36〔問22〕】93頁参照

課題7 本市全体の子育て支援施策の充実

本市全体の子育て支援施策の評価をみると、評価派の比率は、就学前児童でより高く、『…母体や子どもの健康確保のための支援』、『…様々なニーズに対応した預かりの仕組み』、『…親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み』、『…障がい児家庭やひとり親家庭への支援』が80%以上となっている。小学生の評価派では、『困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実』も上位となっている。

今後力を入れるべき項目をみると、賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なり、就学前児童で上位3項目、小学生で上位4項目は同様となっているが、現状の評価が低い『遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり』が上位にあがってきている。

なお、今後の力を入れるべき項目で「どちらともいえない」が多い『…親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み』、『…相談しやすく情報を得やすい体制づくり』、『…命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり』の3項目については、今後は内容の周知を一層図る必要がある。【問37〔問23〕】96頁参照

課題8 保護者の就労状況と働き方改革の促進

就労状況をみると、母親がフルタイムやパート・アルバイト等で就労しているのは、就学前児童では74.3%であるが、小学生では85.6%に増えている。一方、父親はフルタイムが圧倒的に多くなっている。

育児休業の取得状況をみると、母親は「取得した（取得中である）」が53.2%と、父親（2.9%）を大きく上回っている。育児休業を取得していない理由をみると、母親は「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が最も多く、「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」の順になっている。一方、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が最も多く、以下「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の順になっており、母親の理由との違いがみられるが、共通しているのは「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」といった職場の理解であり、働き方改革の促進が重要である。【問11、問27〔問9〕】17・34頁参照

第2章 子育て家庭を取り巻く環境について

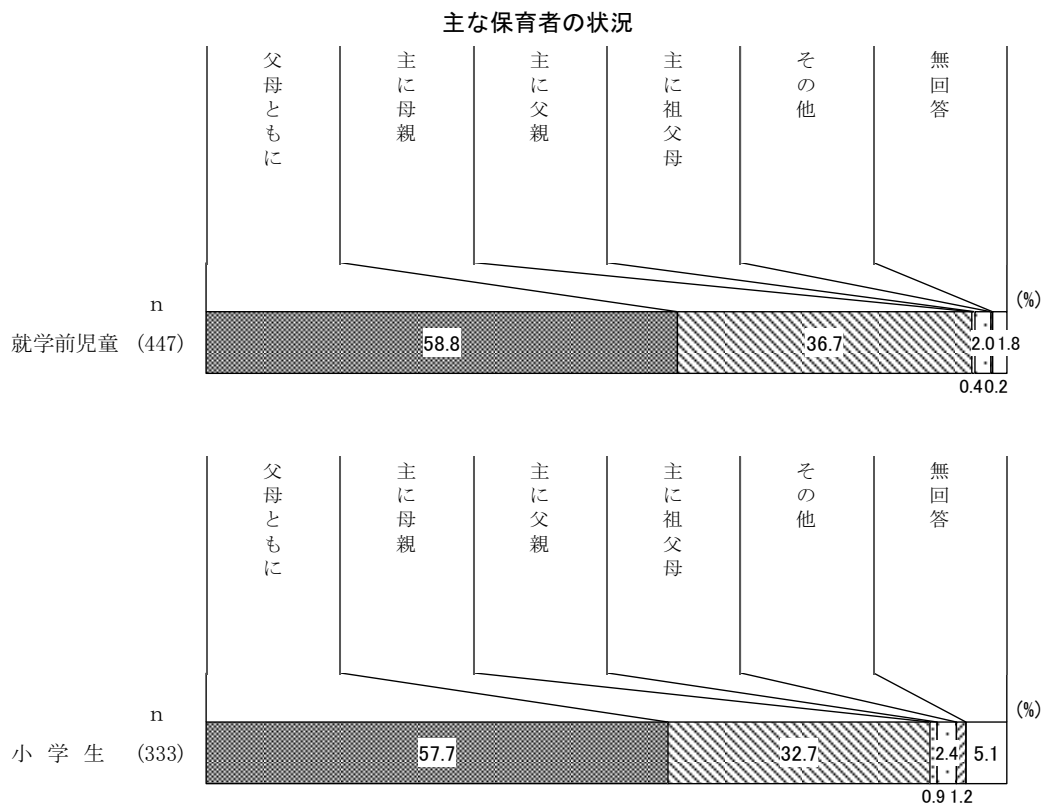
1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況を見ると、両者ともに「父母ともに」（就学前児童 58.8%・小学生 57.7%）と「主に母親」（就学前児童 36.7%・小学生 32.7%）が大半を占めている。

【就学前児童 問6】【小学生 問6】

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

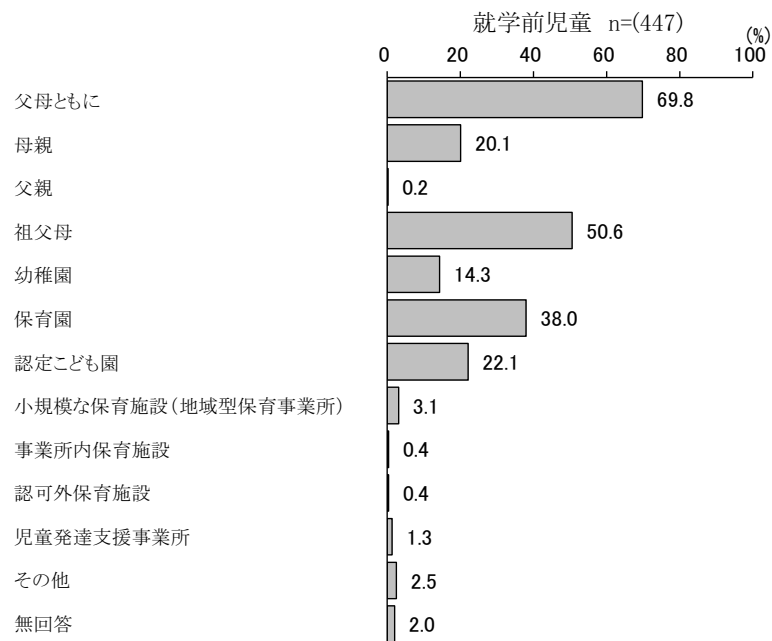


○日常的に子育てに関わっている方（施設含む）をみると、「父母ともに」（69.8%）、「祖父母」（50.6%）、「保育園」（38.0%）、「認定こども園」（22.1%）、「母親」（20.1%）の順に多くなっている。

【就学前児童 問7】

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



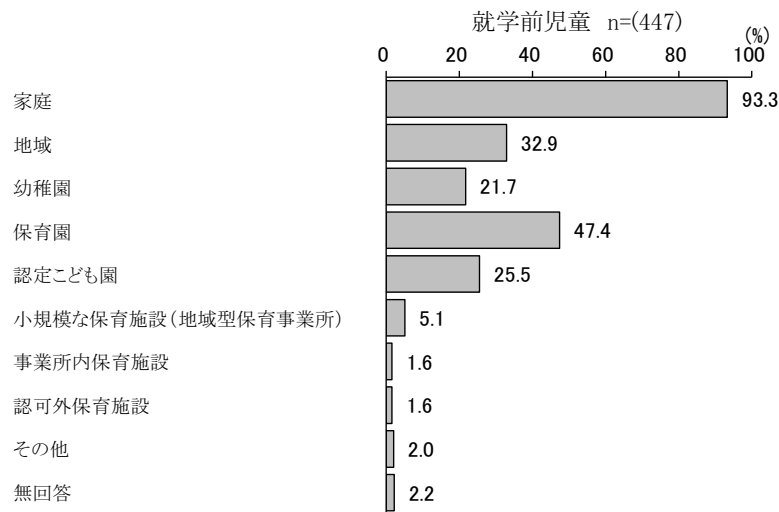
○子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」(93.3%)が最も多く、以下「保育園」(47.4%)、「地域」(32.9%)、「認定こども園」(25.5%)、「幼稚園」(21.7%)の順になっている。

【就学前児童 問8】

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

子育てに影響を与える環境

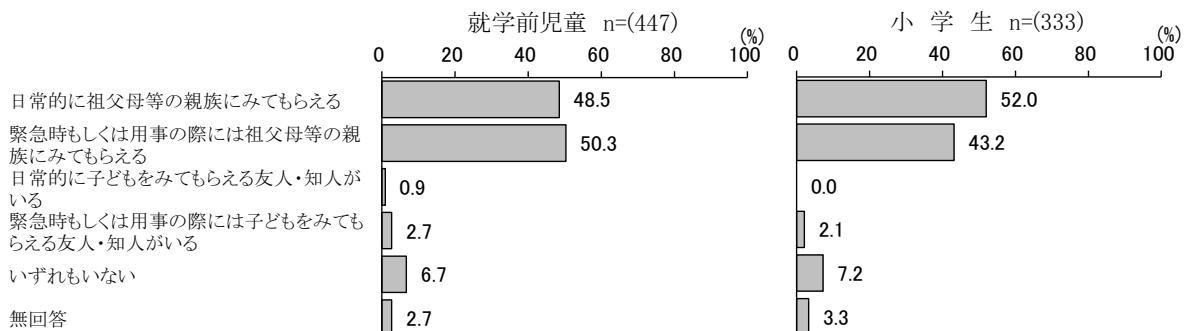


○主な親族等協力者の状況をみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童 48.5%・小学生 52.0%)、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童 50.3%・小学生 43.2%)が上位2項目になっている。

【就学前児童 問9】【小学生 問7】

日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

主な親族等協力者の状況



○祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えをみると、「(祖父母等の親族の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」(就学前児童 56.8%・小学生 55.8%) が最も多く、50%以上の方が安心して子どもを預けられる環境があると回答している。一方、「(祖父母等の親族の) 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童 26.3%・小学生 24.8%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童 25.6%・小学生 26.9%) と心配や心苦しさを感じている方も一定数いる。

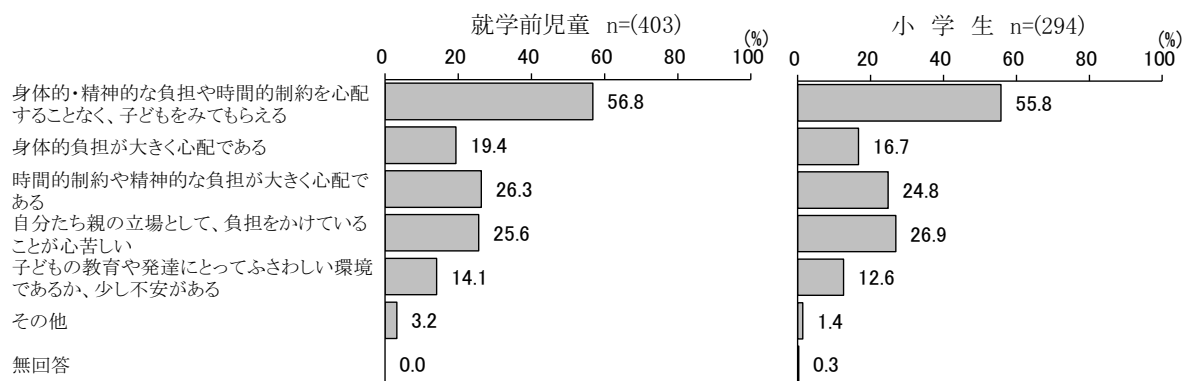
【就学前児童 問9-1】【小学生 問7-1】

問9 (小学生 問7) で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



○友人・知人に子どもをみてもらうことへの考えをみると、就学前児童では「(友人・知人の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(ともに 61.5%) が最も多くなっている。小学生では「(友人・知人の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、子どもをみてもらえる」(57.1%) が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(42.9%) となっている。

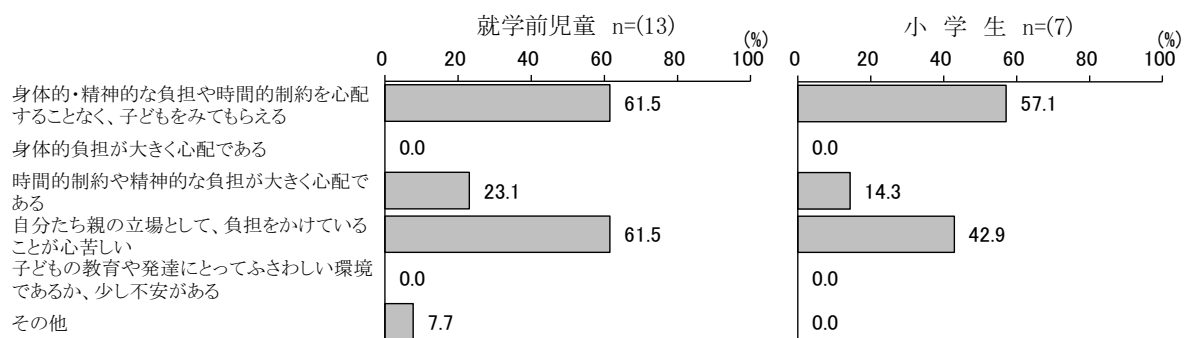
【就学前児童 問9-2】【小学生 問7-2】

問9 (小学生 問7) で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え

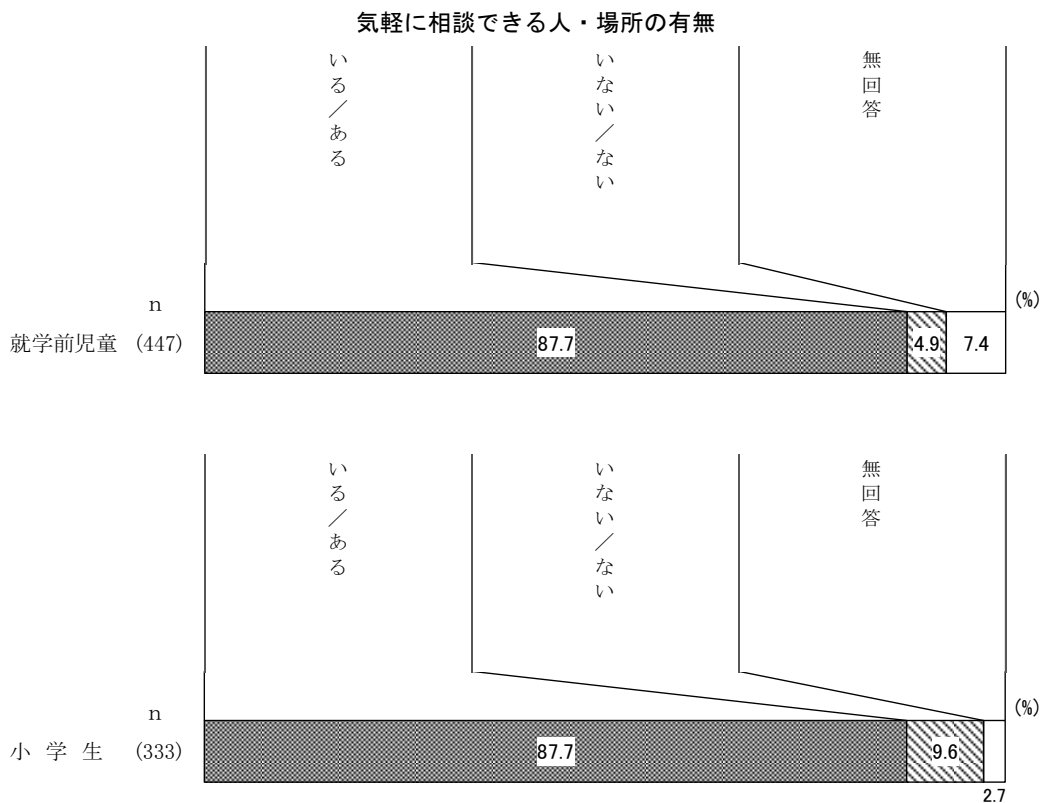


(2) 子育てに関する相談先

○気軽に相談できる人・場所の有無をみると、「いる／ある」(就学前児童87.7%・小学生87.7%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と回答している。一方、「いない／ない」は小学生が9.6%と、就学前児童(4.9%)を4.7ポイント上回っている。

【就学前児童 問10】【小学生 問8】

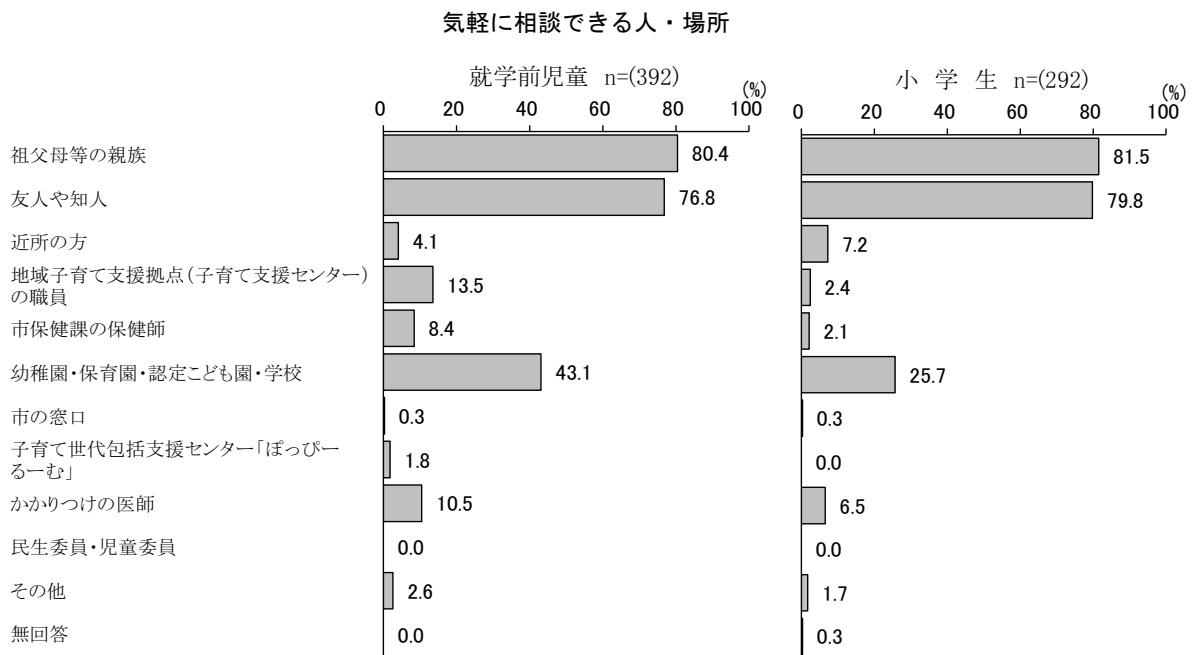
宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる方はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)



○気軽に相談できる人・場所をみると、「祖父母等の親族」(就学前児童 80.4%・小学生 81.5%)、「友人や知人」(就学前児童 76.8%・小学生 79.8%)、「幼稚園・保育園・認定こども園・学校」(就学前児童 43.1%・小学生 25.7%)の順になっている。

【就学前児童 問10-1】【小学生 問8-1】

問10(小学生 問8)で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)



<村山市の地域子育て支援拠点(子育て世代包括支援センター・子育て支援センター)>

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター「ほっぴーるーむ」(保健センター内)	妊産婦のみなさんや子育て中のママが安心して楽しく子育てできるよう応援する相談窓口です。助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが、妊娠・出産・育児に関する一貫した相談支援を行います。母子保健コーディネーターをはじめ、保健師、管理栄養士もあわせてきめ細やかなサポートをしていきます。※利用は無料。
子育て支援センターポポーのひろば(甌葉プラザ内)	【NPO 法人ポポーのひろば】 毎月または季節に応じて、親子で参加出来る楽しいイベントを開催しています。
子育て支援センターぐんぐん(戸沢保育園内)	【(福)敬愛信の会】 育児に関する相談のほか育児講座、地域に出向いて子育て家庭対象のイベントなどを開催します。
子育て支援センターどんぐり広場(認定こども園ふたば大高根保育園内)	【(福)ふたば保育園】 子育て相談窓口、屋内遊び場、育児講座、地域交流の場など充実した内容です。

2. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

○母親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(49.9%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(24.4%)を合わせた74.3%の方が就労し、現在産休・育休・介護休業中の方が10.8%となっている。小学生では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(55.3%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(30.3%)を合わせた85.6%の方が就労し、現在、産休・育休・介護休業中の方が4.5%と就学前児童と比べて減少している。

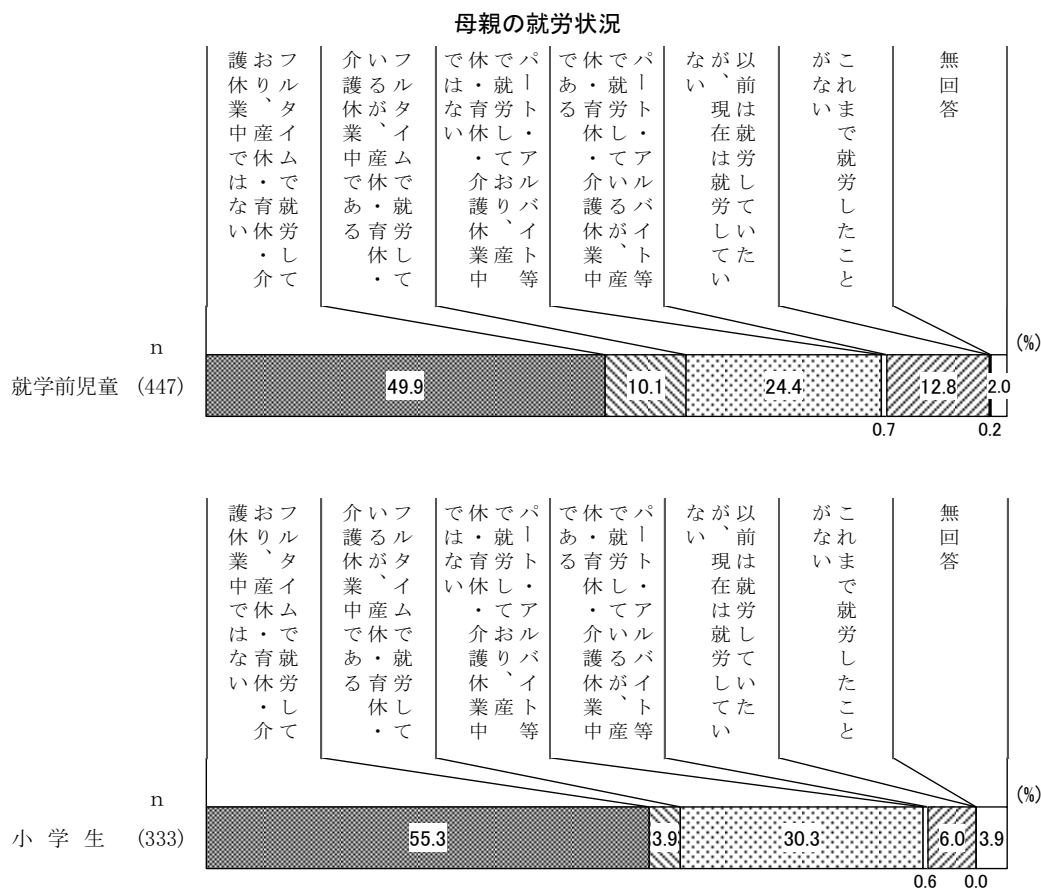
【就学前児童 問11】【小学生 問9】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)



○母親の就労日数・就労時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 74.2%・小学生 78.7%）が最も多く、就労時間は1日当たり「8～9時間」（就学前児童 58.4%・小学生 53.7%）が最も多くなっており、就学前児童と小学生の母親で大きな違いはみられない。

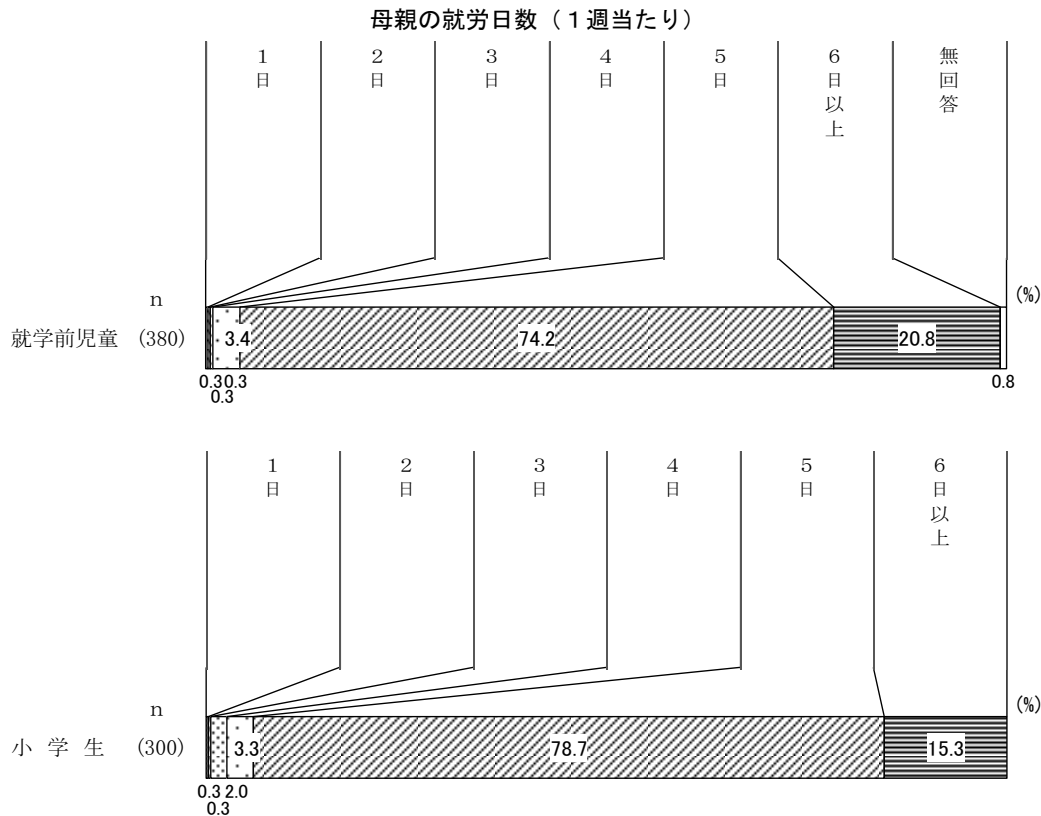
(2)-1 (1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

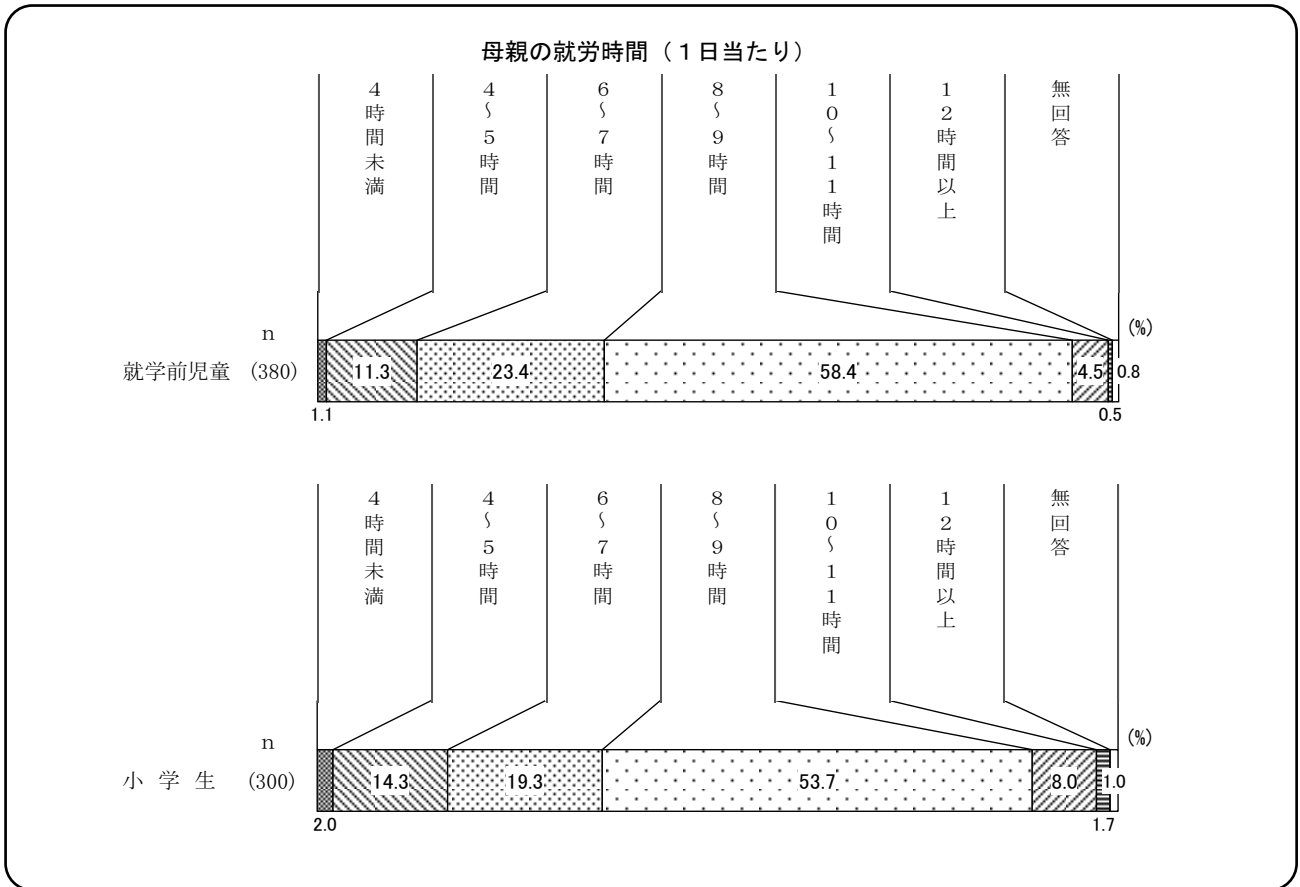
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。





○母親の出勤時間・帰宅時間をみると、出勤時間は「8時台」（就学前児童 53.9%・小学生 50.3%）、「7時台」（就学前児童 30.3%・小学生 27.3%）の順に多く、帰宅時間は「18～19時台」（就学前児童 58.4%・小学生 52.3%）、「16～17時台」（就学前児童 30.8%・小学生 27.0%）の順になっており、大きな違いはみられない。なお、帰宅が20時以降になる母親は就学前児童では3.5%、小学生では10.7%となっている。

(2)-2 (1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

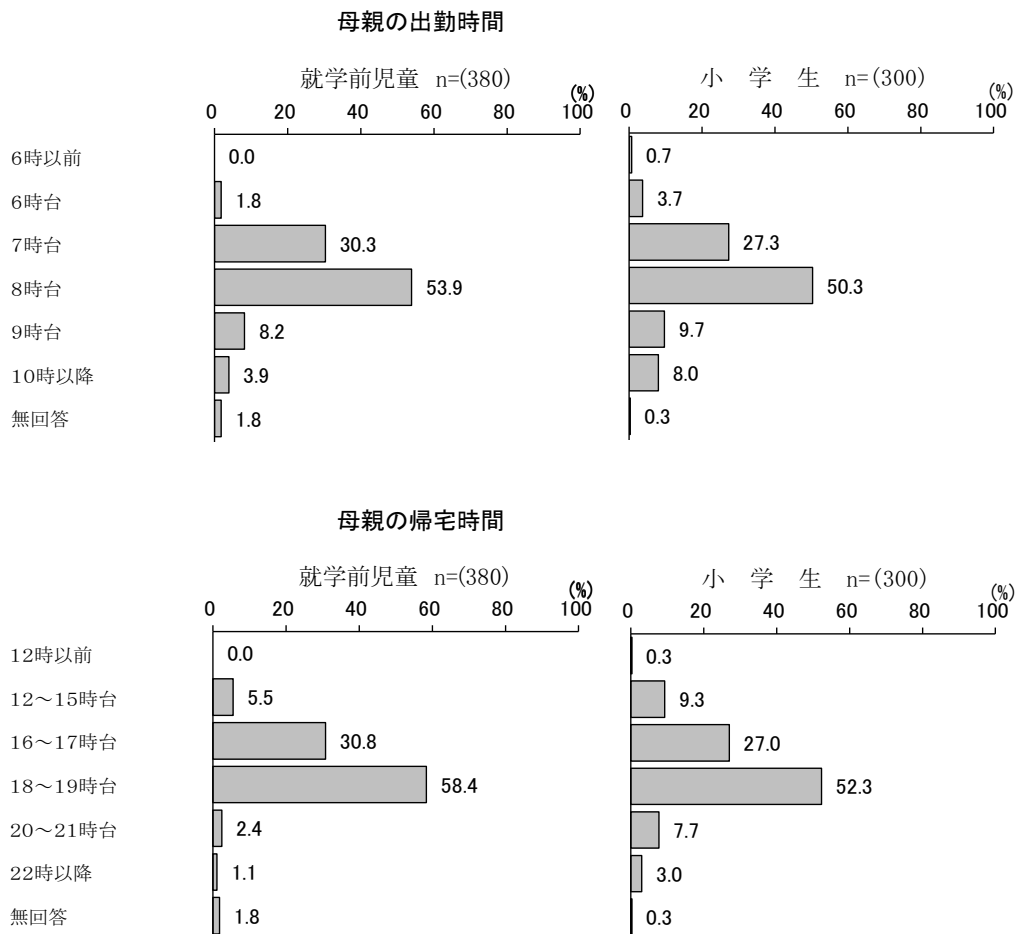
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

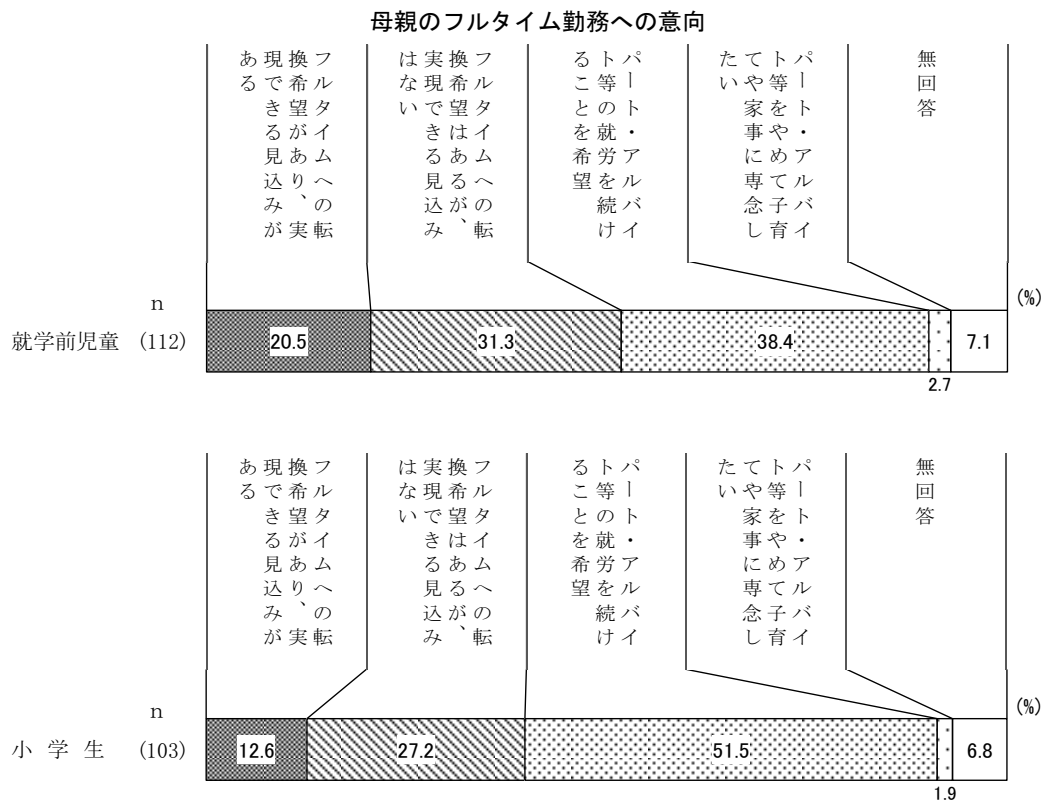


○パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイム勤務への意向をみると、両者ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（就学前児童 38.4%・小学生 51.5%）が最も多くなっている。また、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は 51.8%となっているが、実現できる見込みのある方は 20.5%にとどまっている。一方、小学生でもフルタイム勤務を希望する方は 39.8%となっているが、実現できる見込みのある方は 12.6%と前者と同様に希望者のごく一部にとどまっている。

【就学前児童 問12】【小学生 問10】

問11の(1)(小学生 問9(1))で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13(小学生 問11)へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)



○現在は就労していないまたはこれまで就労したことがない母親の今後の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」（就学前児童 48.3%・小学生 55.0%）が最も多く、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」（就学前児童 37.9%・小学生 25.0%）を上回っている。なお、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は、小学生の母親が 20.0%と就学前児童の母親（13.8%）を上回っている。

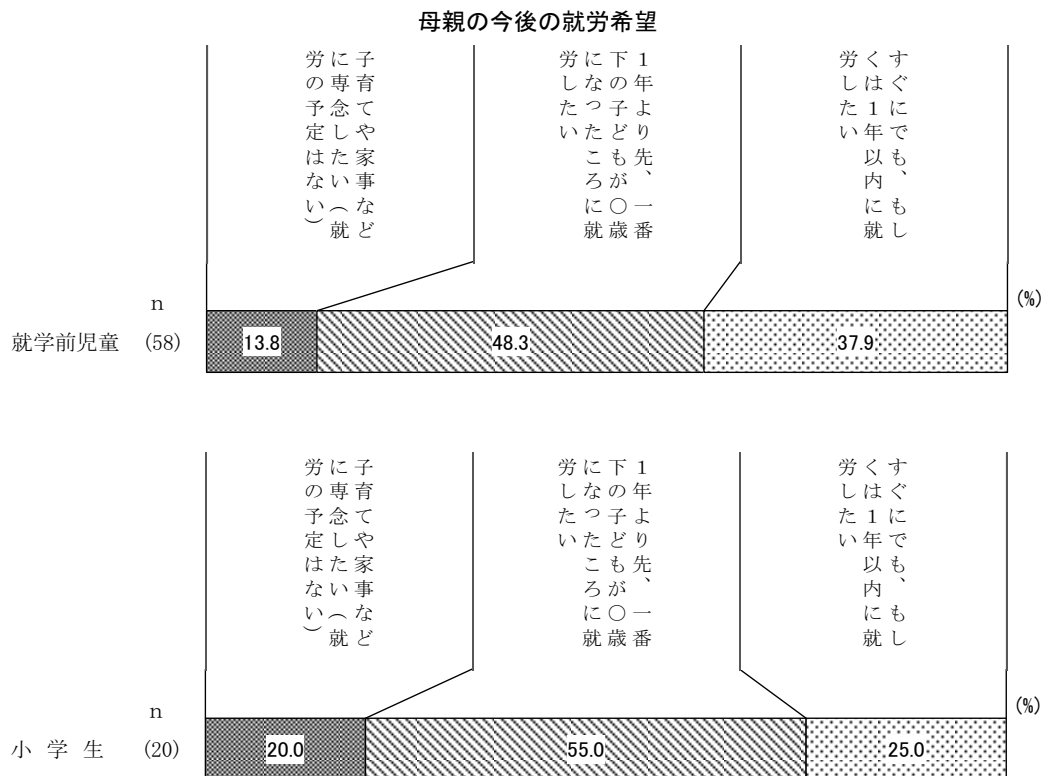
○1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい母親の就労希望時の末子の年齢をみると、就学前児童では「0～3歳」（60.7%）、「6～8歳」（21.4%）、「4～5歳」（17.9%）の順になっている。小学生では「0～3歳」「6～8歳」（ともに 36.4%）、「9～11歳」（18.2%）、「4～5歳」（9.1%）の順になっている。

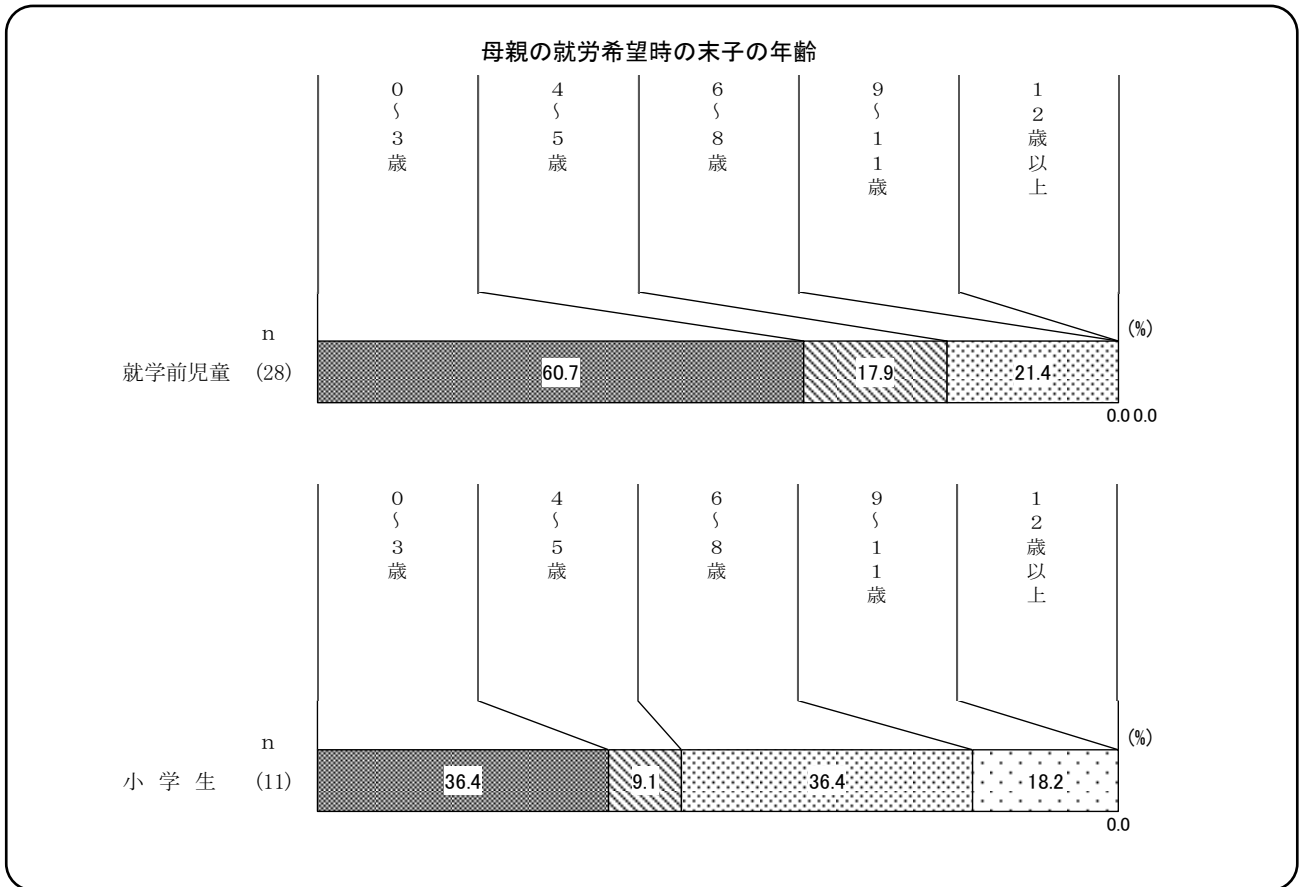
【就学前児童 問13】【小学生 問11】

問11の(1)（小学生 問9(1)）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。





○就労希望のある母親の希望する就業形態をみると、両者ともに「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」（就学前児童 52.0%・小学生 81.3%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（就学前児童 40.0%・小学生 12.5%）の順となっているが、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」は就学前児童が小学生を大きく上回っている。

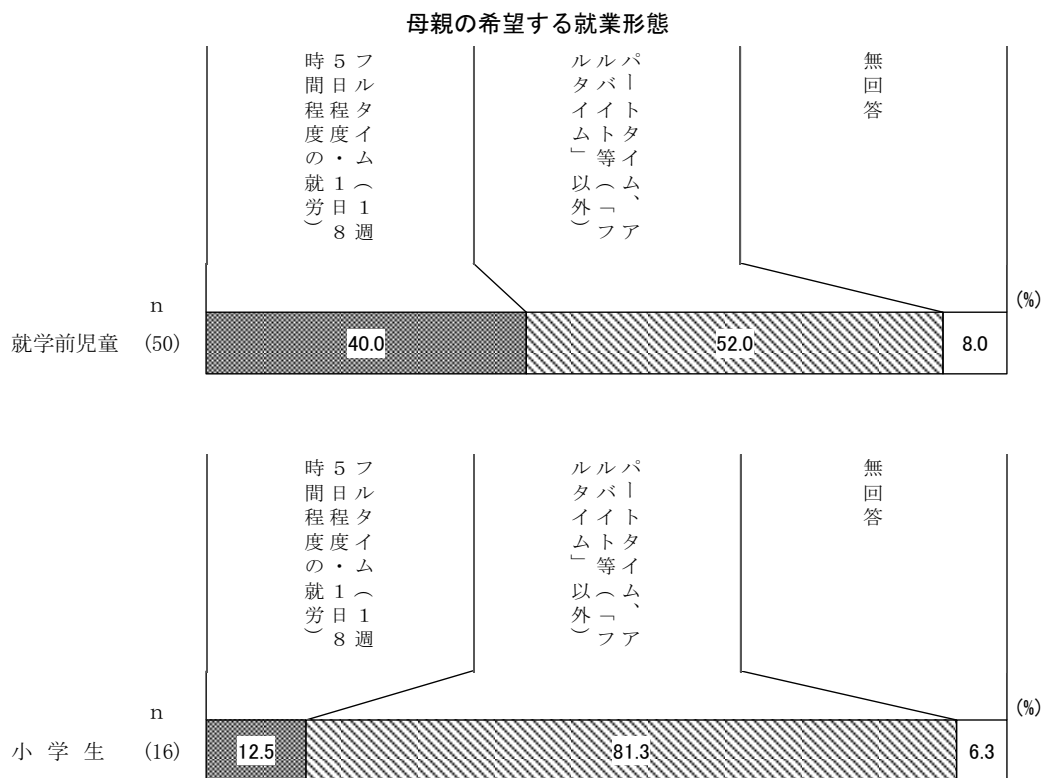
○就労希望の母親のパートタイム、アルバイト等での希望就労日数・希望就労時間をみると、希望就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 57.7%・小学生 69.2%）が最も多く、希望就労時間は1日当たり「4～5時間」（就学前児童 61.5%・小学生 69.2%）が最も多く、以下「6～7時間」（就学前児童 23.1%・小学生 30.8%）となっている。

【就学前児童 問13-1】【小学生 問11-1】

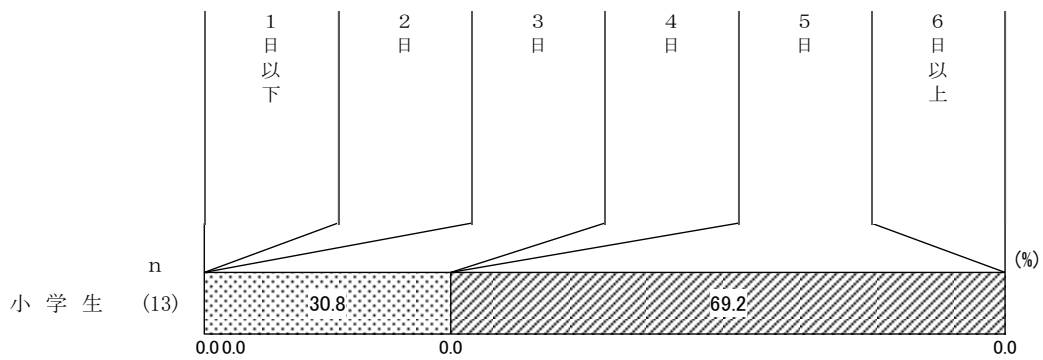
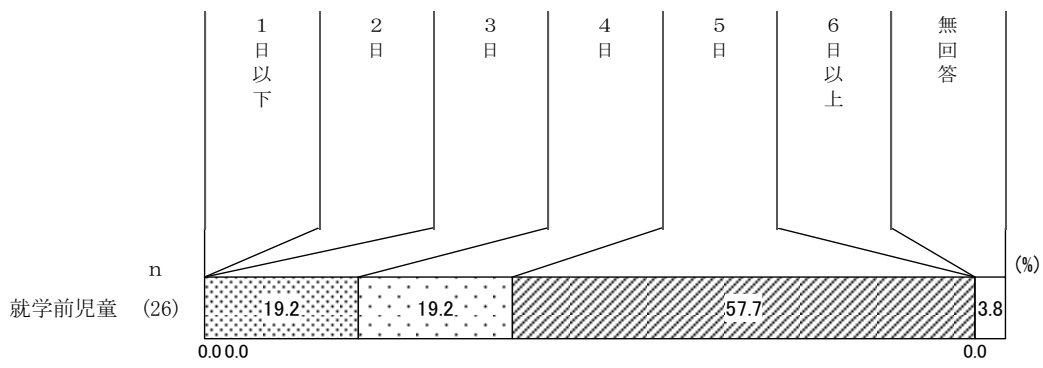
問13（小学生 問11）で「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

希望する就労形態をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

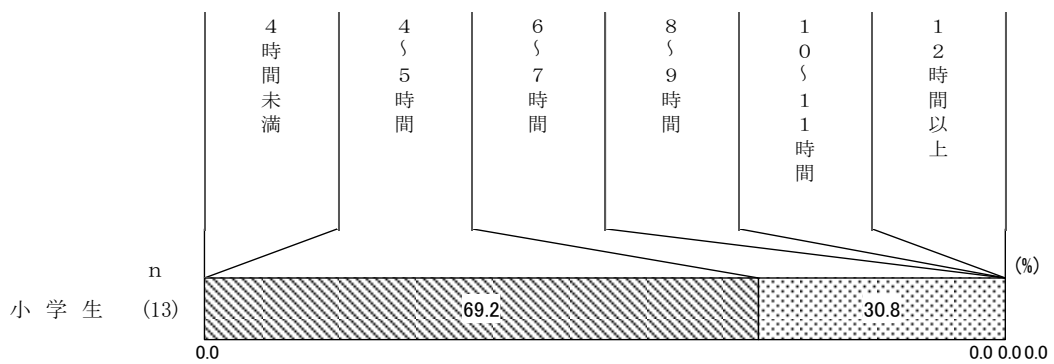
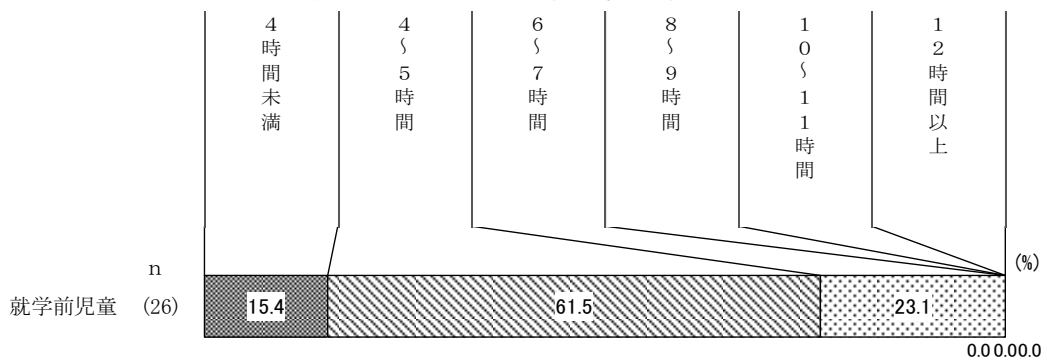
※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労日数（1週当たり）



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労時間（1日当たり）



(2) 父親の就労状況

○父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（就学前児童 92.8%・小学生 88.9%）が圧倒的に多くなっている。

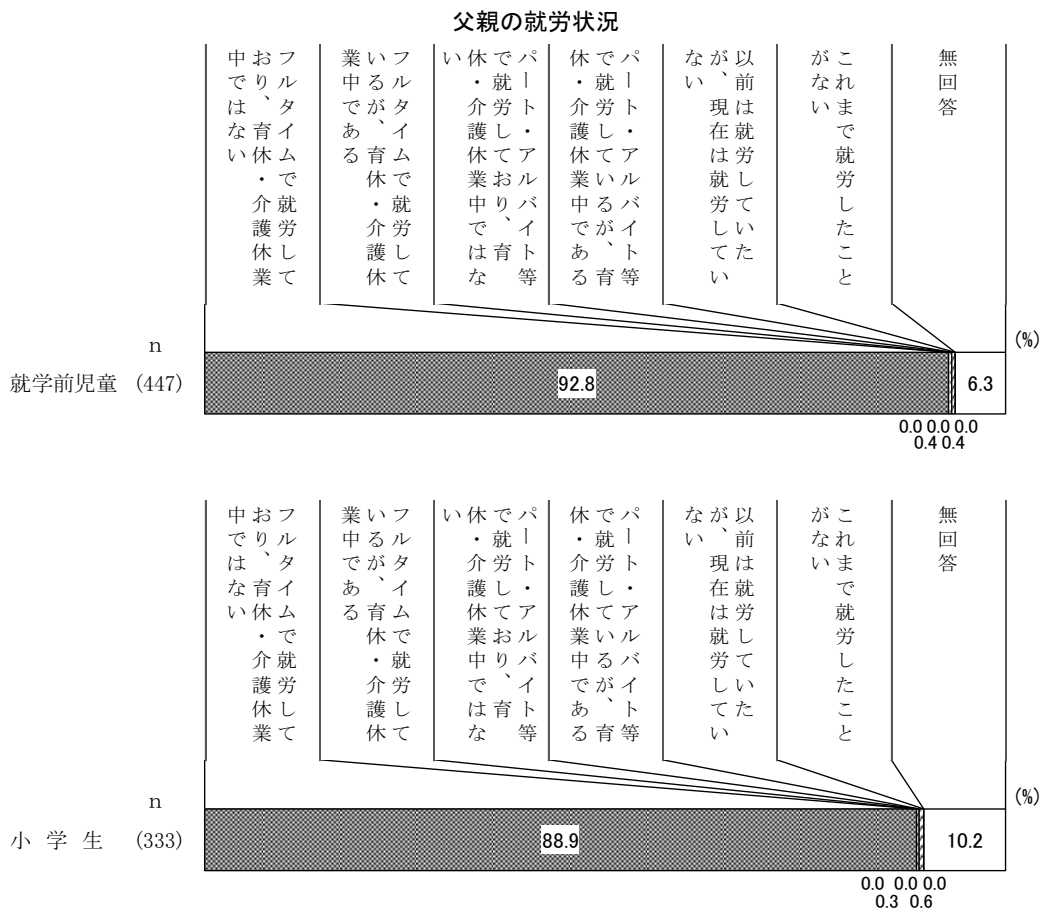
【就学前児童 問11】【小学生 問9】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。

(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)



○父親の就労日数・就労時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 50.6%・小学生 56.6%）と「6日以上」（就学前児童 45.6%・小学生 41.1%）に二分され、就労時間は1日当たり「8～9時間」（就学前児童 58.3%・小学生 55.2%）が最も多く、10時間以上の就労者も約30%以上であるなど、大きな違いはみられない。

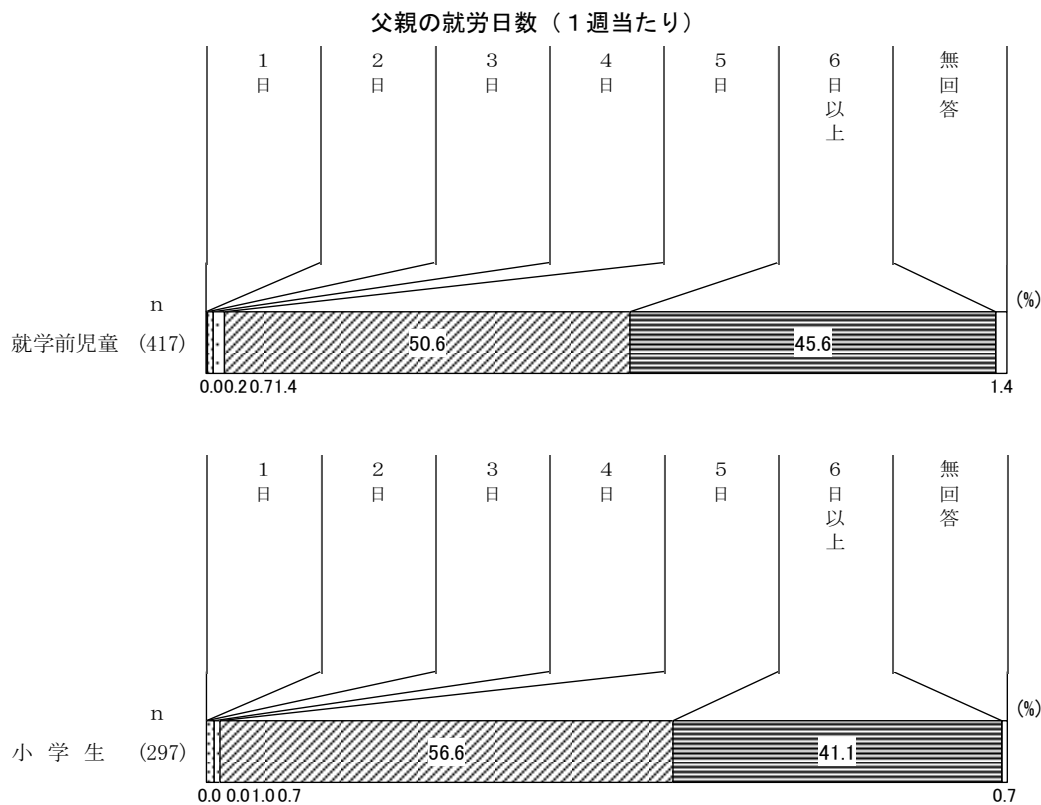
(2)-1 (1)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

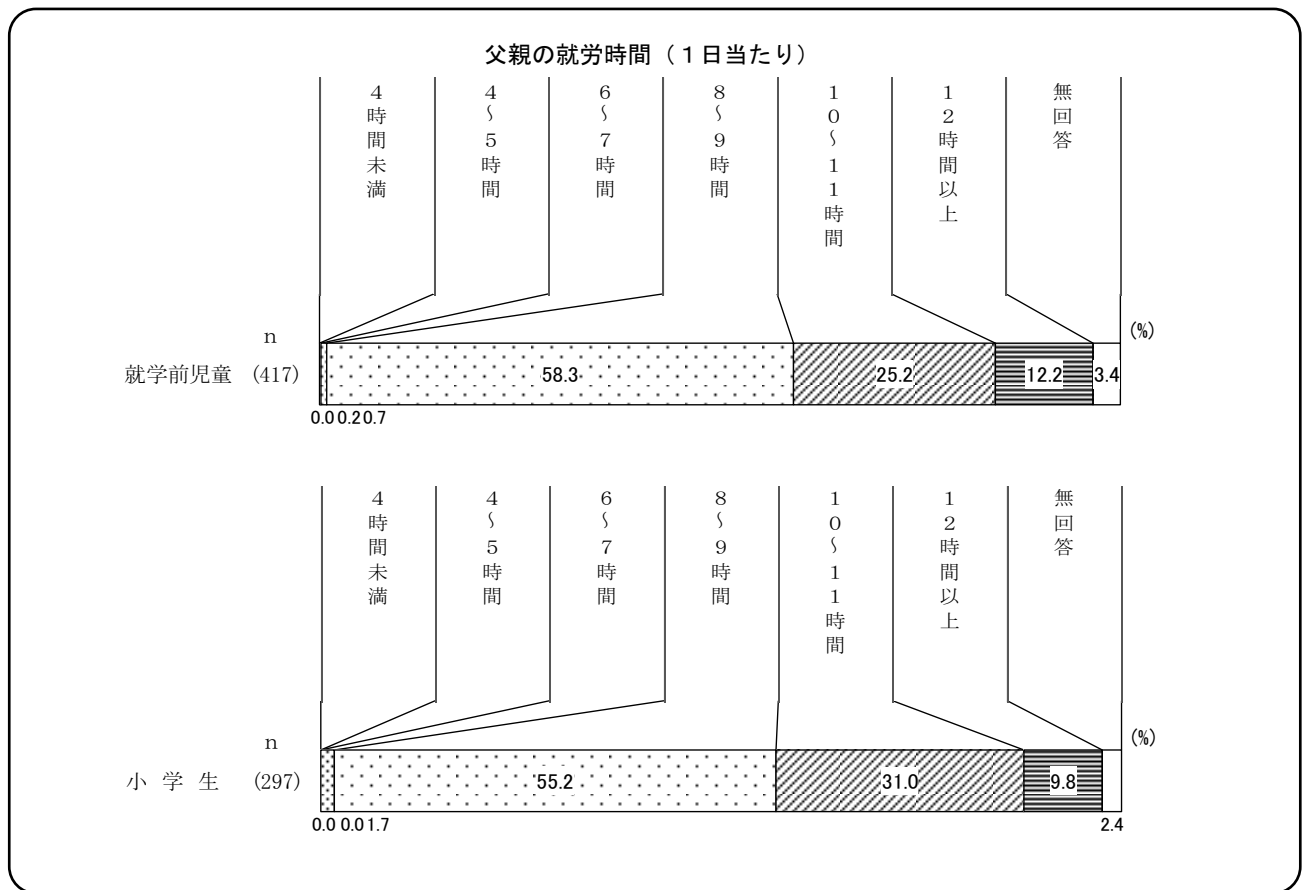
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。





○父親の出勤時間・帰宅時間をみると、出勤時間は「7時台」（就学前児童 43.9%・小学生 44.4%）、帰宅時間は「18～19時台」（就学前児童 56.8%・小学生 50.8%）が最も多く、ピーク時間は重なっている。なお、帰宅時間が20時以降になる父親は就学前児童では33.6%、小学生では38.7%となっており、母親に比べて帰宅時間が遅い方が多い。

(2)-2 (1)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

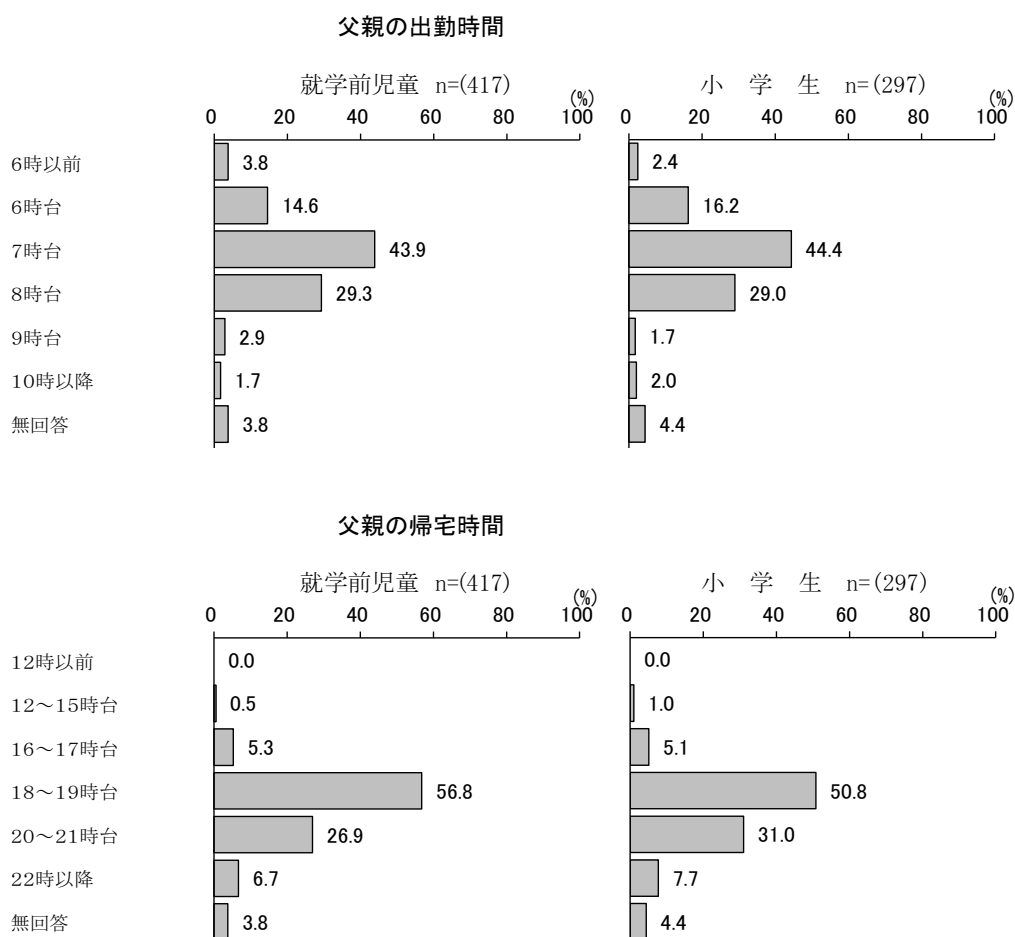
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

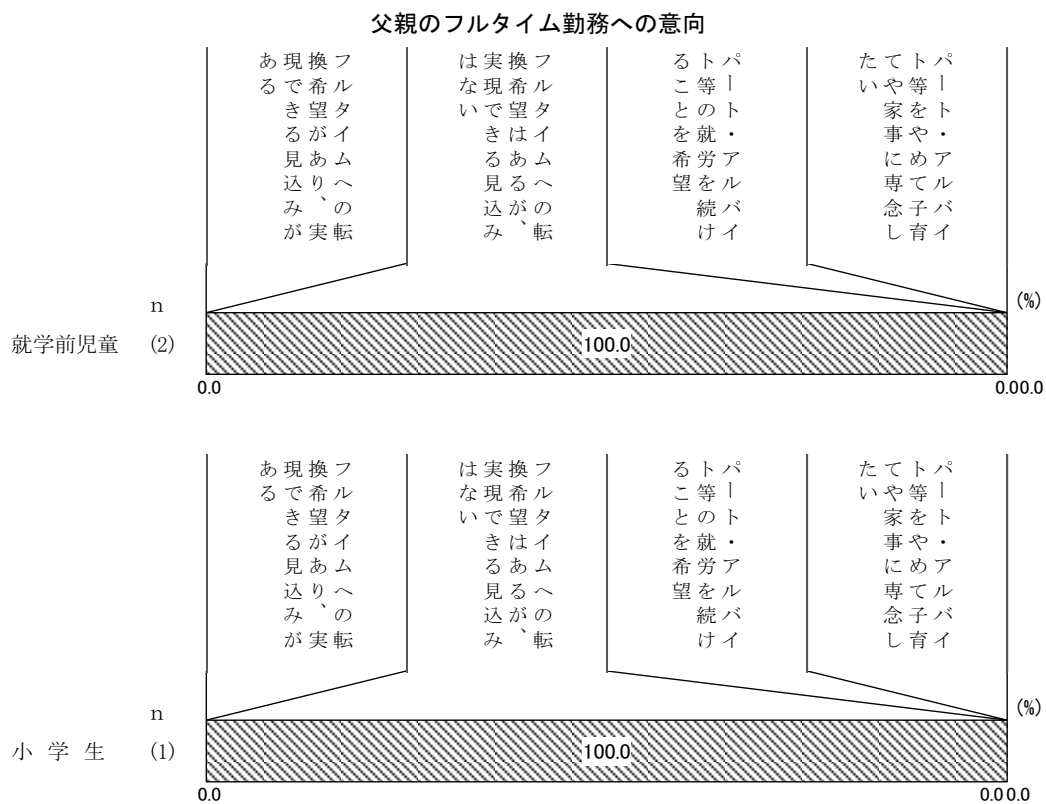


○パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童の父親（2名）、小学生の父親（1名）全員が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

【就学前児童 問12】【小学生 問10】

問11の（1）（小学生 問9（1））で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13（小学生 問11）へお進みください。

（1）フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）



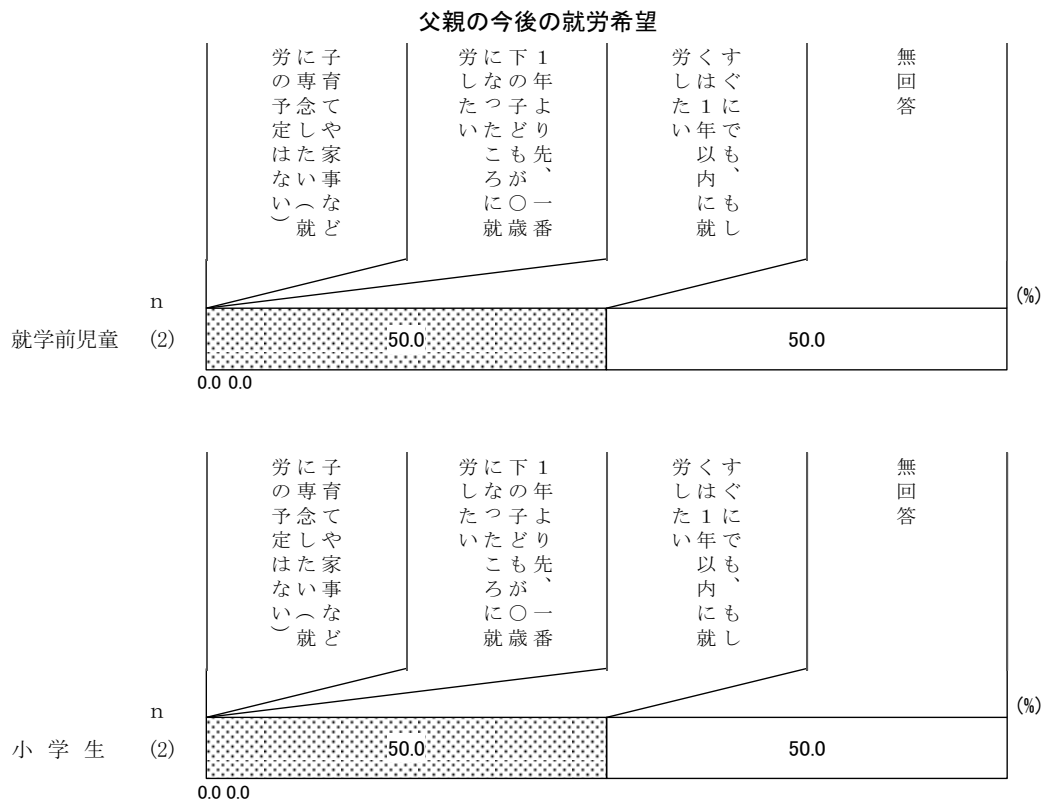
- 現在は就労していないまたはこれまで就労したことがない父親の今後の就労希望をみると、両者ともに該当者である2名のうち1名が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。
- 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい父親の就労希望時の末子の年齢については該当者はいなかった。

【就学前児童 問13】【小学生 問11】

問11の(1)(小学生 問9(1))で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14(小学生 問12)へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。



父親の就労希望時の末子の年齢

就学前児童、小学生ともに該当者はなし

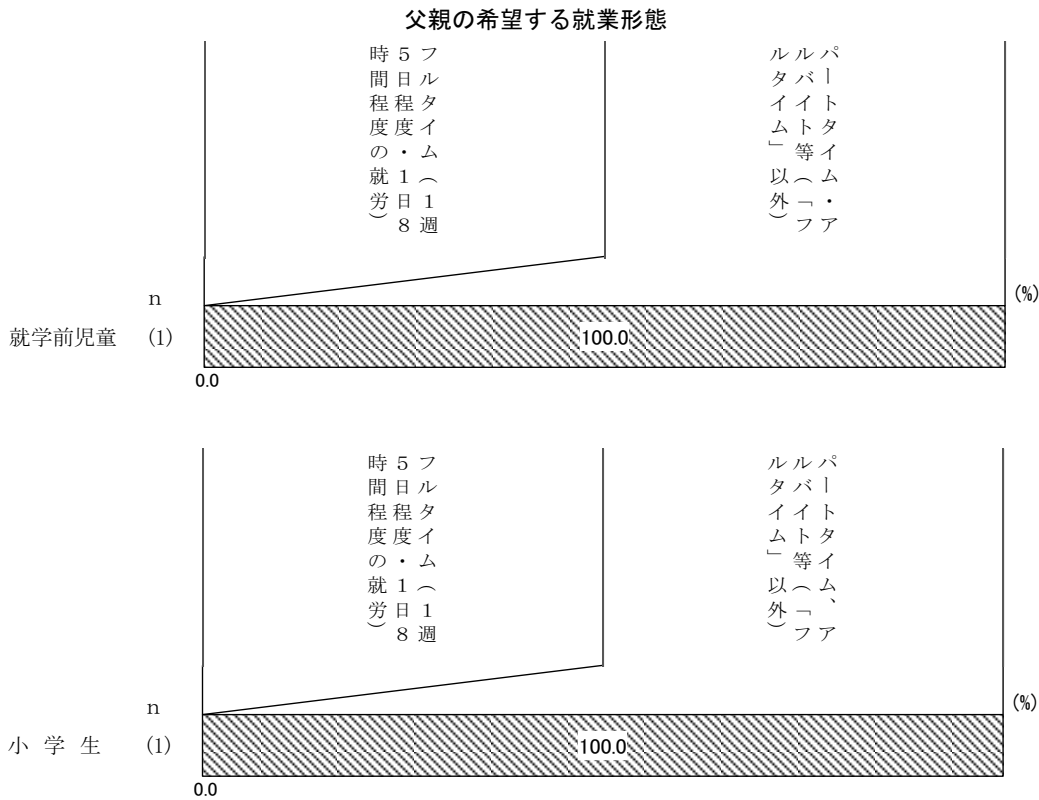
○すぐにも、もしくは1年以内に就労したい父親の希望する就業形態をみると、両者ともに該当者は1名で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」と回答している。希望就労日数・希望就労時間をみると、希望就労日数は2名とも1週当たり「5日」と回答しており、希望就労時間は1日当たり「4～5時間」（就学前児童の父親）、「8～9時間」（小学生の父親）となっている。

【就学前児童 問13-1】【小学生 問11-1】

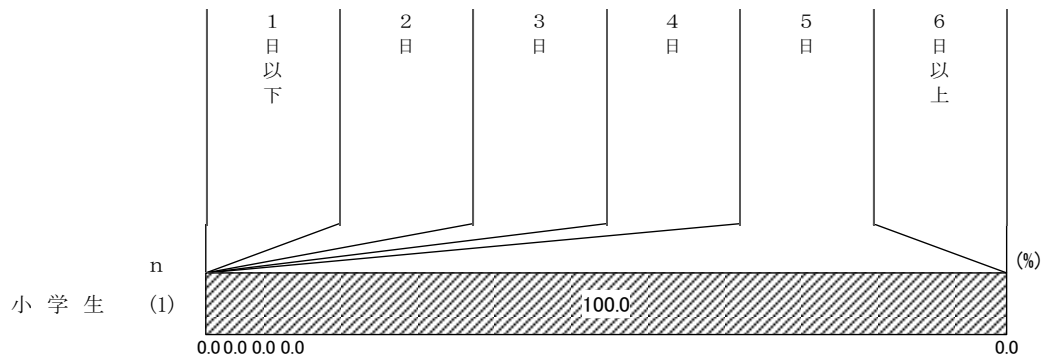
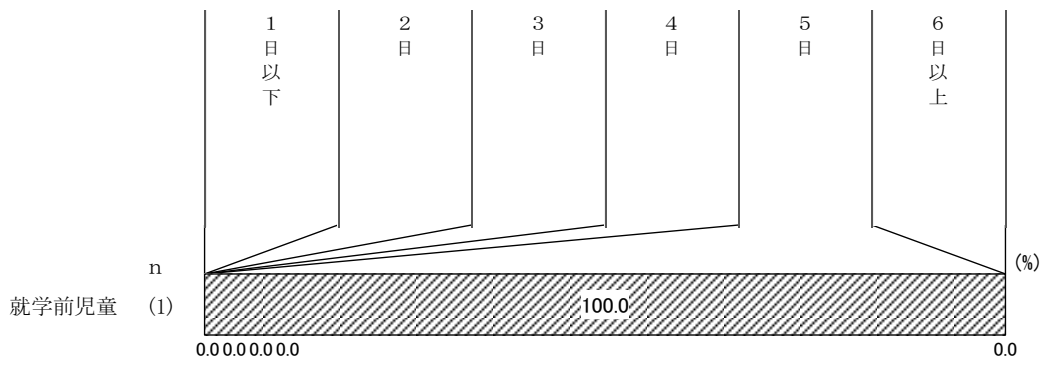
問13（小学生 問11）で「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14（小学生 問12）へお進みください。

希望する就労形態をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

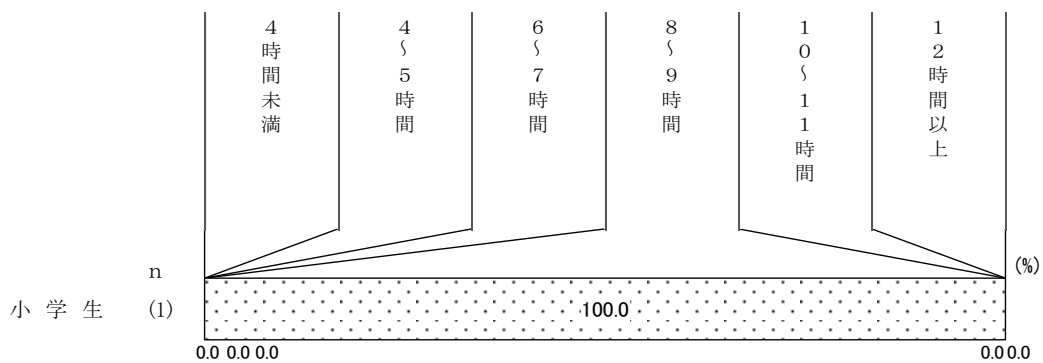
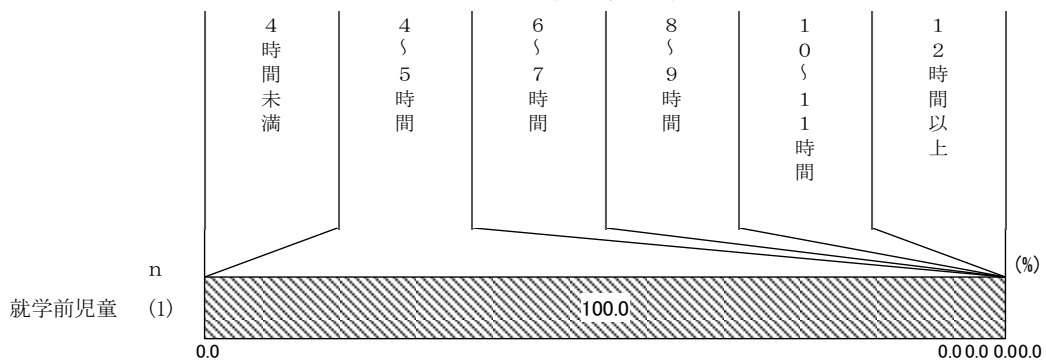
※該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。



パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労日数（1週当たり）



パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労時間（1日当たり）

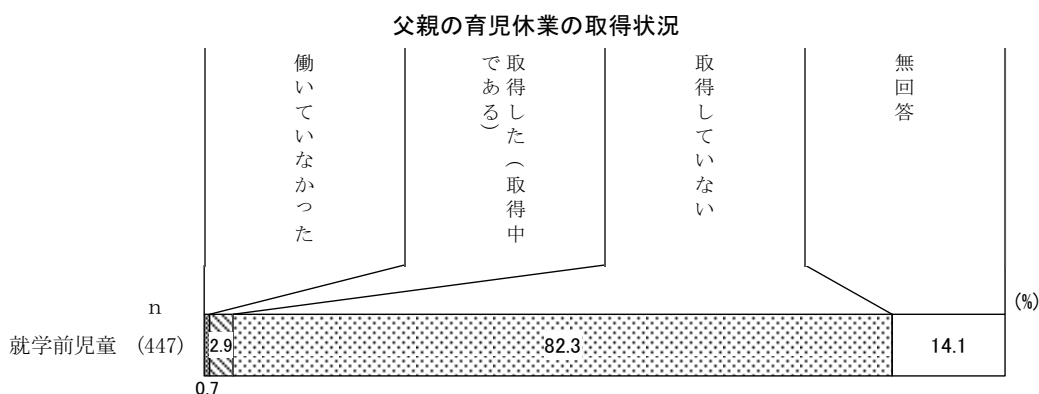
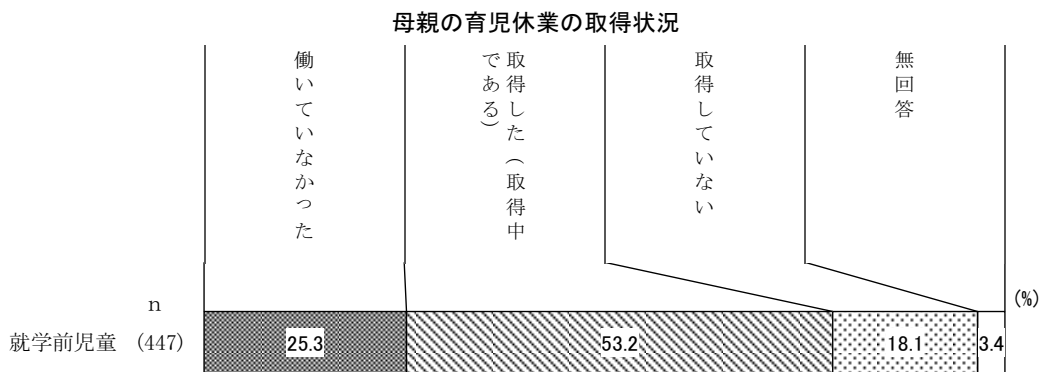


(3) 育児休業制度の利用状況

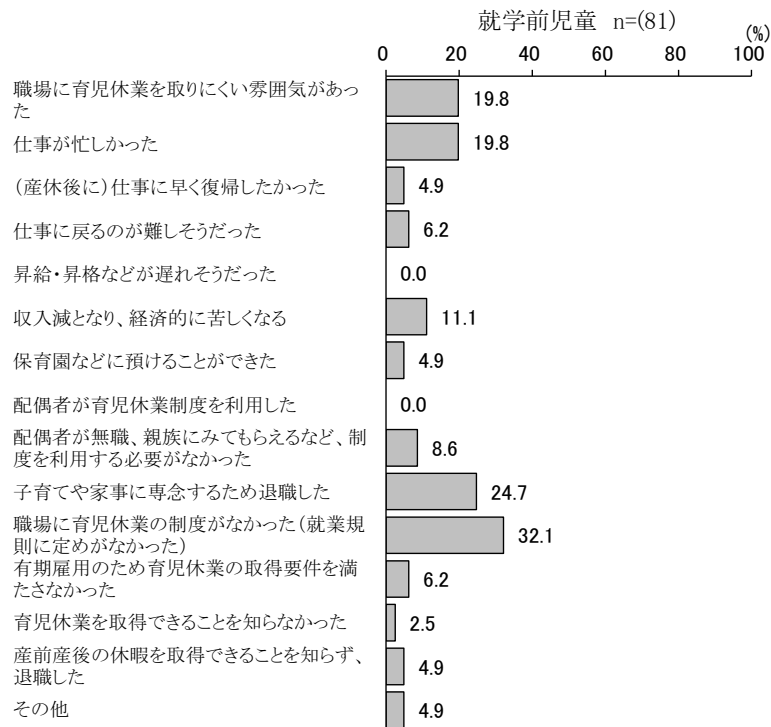
- 育児休業の取得状況をみると、母親は「取得した(取得中である)」が53.2%と、父親(2.9%)を大きく上回っている。一方、父親は「取得していない」が82.3%と圧倒的に多い。
- 育児休業を取得していない理由をみると、母親は「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(32.1%)、「子育てや家事に専念するため退職した」(24.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」(ともに19.8%)の順になっている。一方、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」(41.0%)、「仕事が忙しかった」(37.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(28.8%)の順になっており、母親の理由と順位に違いがみられる。

【就学前児童 問27】

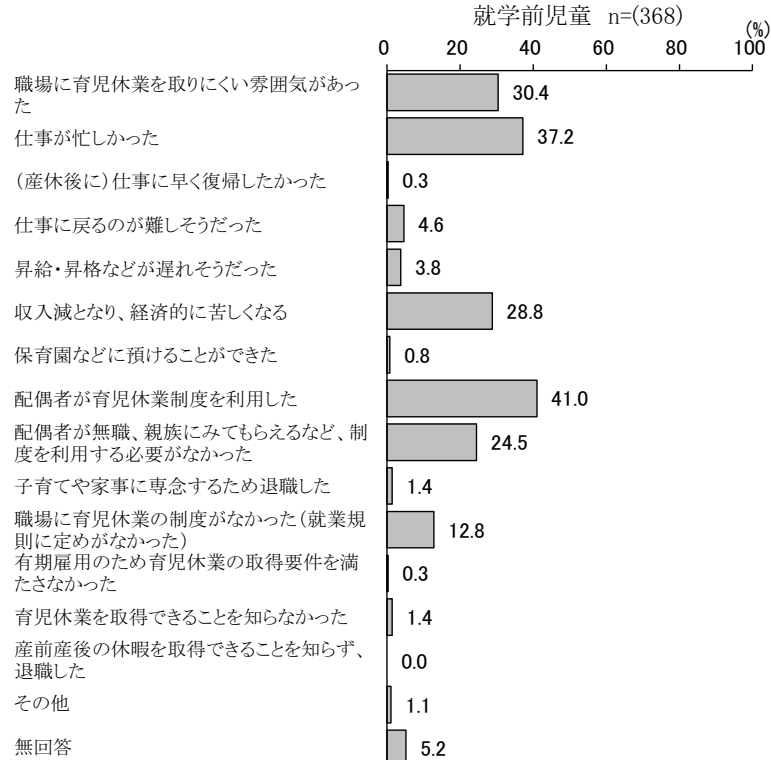
宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)
 また、取得していない方はその理由を下記から番号を選んで□内にご記入ください。



母親が育児休業を取得していない理由



父親が育児休業を取得していない理由



第3章 子育て支援サービスの現在の利用状況と今後の利用希望について

1. 定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望について

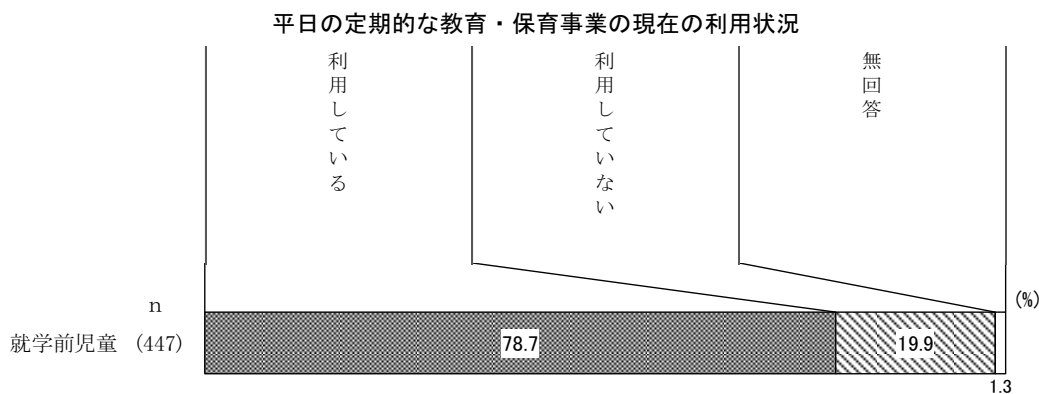
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

○平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用状況をみると、「利用している」は78.7%となっている。

○年齢別にみると、「利用している」は0歳でも47.1%、1歳では71.4%、2歳では81.7%に増え、3歳以上では97.4%と利用年齢の低年齢化が進んでいる。

【就学前児童 問14】

宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)



<年齢別>

	調査数	利用している	利用していない	無回答
上段：件数 下段：%				
全 体	447 100.0	352 78.7	89 19.9	6 1.3
年齢別				
0歳	102 100.0	48 47.1	54 52.9	0 0.0
1歳	70 100.0	50 71.4	20 28.6	0 0.0
2歳	71 100.0	58 81.7	12 16.9	1 1.4
3歳	65 100.0	63 96.9	0 0.0	2 3.1
4歳	69 100.0	67 97.1	1 1.4	1 1.4
5歳	59 100.0	58 98.3	0 0.0	1 1.7
年齢別 (3区分)				
0歳	102 100.0	48 47.1	54 52.9	0 0.0
1～2歳	141 100.0	108 76.6	32 22.7	1 0.7
3～5歳	193 100.0	188 97.4	1 0.5	4 2.1

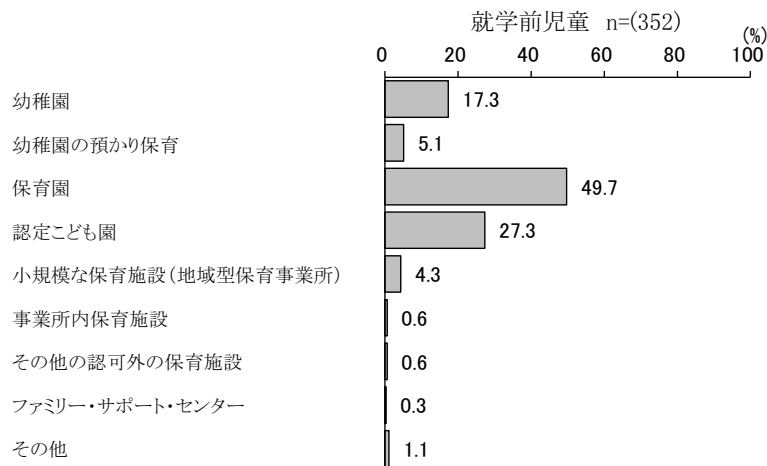
○利用中の平日の定期的な教育・保育事業をみると、「保育園」(49.7%)が最も多く、以下「認定こども園」(27.3%)、「幼稚園」(17.3%)の順になっている。

【就学前児童 問 14-1】

問 14-1～問 14-4 は、問 14 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用中の平日の定期的な教育・保育事業



- 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用日数・利用時間をみると、利用日数は1週当たり「5日」(97.4%)が圧倒的であり、利用時間は1日当たり「8時間」(29.8%)、「9時間」(27.8%)がともに多く、以下「10時間」(18.8%)と8時間以上が81.8%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用開始時間・利用終了時間をみると、利用開始時間は「8時台」(58.8%)、「9時台」(22.2%)、「7時台」(17.3%)に集中しており、利用終了時間は「17時台」(39.5%)、「16時台」(29.0%)、「18時台」(21.0%)となっており、18時台以降は21.6%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望日数・希望時間をみると、希望日数では1週当たり「5日」(82.1%)が圧倒的であり、希望時間は1日当たり「9時間」(24.4%)、「10時間」(21.0%)、「8時間」(19.6%)と8時間以上が71.8%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(50.3%)が最も多く、以下「7時台」「9時台」(ともに15.6%)、希望終了時間は「17時台」(36.1%)、「18時台」(22.2%)、「16時台」(16.5%)の順になっており、19時以降は3.1%となっている。

【就学前児童 問14-2】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

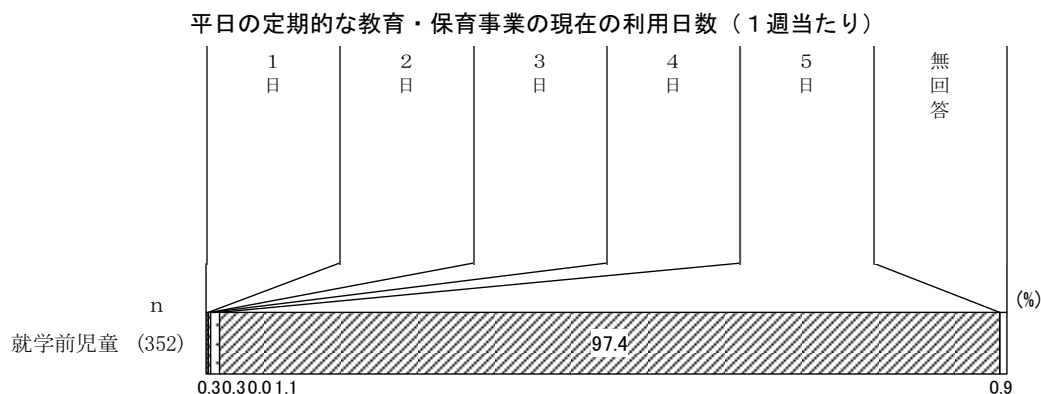
平日定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

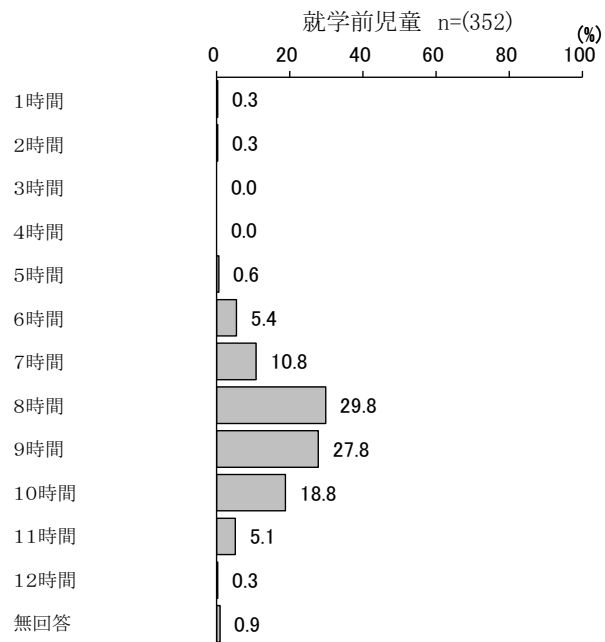
※時間は、必ず (例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※問14-1で複数の事業に○をつけた方は、若い番号の事業についてお答えください。

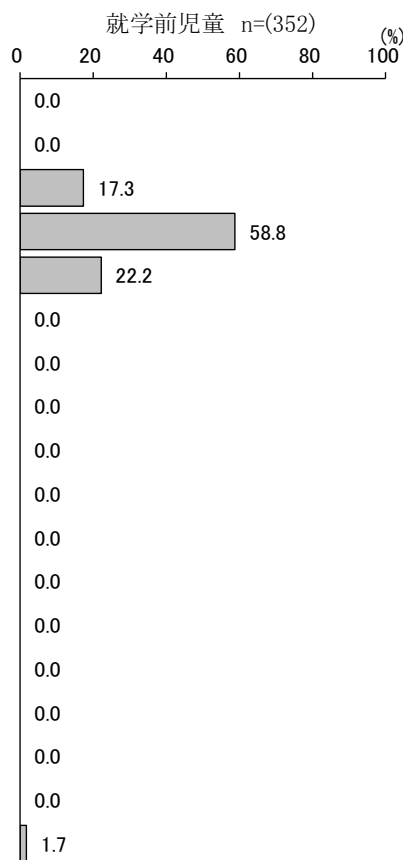
(1) 現在



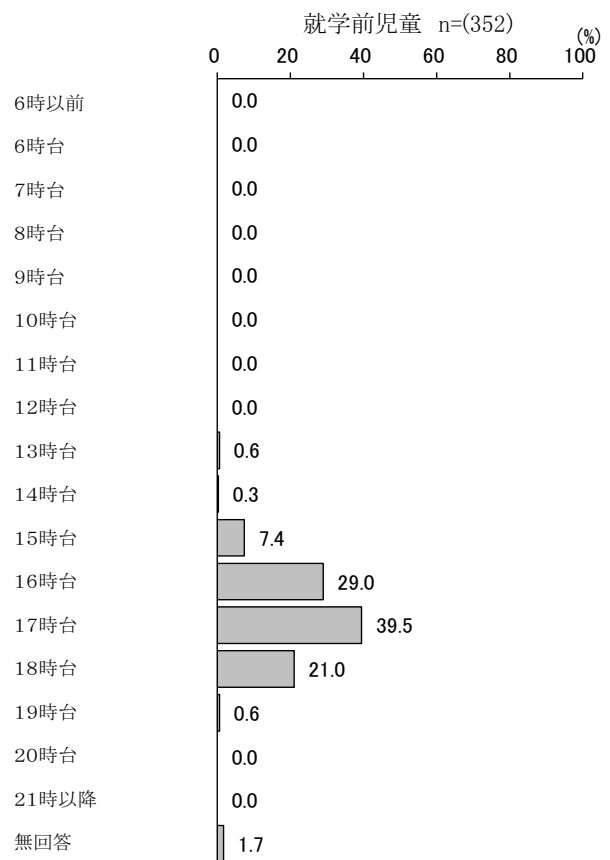
平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用時間（1日当たり）



利用開始時間

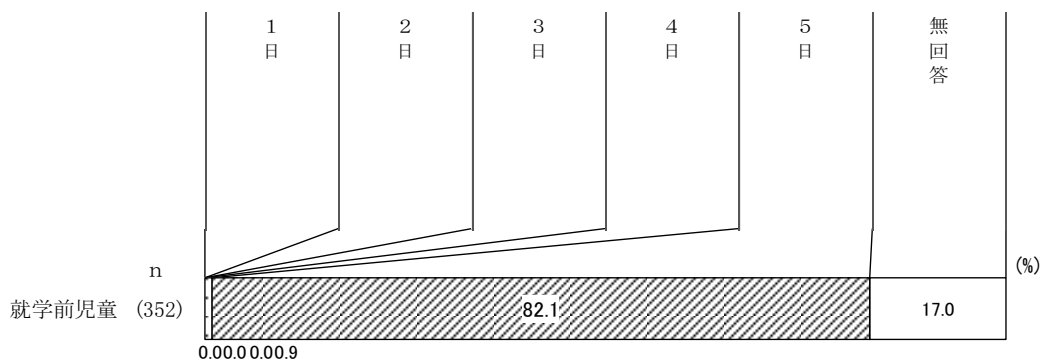


利用終了時間

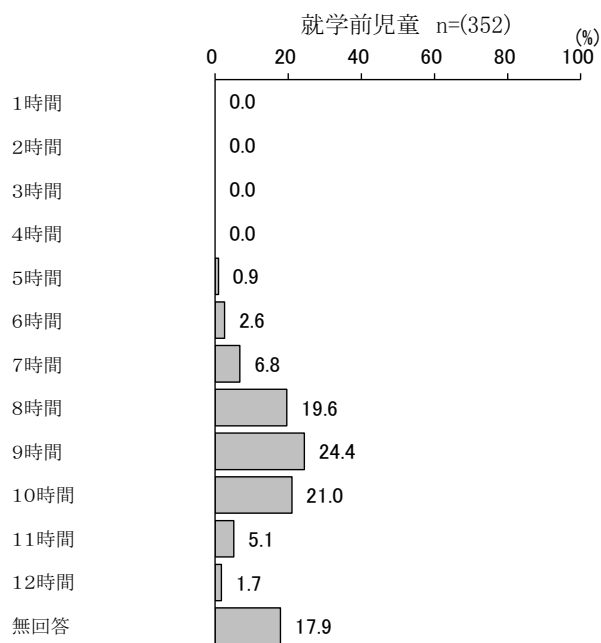


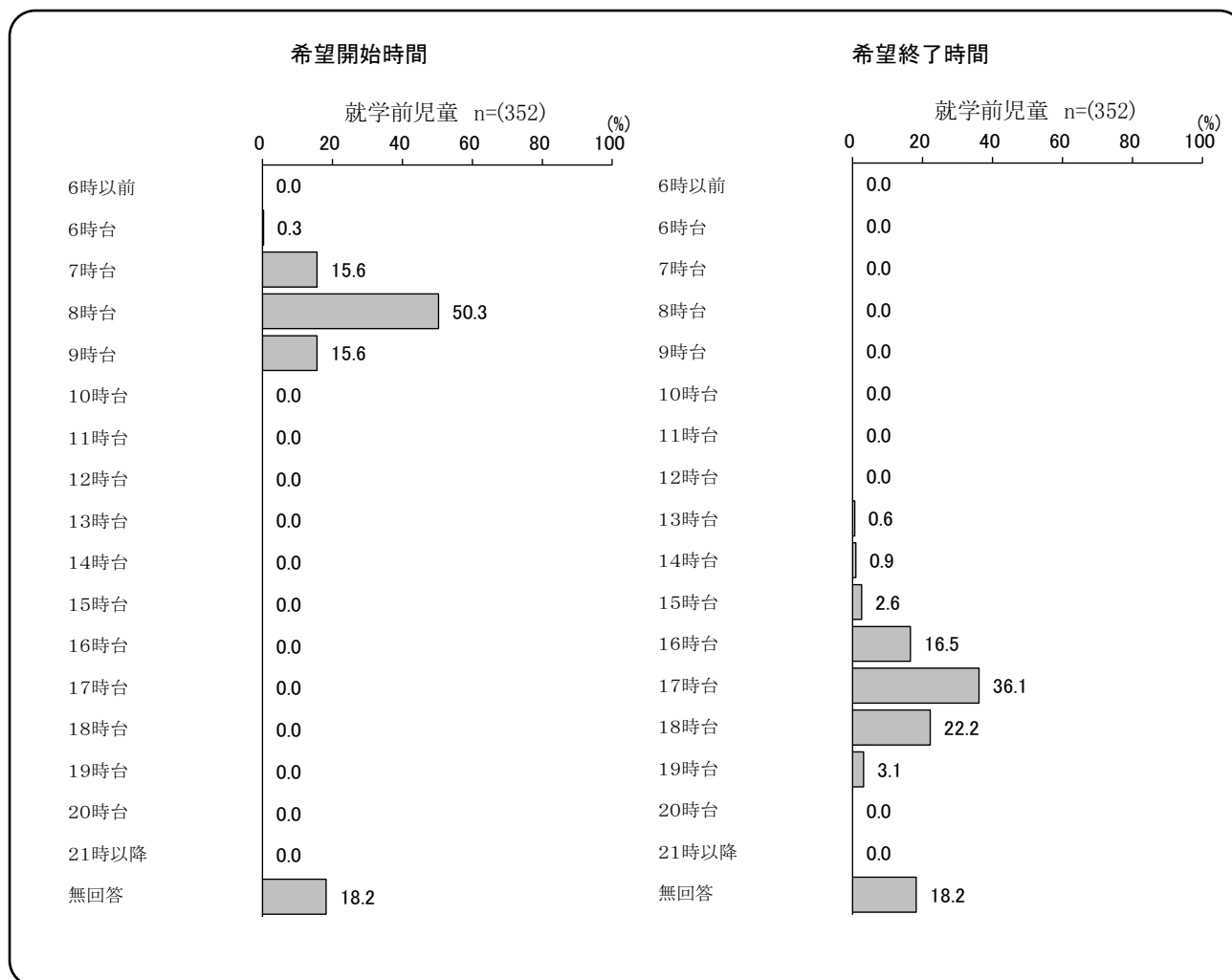
(2) 希望

平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望日数（1週当たり）



平日の定期的な教育・保育事業の今後の希望時間（1日当たり）





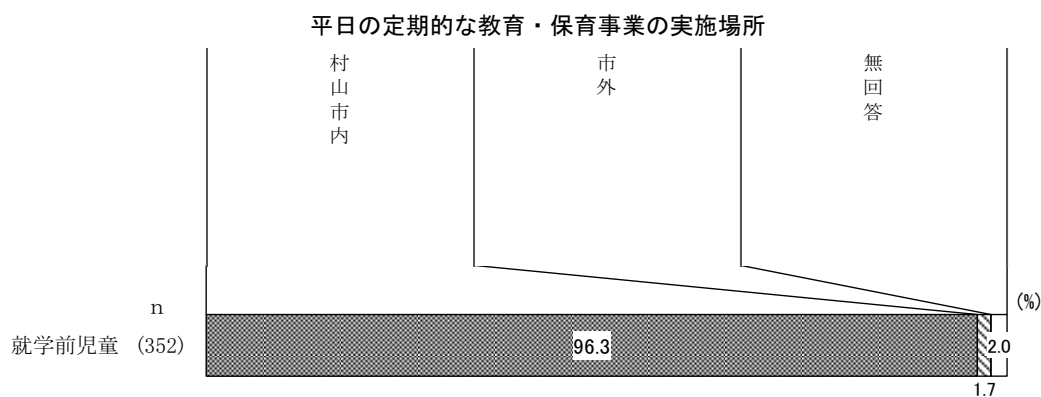
○平日の定期的な教育・保育事業の実施場所をみると、「村山市内」が96.3%となっている。

【就学前児童 問14-3】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

(あてはまる番号1つに○)



○定期的な教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」(90.6%)、「子どもの教育や発達のため」(66.5%)の2回答に集約される。

○年齢別(3区分)にみると、「子育てをしている方が現在就労している」がどの年齢でも最も多いが、年齢が上がるほど「子どもの教育や発達のため」が多くなっており、3～5歳では79.8%となっている。

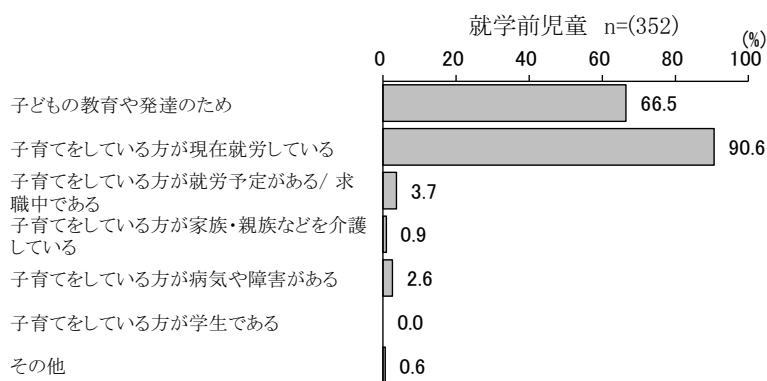
【就学前児童 問14-4】

問14-1～問14-4は、問14で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用している理由



<年齢別>

	調査数	子どもの教育や発達のため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方が就労予定がある/求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方が病気や障害がある	子育てをしている方が学生である	その他	無回答	
全体	352 100.0	234 66.5	319 90.6	13 3.7	3 0.9	9 2.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0	
年齢別										
0歳	48 100.0	23 47.9	47 97.9	0 0.0	0 0.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
1歳	50 100.0	26 52.0	46 92.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	
2歳	58 100.0	29 50.0	57 98.3	3 5.2	0 0.0	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
3歳	63 100.0	47 74.6	53 84.1	4 6.3	0 0.0	1 1.6	0 0.0	1 1.6	0 0.0	
4歳	67 100.0	52 77.6	59 88.1	2 3.0	2 3.0	3 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
5歳	58 100.0	51 87.9	52 89.7	1 1.7	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢別(3区分)										
0歳	48 100.0	23 47.9	47 97.9	0 0.0	0 0.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
1～2歳	108 100.0	55 50.9	103 95.4	6 5.6	1 0.9	2 1.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	
3～5歳	188 100.0	150 79.8	164 87.2	7 3.7	2 1.1	5 2.7	0 0.0	1 0.5	0 0.0	

○定期的な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」(52.8%)が最も多く、以下「利用する必要がない」(37.1%)、「子どもの祖父母や親戚がみている」(24.7%)、「利用したいが、保育・教育の事業(施設等)に空きがない」(7.9%)の順になっている。

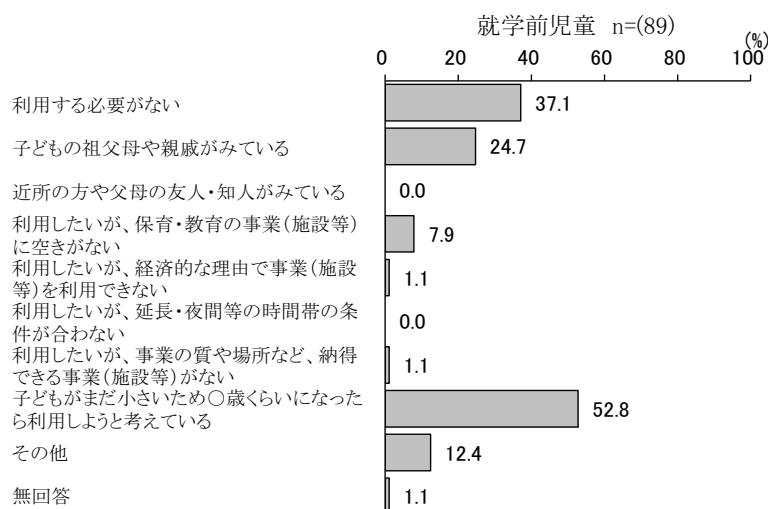
○年齢別(3区分)にみると、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が0歳で53.7%と最も多く、年齢が上がるほど少なくなっており、乳児期からの預かりニーズの高まりは明らかである。

【就学前児童 問14-5】

問14で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用していない理由



<年齢別>

	調査数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚がみている	近所の方や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業(施設等)に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業(施設等)を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業(施設等)がない	子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	89	33	22	0	7	1	0	1	47	11	1
上段：件数 下段：%	100.0	37.1	24.7	0.0	7.9	1.1	0.0	1.1	52.8	12.4	1.1
年齢別											
0歳	54	18	10	0	6	0	0	0	29	9	0
	100.0	33.3	18.5	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	53.7	16.7	0.0
1歳	20	10	6	0	1	1	0	0	11	1	1
	100.0	50.0	30.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	55.0	5.0	5.0
2歳	12	5	5	0	0	0	0	1	5	1	0
	100.0	41.7	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	8.3	0.0
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別(3区分)											
0歳	54	18	10	0	6	0	0	0	29	9	0
	100.0	33.3	18.5	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	53.7	16.7	0.0
1~2歳	32	15	11	0	1	1	0	1	16	2	1
	100.0	46.9	34.4	0.0	3.1	3.1	0.0	3.1	50.0	6.3	3.1
3~5歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、現在利用しているとの回答が最も多かった「保育園」が52.6%と最も多く、以下「認定こども園」(33.6%)、「幼稚園」(30.0%)となっている。

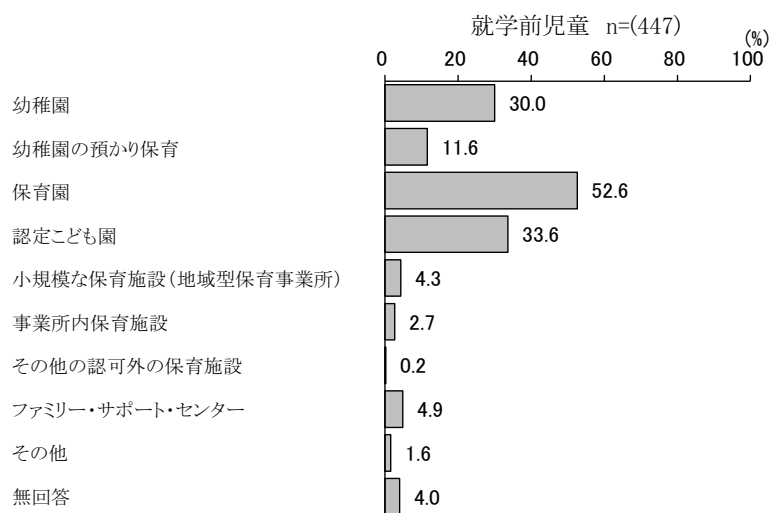
【就学前児童 問15】

すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

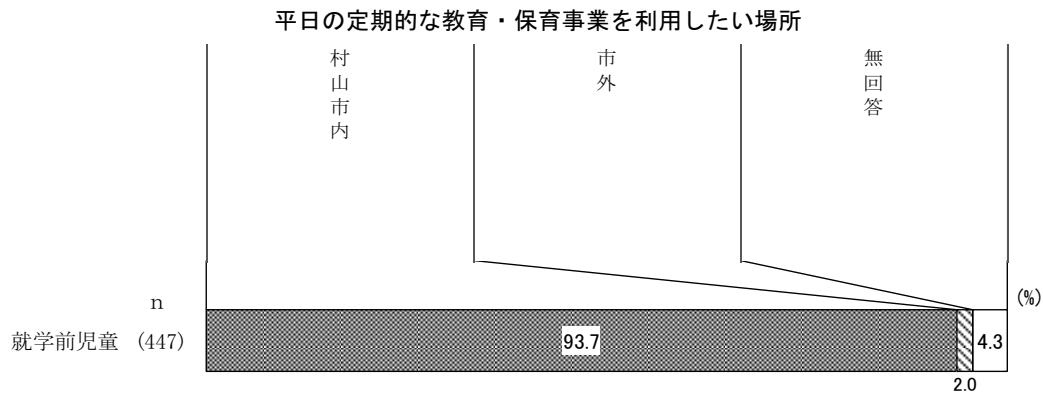
平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望



○平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所をみると、「村山市内」が93.7%となっている。

【就学前児童 問 15-1】

教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

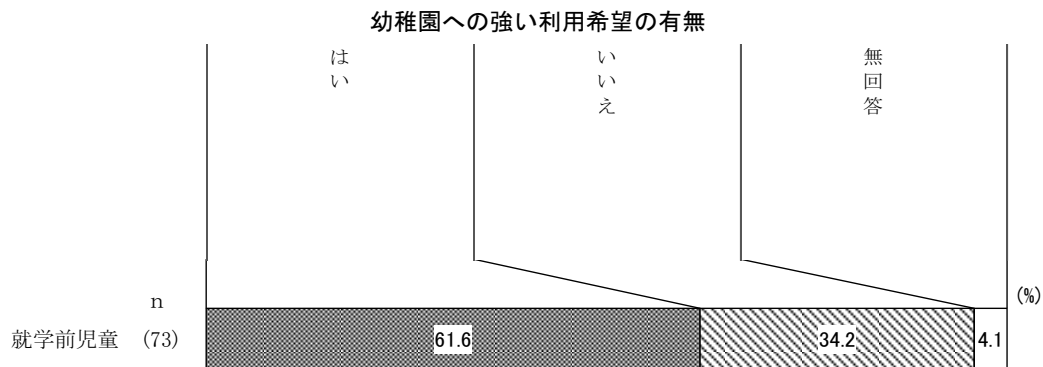


○「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ他の教育・保育事業も選択した方の幼稚園への強い利用希望の有無をみると、「はい」が61.6%となっている。

【就学前児童 問 15-2】

問 15 で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他の教育・保育事業にも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
(あてはまる番号1つに○)



(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の
今後の利用希望

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(15.2%)、「月に1~2回は利用したい」(28.4%)と、利用希望は43.6%となっている。一方、「利用する必要はない」は55.3%となっている
- 土曜日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(53.3%)が最も多く、以下「7時台」(23.1%)、「9時台」(20.0%)の順になっており、終了時間は「17時台」(36.4%)が最も多く、以下「18時台」(27.2%)、「16時台」(16.4%)となっている。

【就学前児童 問18】

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

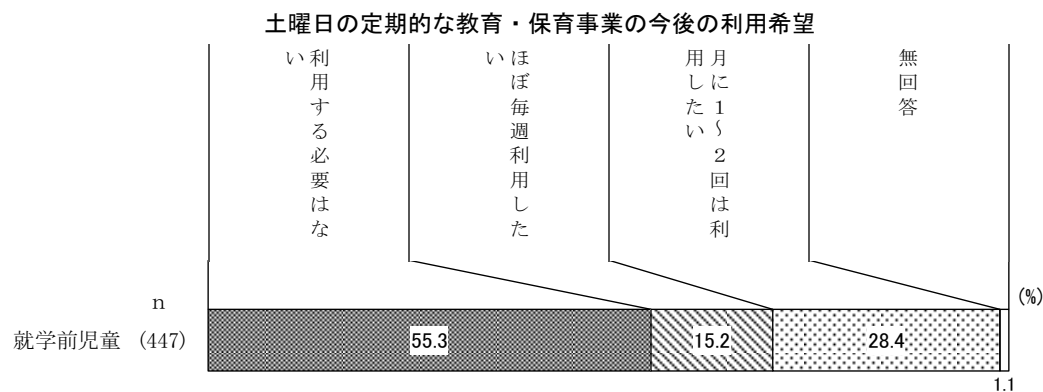
((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

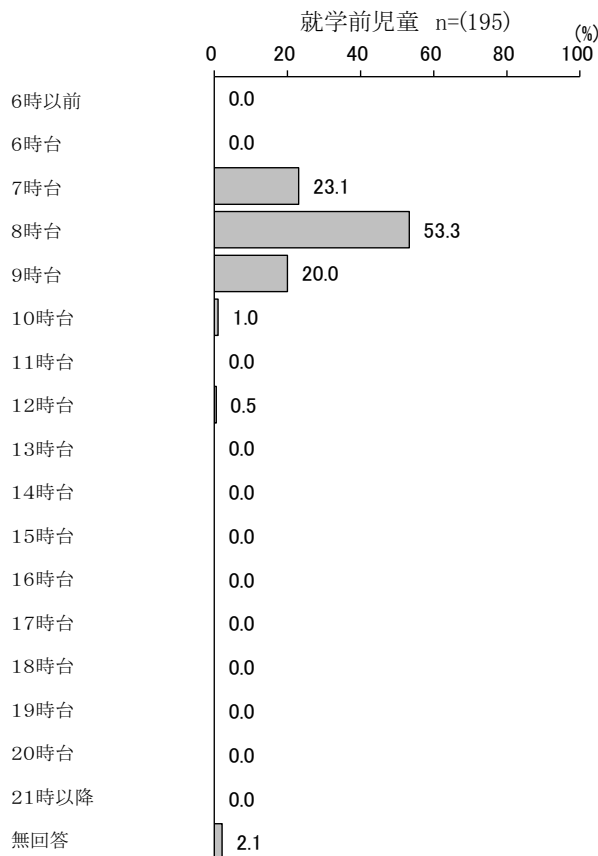
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

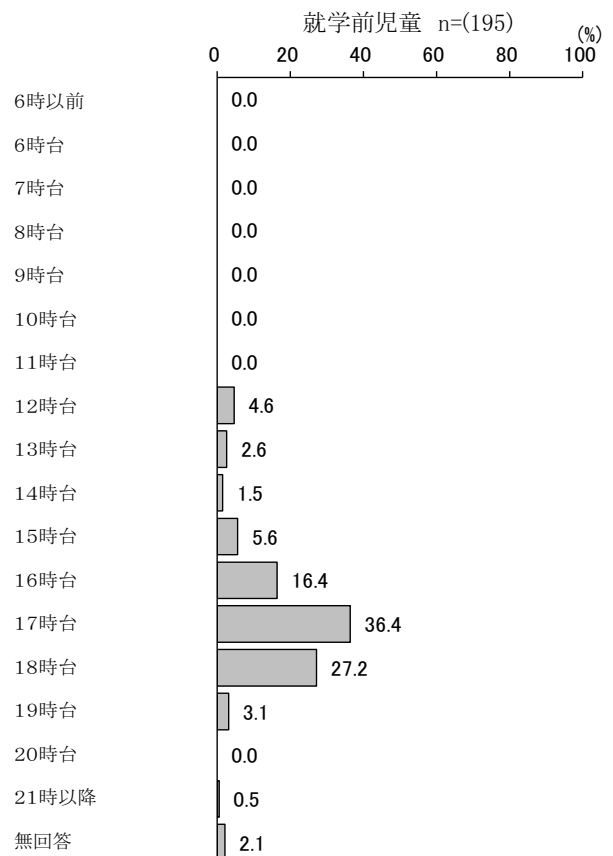
(1) 土曜日



土曜日の希望開始時間

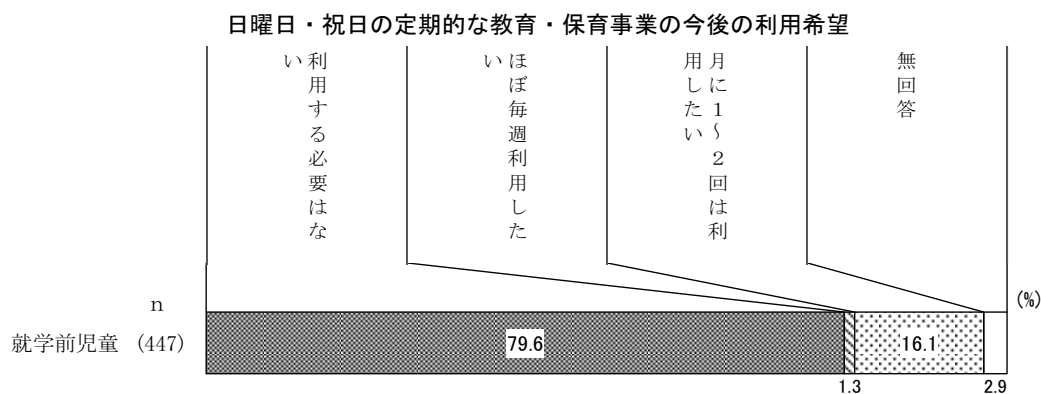


土曜日の希望終了時間

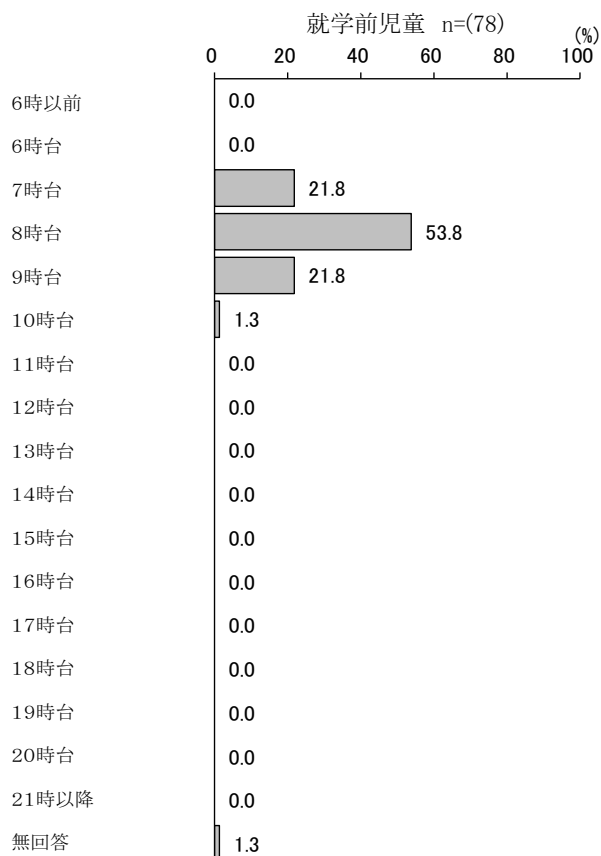


- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(1.3%)、「月に1～2回は利用したい」(16.1%)と、利用希望は17.4%と土曜日に比べ大きく減少する。
- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(53.8%)が最も多く、以下「7時台」「9時台」(ともに21.8%)の順になっており、希望終了時間は「17時台」(39.7%)、「18時台」(35.9%)がともに多くなっている。

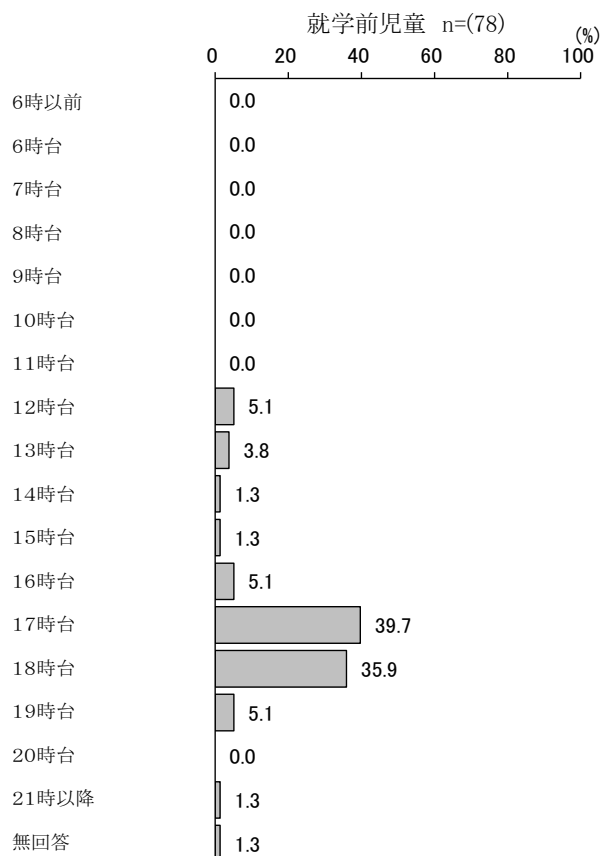
(2) 日曜日・祝日



日曜日・祝日の希望開始時間



日曜日・祝日の希望終了時間



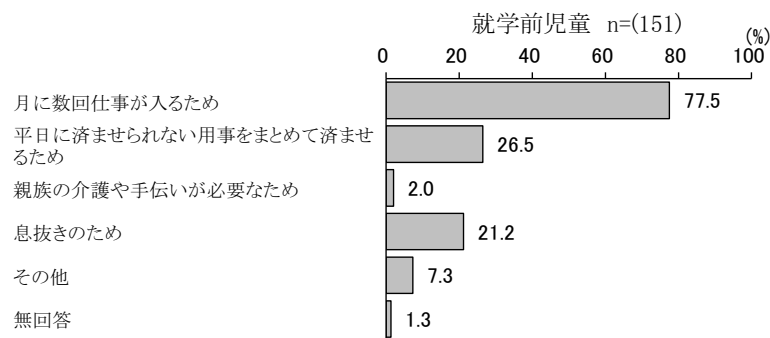
○土曜日、日曜日・祝日に月に1～2回利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(77.5%)が最も多く、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(26.5%)、「息抜きのため」(21.2%)の順になっている。

【就学前児童 問18-1】

問18の(1)土曜日もしくは(2)日曜日・祝日で、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

土曜日、日曜日・祝日に月に1～2回利用したい理由



○幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(50.8%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(23.0%)と、利用希望は73.8%となっている。

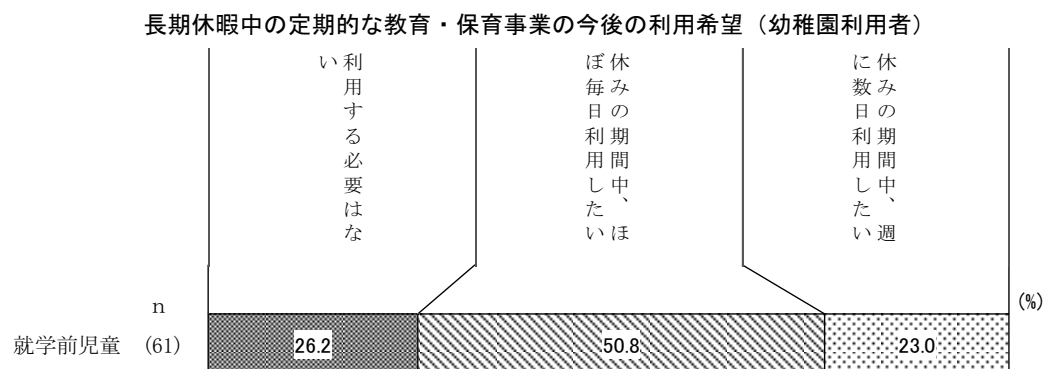
○幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の今後の希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(60.0%)、「9時台」(20.0%)、「7時台」(15.6%)の順となっており、希望終了時間は「17時台」(46.7%)が最も多く、以下「16時台」(20.0%)、「18時台」(15.6%)となっている。

【就学前児童 問19】

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

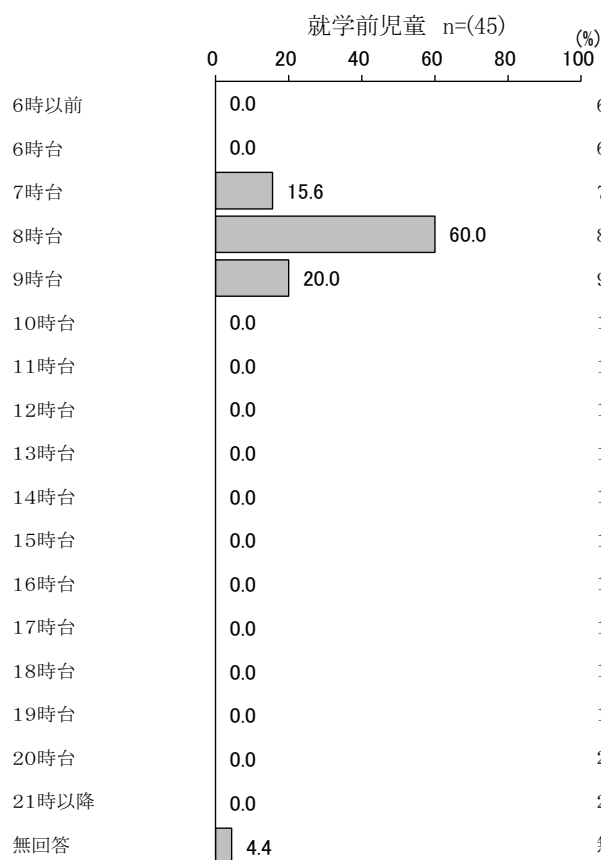
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



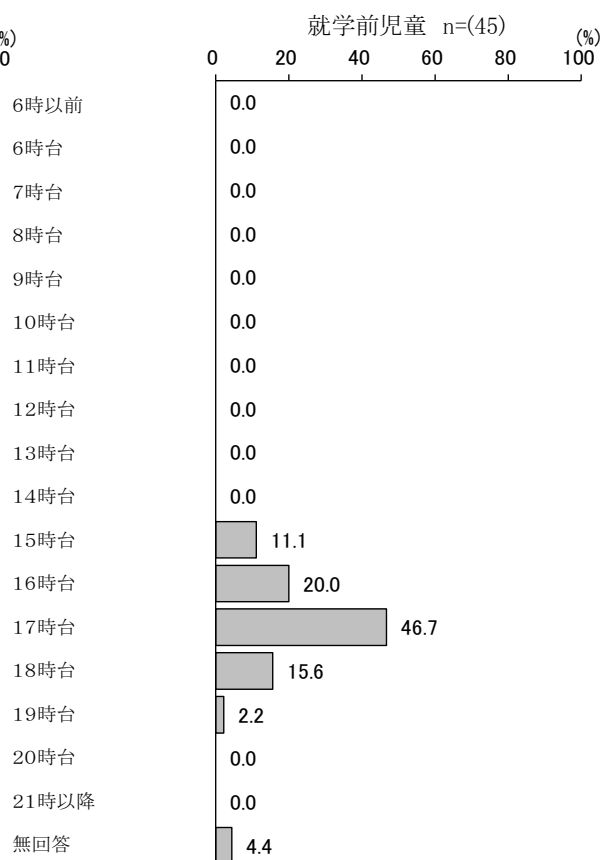
長期休暇中の希望開始時間

(幼稚園利用者)



長期休暇中の希望終了時間

(幼稚園利用者)

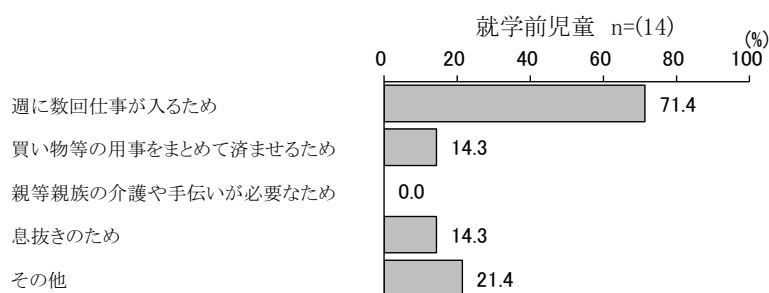


○長期休暇中に週に数日利用したい理由をみると、「週に数回仕事が入るため」(71.4%)が最も多く、以下「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」(ともに14.3%)の順になっている。

【就学前児童 問19-1】

問19で、「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

長期休暇中に週に数日利用したい理由 (幼稚園利用者)



2. 地域の子育て支援事業の現在の利用状況と今後の利用希望について

(1) 地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況と今後の利用希望

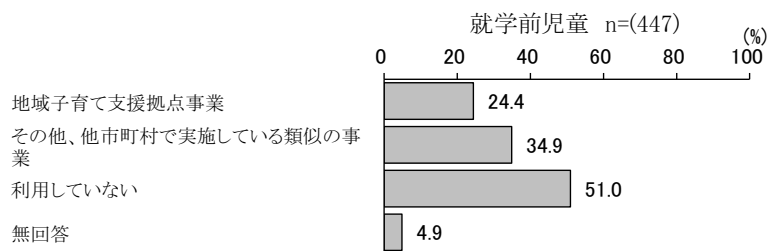
○地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況をみると、「その他、他市町村で実施している類似の事業」(34.9%)が「地域子育て支援拠点事業」(24.4%)を上回っている。なお、「利用していない」は51.0%と最も多くなっている。

【就学前児童 問16】

宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（次の中から、利用されているものすべてに○）

※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況



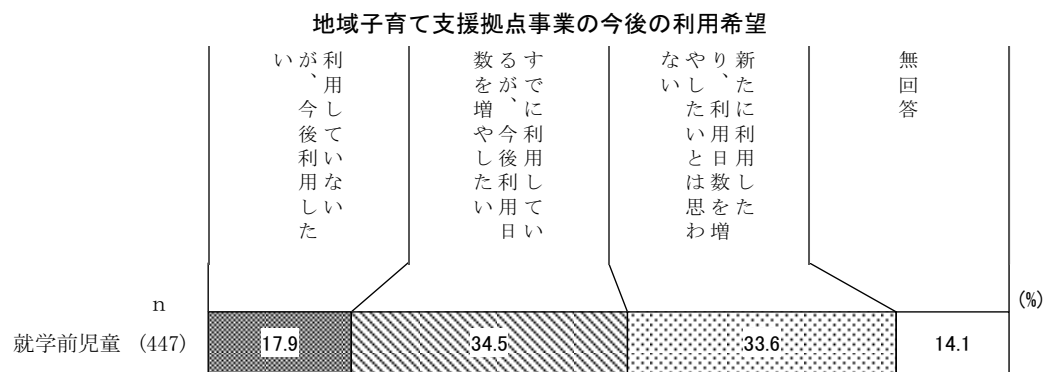
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」は17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は34.5%となっている。

【就学前児童 問17】

問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(自治体における料金設定を示す)



(2) 病児・病後児保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

○病気やケガで、平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無をみると、「あった」は就学前児童で74.7%、小学生で53.8%であり、子どもの成長に伴い減少している。

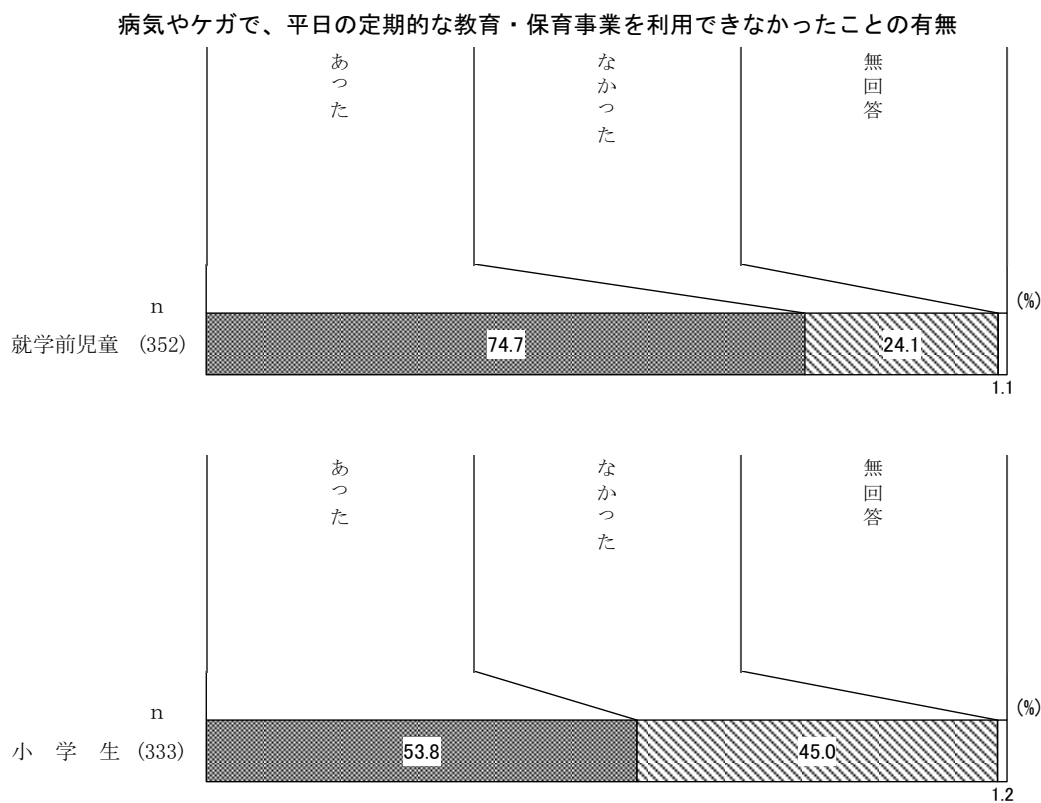
【就学前児童 問20】

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問14で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問21にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

【小学生 問16】

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校に行けなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）



○この1年間の対処方法をみると、「母親が休んだ」(就学前児童 86.3%・小学生 70.9%)が圧倒的に多く、以下「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(就学前児童 45.6%・小学生 40.2%)、「父親が休んだ」(就学前児童 36.1%・小学生 23.5%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(就学前児童 8.0%・小学生 9.5%)の順に多くなっている。

【就学前児童 問 20-1】

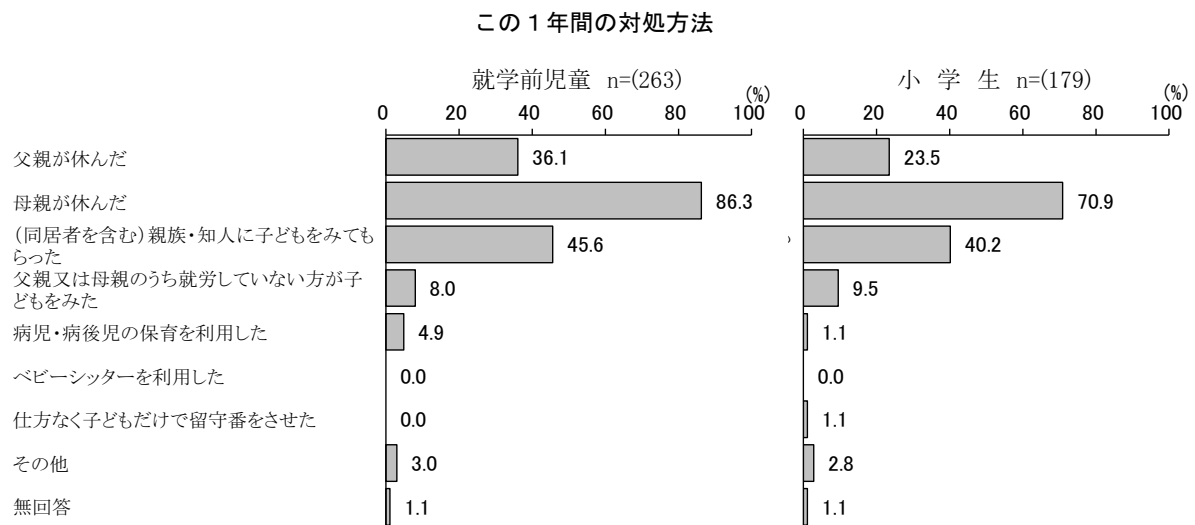
宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

【小学生 問 16-1】

宛名のお子さんが病気やけがで小学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)



○父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は就学前児童では29.7%、小学生では13.5%にとどまっている。
 ○年齢別（3区分）にみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、0歳では36.1%、1～2歳では38.8%となっており、3～5歳に比べてやや多くなっている。

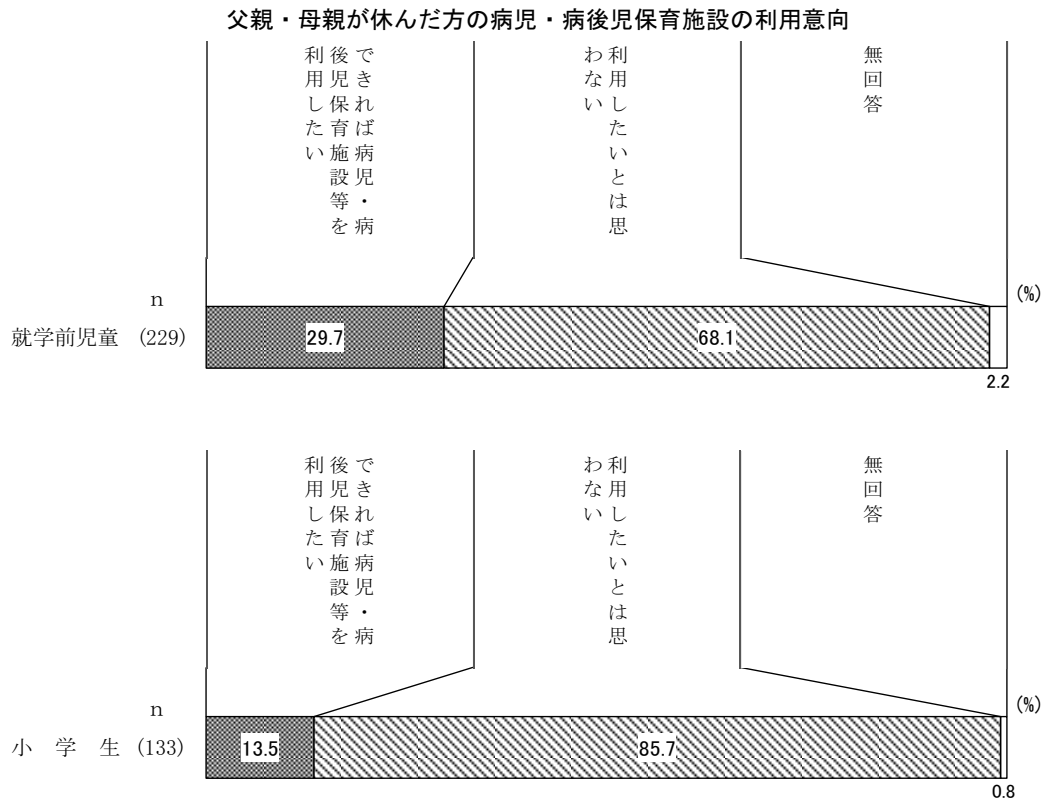
【就学前児童 問20-2】【小学生 問16-2】

問20-1（小学生 問16-1）で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（あてはまる番号1つに○）

※日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



<年齢別>

	調査数	施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	229	68	156	5
	100.0	29.7	68.1	2.2
年齢別				
0歳	36	13	23	0
	100.0	36.1	63.9	0.0
1歳	39	18	20	1
	100.0	46.2	51.3	2.6
2歳	46	15	28	3
	100.0	32.6	60.9	6.5
3歳	36	5	31	0
	100.0	13.9	86.1	0.0
4歳	34	10	23	1
	100.0	29.4	67.6	2.9
5歳	31	6	25	0
	100.0	19.4	80.6	0.0
年齢別（3区分）				
0歳	36	13	23	0
	100.0	36.1	63.9	0.0
1～2歳	85	33	48	4
	100.0	38.8	56.5	4.7
3～5歳	101	21	79	1
	100.0	20.8	78.2	1.0

<学年別>

	調査数	施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	133	18	114	1
	100.0	13.5	85.7	0.8
学年別				
1年生	41	6	34	1
	100.0	14.6	82.9	2.4
2年生	54	9	45	0
	100.0	16.7	83.3	0.0
3年生	29	3	26	0
	100.0	10.3	89.7	0.0

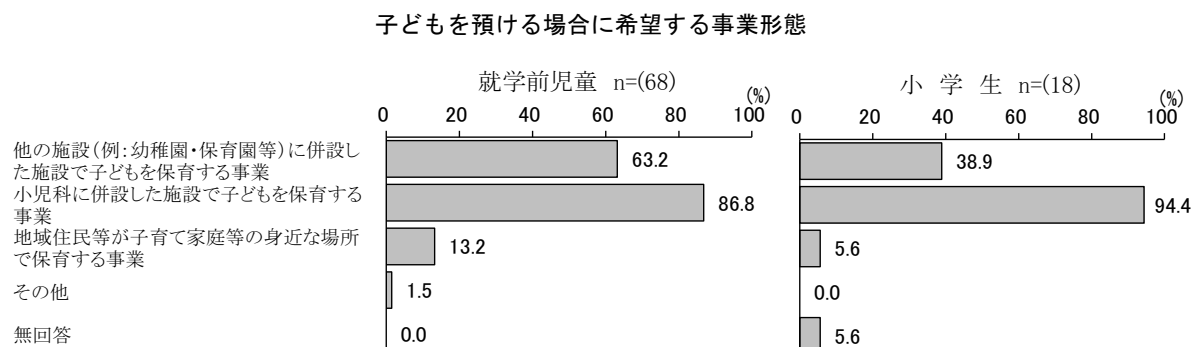
○子どもを預ける場合に希望する事業形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 86.8%・小学生 94.4%）が圧倒的に多く、以下「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 63.2%・小学生 38.9%）となっている。

【就学前児童 問20-3】【小学生 問16-3】

問20-2（小学生 問16-2）で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

（あてはまる番号すべてに○）

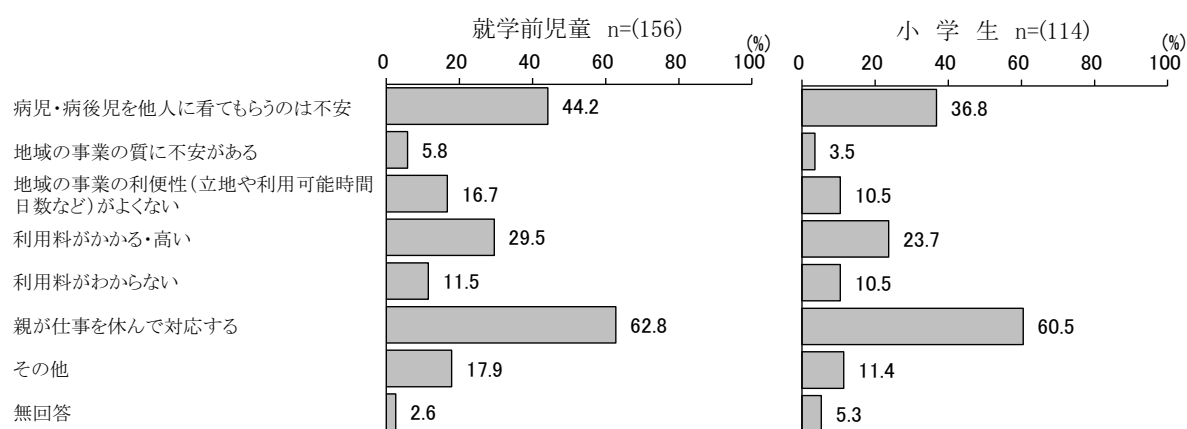


○病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休んで対応する」(就学前児童 62.8%・小学生 60.5%) が最も多く、以下「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(就学前児童 44.2%・小学生 36.8%)、「利用料がかかる・高い」(就学前児童 29.5%・小学生 23.7%) の順に多くなっている。

【就学前児童 問 20-4】【小学生 問 16-4】

問 20-2 (小学生 問 16-2) で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由



○父母が休む以外の対処方法を選んだ方について、父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看ることへの考えをみると、就学前児童では60.5%、小学生では47.4%の方が「できれば仕事を休んで看たい」と回答している。

【就学前児童 問20-5】【小学生 問16-5】

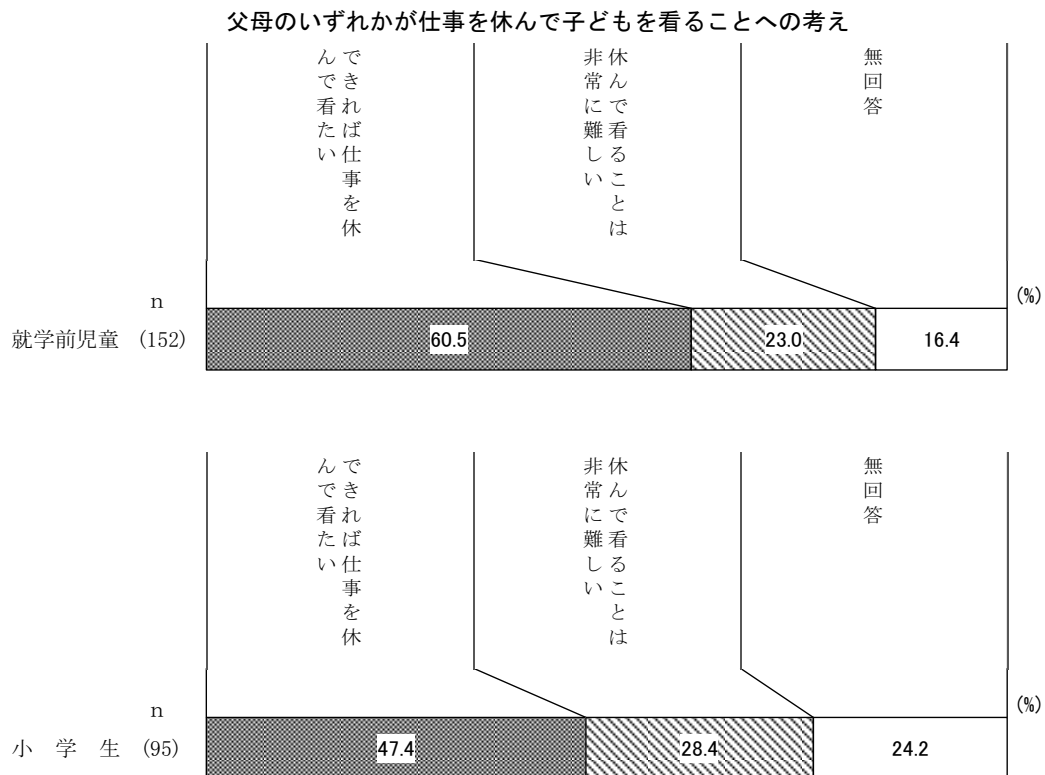
問20-1（小学生 問16-1）で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに回答した方にかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

（あてはまる番号1つに○）

※「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字で記入してください（数字は一桁に一字）。

※1年間でお考えください。

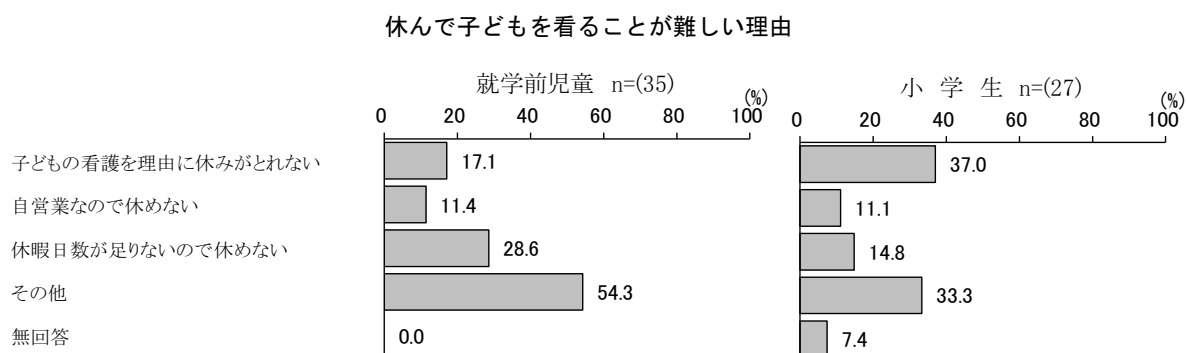


○休んで子どもを見ることは非常に難しい方は約4人に1人が該当しており、休んで子どもを見るのが難しい理由をみると、就学前児童では「休暇日数が足りないので休めない」(28.6%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(17.1%)、「自営業なので休めない」(11.4%)の順になっている。一方、小学生では「子どもの看護を理由に休みがとれない」(37.0%)、「休暇日数が足りないので休めない」(14.8%)、「自営業なので休めない」(11.1%)の順になっている。「その他」(就学前児童 54.3%・小学生 33.3%)の内容としては、「人員不足で休みが取りづらい」「職場に負担がかかる」「休みはもらえるが、気を使う」「仕事がたまってしまう」などとなっており、休めないことはないが、非常に休みにくい状況であることがうかがえる。

【就学前児童 問 20-6】【小学生 問 16-6】

問 20-5 (小学生問 16-5) で「休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



(3) 不特定の教育・保育事業の現在の利用状況と今後の利用希望

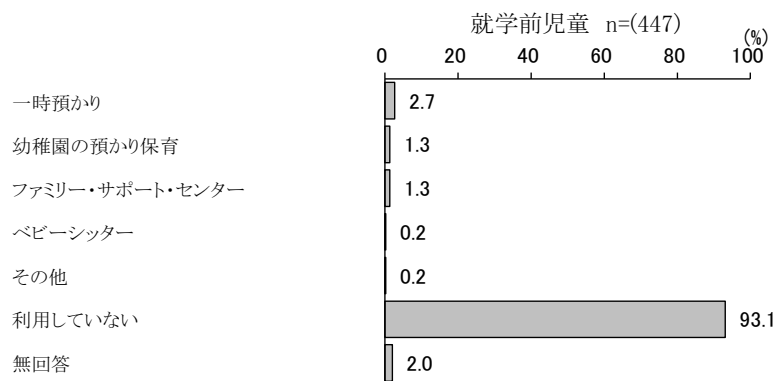
○不特定の教育・保育事業の現在の利用状況をみると、「利用していない」が93.1%となっており、利用している事業として最も多い「一時預かり」でも2.7%にとどまっている。

【就学前児童 問21】

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

不特定の教育・保育事業の現在の利用状況



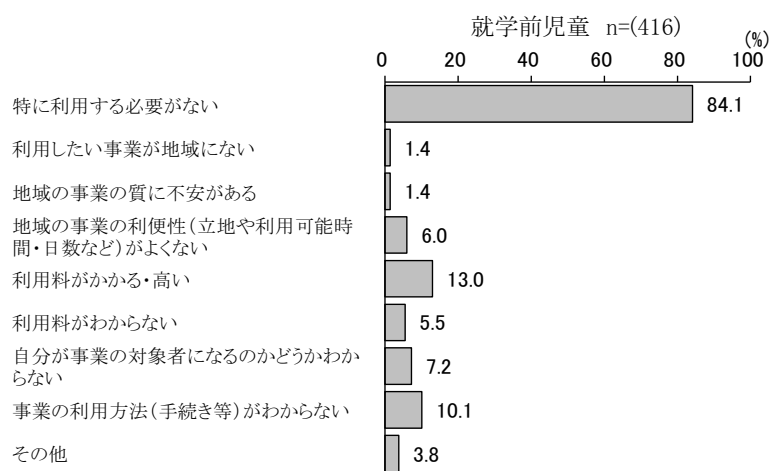
○不定期の教育・保育事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」(84.1%)が圧倒的だが、以下「利用料がかかる・高い」(13.0%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(10.1%)などとなっており、改めての周知や配慮が必要なケースもみられる。

【就学前児童 問21-1】

問21で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

不定期の教育・保育事業を利用していない理由



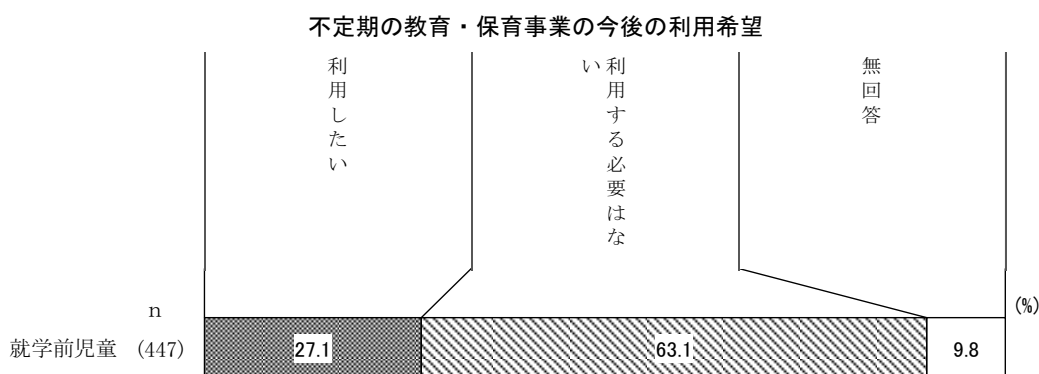
- 不特定の教育・保育事業の今後の利用希望をみると、「利用したい」は27.1%となっている。
- 年齢別（3区分）にみると、0歳では「利用したい」が31.4%と他の年齢に比べてやや多くなっている。
- 利用希望がある方の不特定の教育・保育事業を今後利用する目的をみると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（ともに57.0%）が多く、以下「不特定の就労」（42.1%）となっている。

【就学前児童 問22】

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。

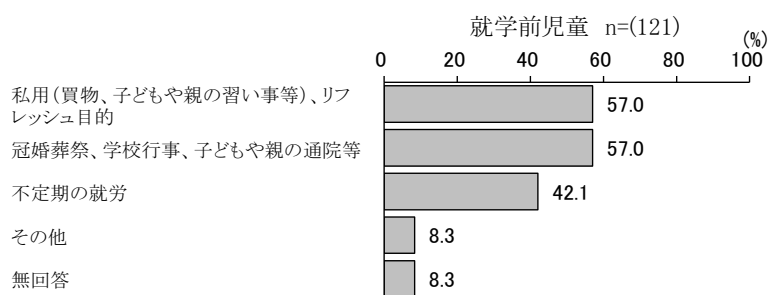
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



<年齢別>

	調査数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	447	121	282	44
	100.0	27.1	63.1	9.8
年齢別				
0歳	102	32	60	10
	100.0	31.4	58.8	9.8
1歳	70	18	45	7
	100.0	25.7	64.3	10.0
2歳	71	16	49	6
	100.0	22.5	69.0	8.5
3歳	65	23	39	3
	100.0	35.4	60.0	4.6
4歳	69	22	40	7
	100.0	31.9	58.0	10.1
5歳	59	8	44	7
	100.0	13.6	74.6	11.9
年齢別（3区分）				
0歳	102	32	60	10
	100.0	31.4	58.8	9.8
1～2歳	141	34	94	13
	100.0	24.1	66.7	9.2
3～5歳	193	53	123	17
	100.0	27.5	63.7	8.8

不定期の教育・保育事業を今後利用する目的

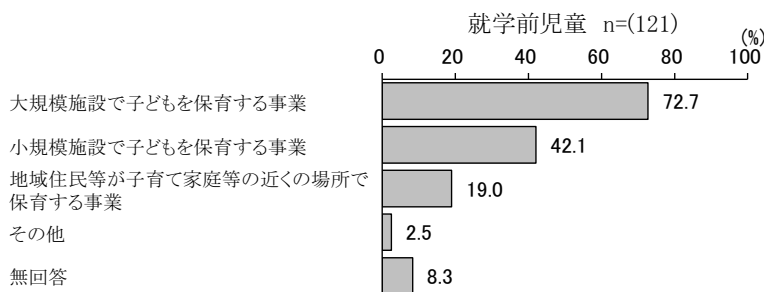


○子どもを預ける場合に希望する事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(72.7%)が最も多く、以下「小規模施設で子どもを保育する事業」(42.1%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(19.0%)となっている。

【就学前児童 問 22-1】

問 22 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

子どもを預ける場合に希望する事業形態



(4) 宿泊を伴う一時保育事業の現在の利用状況

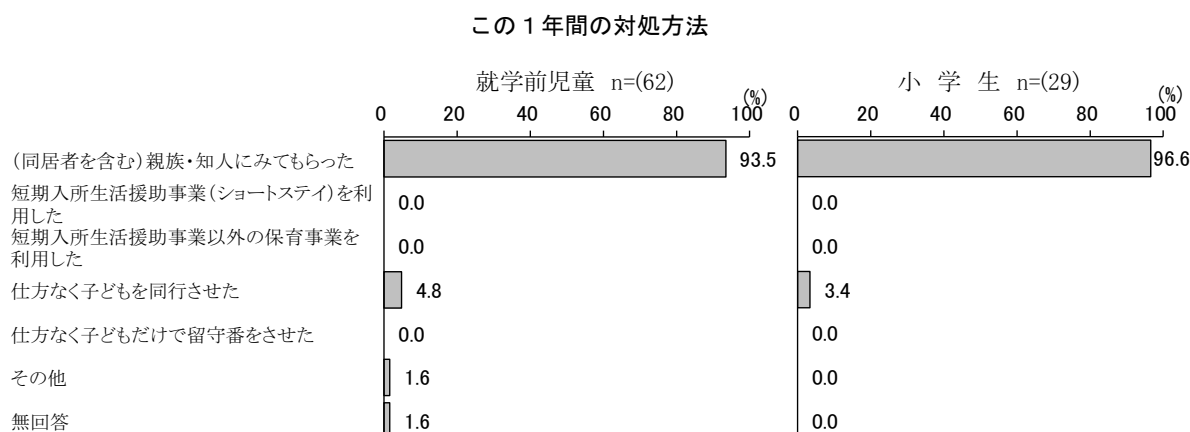
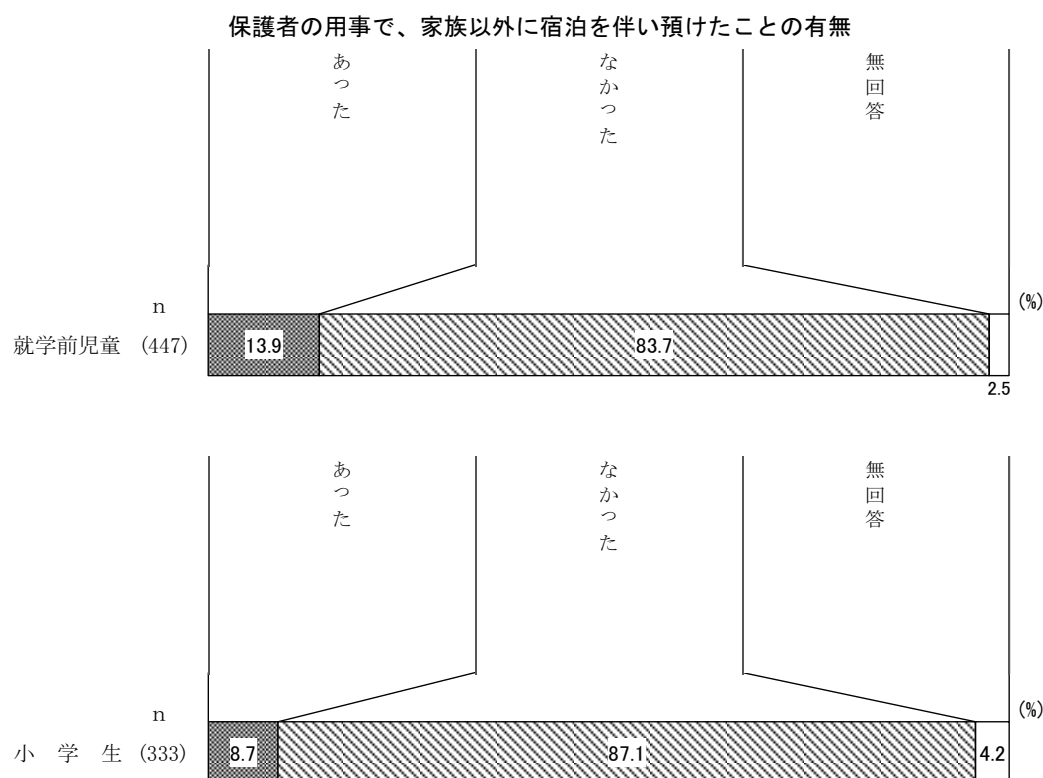
○保護者の用事で、家族以外に宿泊を伴い預けたことの有無をみると、就学前児童では13.9%、小学生では8.7%が「あった」と回答している。

○この1年間の対処方法をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(就学前児童93.5%・小学生96.6%)が圧倒的であるが、「仕方なく子どもを同行させた」(就学前児童4.8%・小学生3.4%)ケースも出ている。

【就学前児童 問23】【小学生 問17】

この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

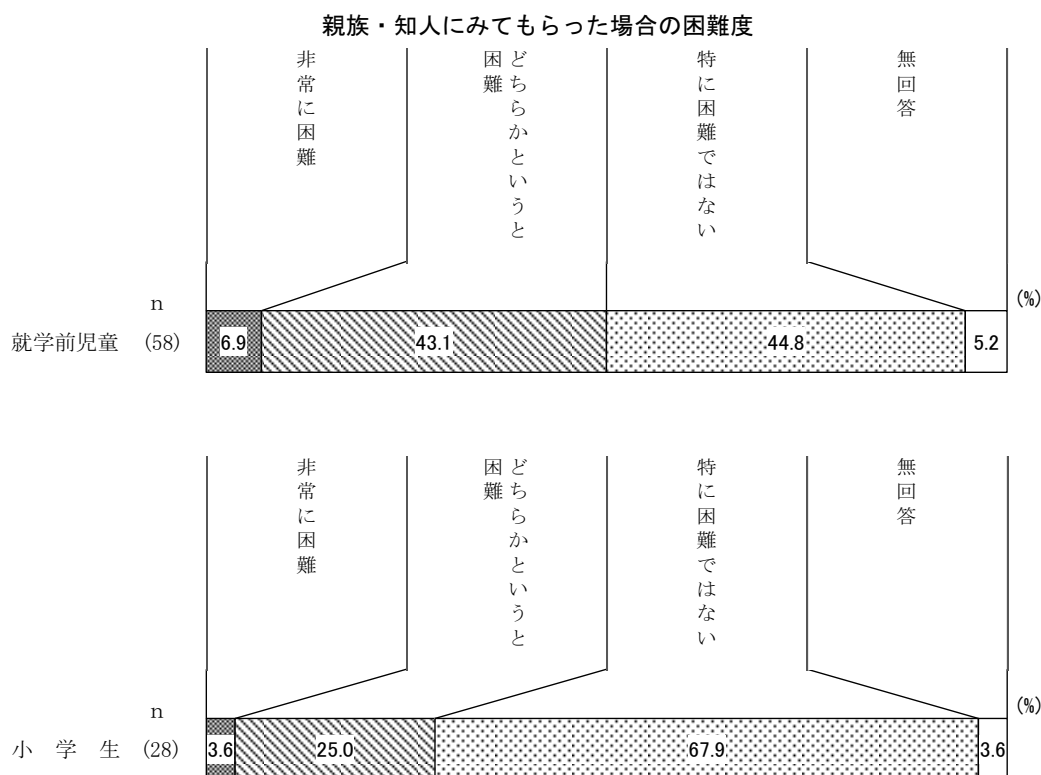


○親族・知人にみてもらった場合の困難度をみると、「特に困難ではない」（就学前児童 44.8%、小学生 67.9%）は年齢が上がるほど多くなっており、預けやすくなっていることがうかがえる。その一方、「非常に困難」（就学前児童 6.9%・小学生 3.6%）は就学前児童が上回っており、親族・知人にみてもらうことも容易でない方が一定数いることがわかる。

【就学前児童 問 23-1】【小学生 問 17-1】

問 23（小学生 問 17）で「あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号 1 つに○）



3. 放課後の過ごし方について

(1) 就学前児童の小学校就学後の平日の放課後の過ごし方の今後の希望

- 5歳以上の就学前児童の小学校入学後の平日の放課後の過ごし方の今後の希望をみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(61.0%)、「自宅」(50.8%)がともに多く、次いで「習い事」(27.1%)、以下「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」(8.5%)の順になっている。
- 平日の放課後の過ごし方の希望日数(1週当たり)をみると、放課後児童クラブ〔学童保育〕では「5日」(低学年時(1～3年生)80.6%・高学年時(4～6年生)30.6%)が最も多いが、高学年時(4～6年生)では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の下校時間からの希望終了時間をみると、「17時台」(低学年時(1～3年生)38.9%・高学年時(4～6年生)22.2%)、「18時台」(低学年時(1～3年生)44.4%・高学年時(4～6年生)16.7%)がともに多くなっているが、高学年時(4～6年生)では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。

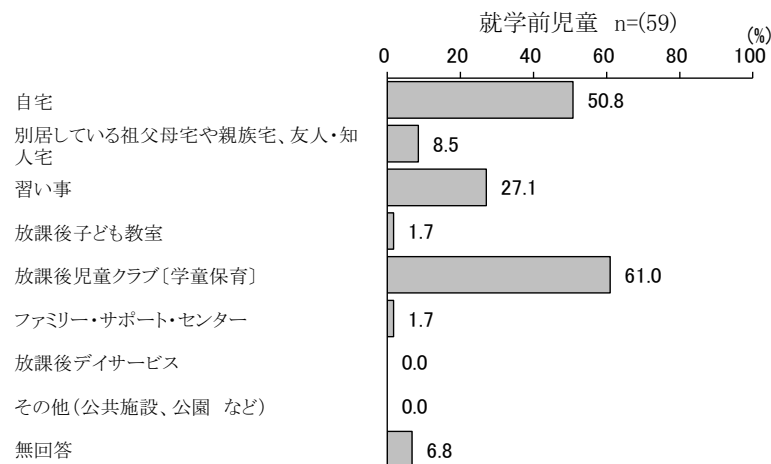
【就学前児童 問24】

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

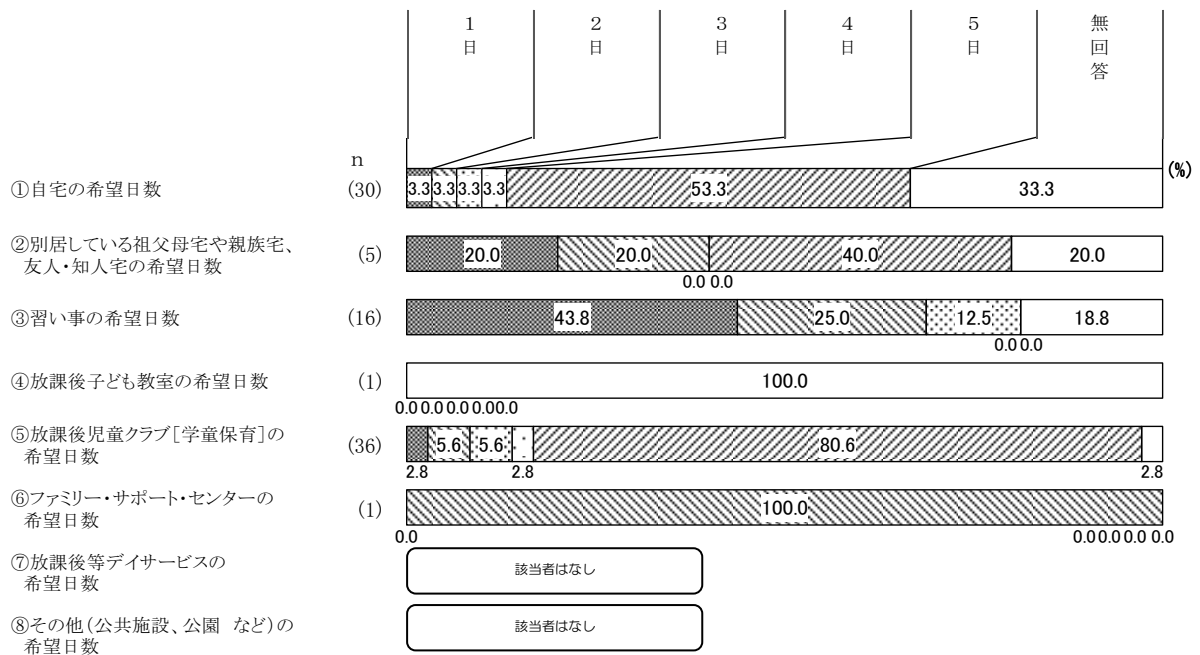
宛名のお子さんについて、小学校に入学した後、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

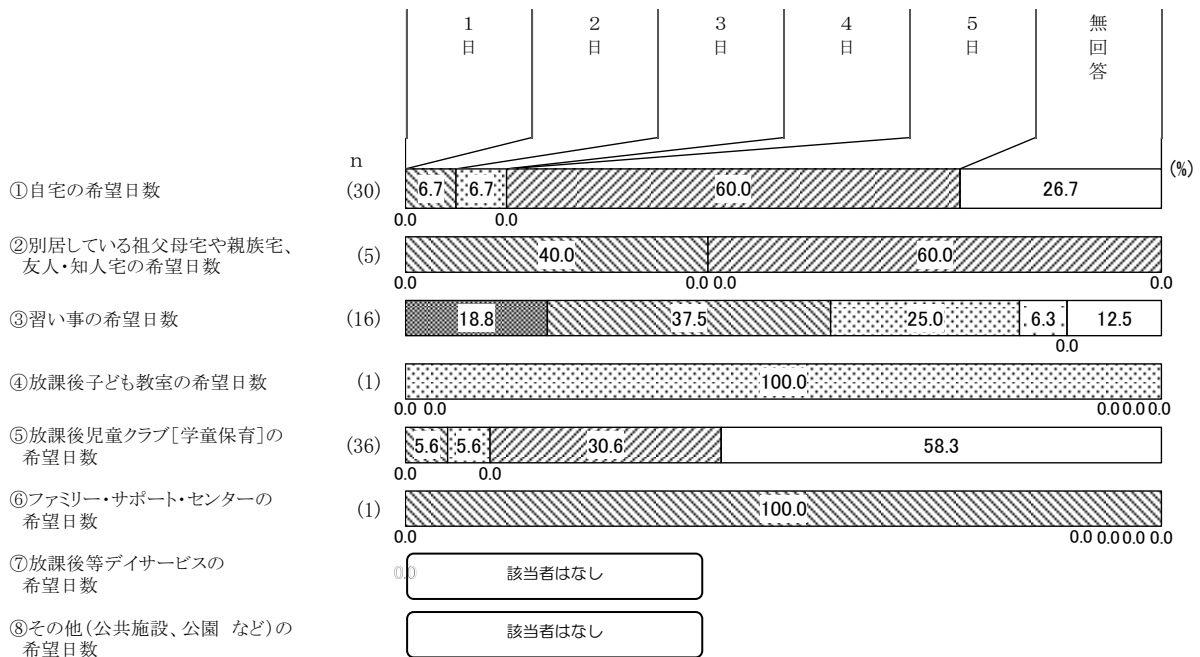
平日の放課後の過ごし方の今後の希望



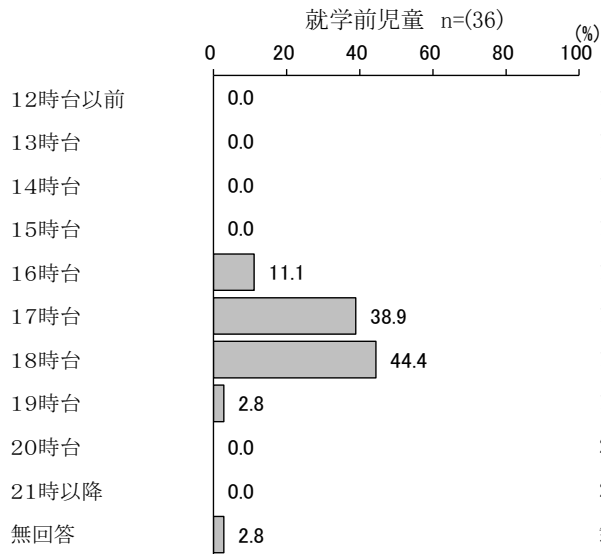
平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[低学年時（1～3年生）]



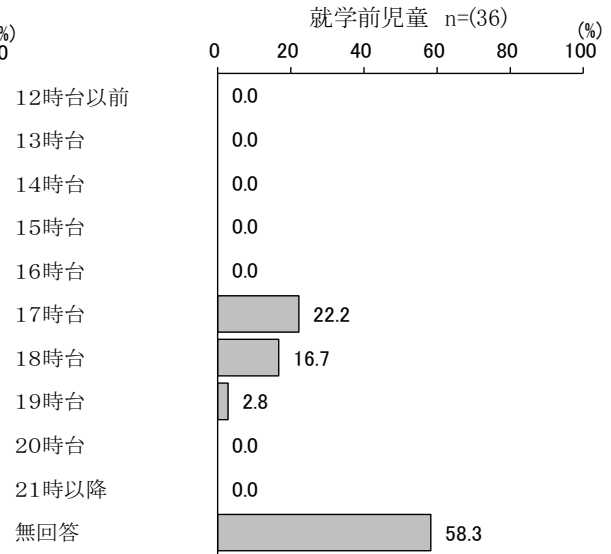
平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[高学年時（4～6年生）]



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔低学年時（1～3年生）〕



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔高学年時（4～6年生）〕



(2) 小学生の平日の放課後の過ごし方の現状と今後の希望

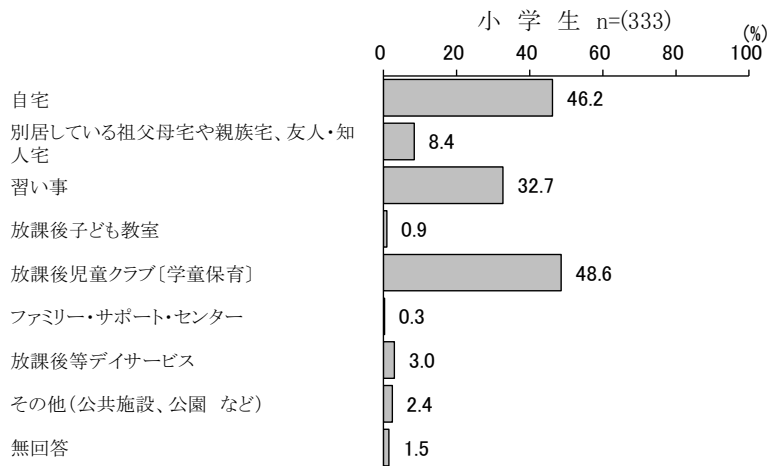
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の現状をみると、「放課後児童クラブ[学童保育]」(48.6%)と「自宅」(46.2%)がともに多く、以下「習い事」(32.7%)、「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」(8.4%)となっている。
- 学年別にみると、「放課後児童クラブ[学童保育]」は学年が低いほど需要が高く、1年生では61.9%となっている。一方、3年生になると38.8%と減少し、かわって「自宅」、「習い事」が多くなっている。
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の利用日数(1週当たり)をみると、「5日」は放課後等デイサービス(100.0%)、放課後児童クラブ[学童保育](82.7%)が多くなっている。
- 放課後児童クラブ[学童保育]を選んだ方の下校時間からの利用終了時間をみると、「17時台」(56.8%)と「18時台」(34.6%)がともに多くなっている。

【小学生 問12】

宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

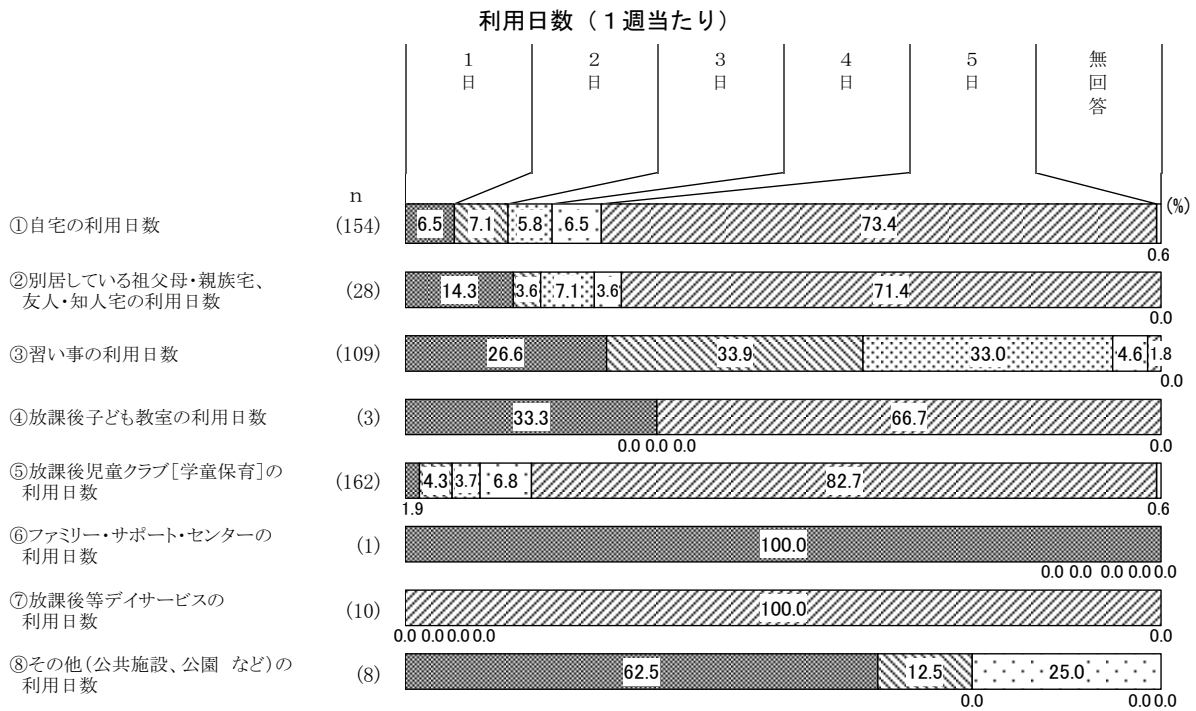
※それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

平日の放課後の過ごし方の現状

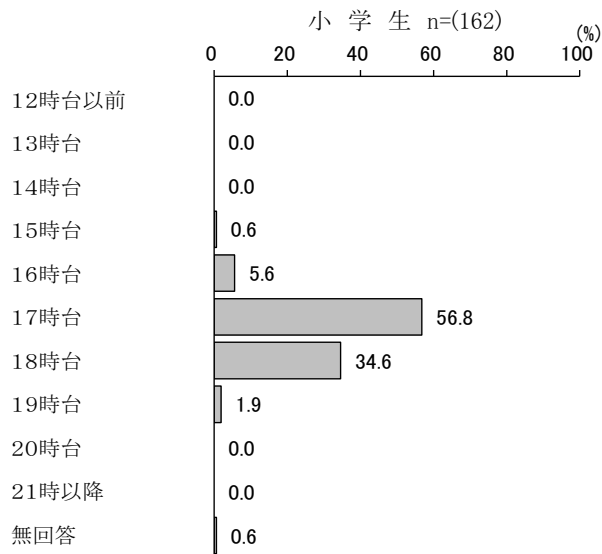


<学年別>

	調査数	自宅	別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童保育)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公共施設、公園 など)	無回答
全体	333	154	28	109	3	162	1	10	8	5
	100.0	46.2	8.4	32.7	0.9	48.6	0.3	3.0	2.4	1.5
1年生	105	41	5	25	1	65	0	3	2	1
	100.0	39.0	4.8	23.8	1.0	61.9	0.0	2.9	1.9	1.0
2年生	125	62	11	44	1	55	1	5	0	1
	100.0	49.6	8.8	35.2	0.8	44.0	0.8	4.0	0.0	0.8
3年生	85	43	9	33	1	33	0	2	6	2
	100.0	50.6	10.6	38.8	1.2	38.8	0.0	2.4	7.1	2.4



放課後児童クラブ [学童保育] を選んだ方の下校時間からの利用終了時間



○地域の事業を利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」(57.8%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(27.3%)となっている。

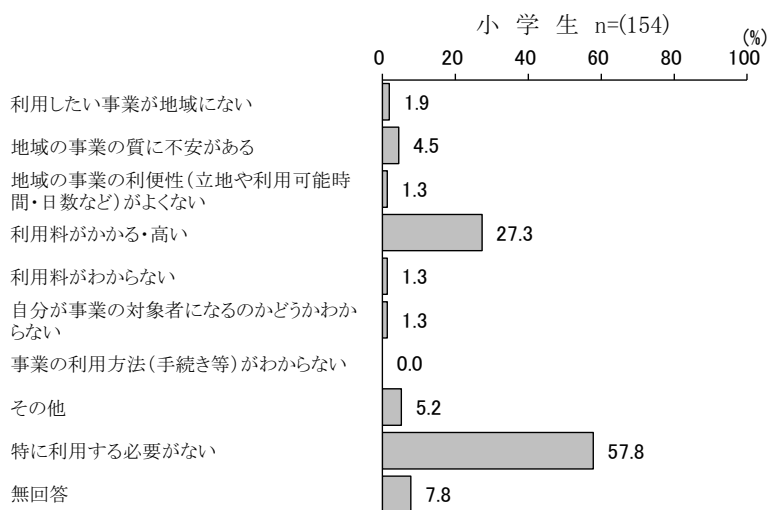
【小学生 問12-1】

問12で「自宅」「別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅」「習い事」または「その他(公共施設、公園 など)」に○をつけた(地域の事業を利用していない)方にうかがいます。

宛名のお子さんが「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ(学童保育)」、「ファミリー・サポート・センター」、「放課後等デイサービス」を現在利用していない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

地域の事業を利用していない理由



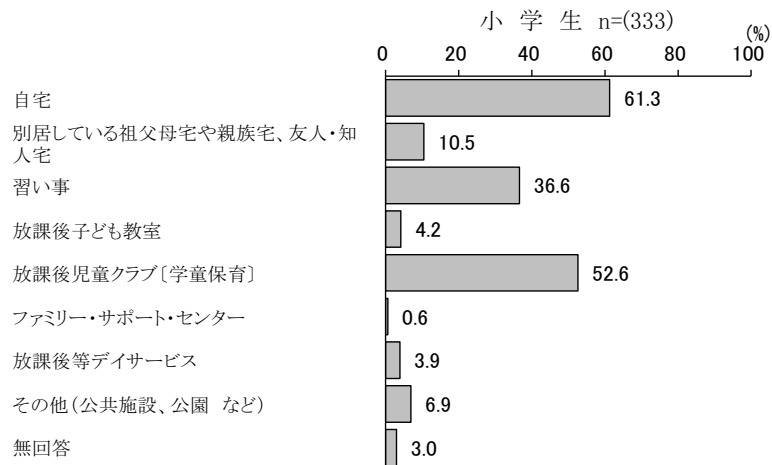
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の今後の希望をみると、順位は異なるものの現状と上位は同じ回答であり、「自宅」（現状 46.2%・希望 61.3%）、「放課後児童クラブ[学童保育]」（現状 48.6%・希望 52.6%）、「習い事」（現状 32.7%・希望 36.6%）が多くなっている。
- 学年別にみると、現状も希望も同様の傾向で「放課後児童クラブ[学童保育]」は学年が低いほど需要が高く、1年生では 64.8%となっている。一方、3年生になると 43.5%と減少し、かわって「自宅」、「習い事」の希望が多くなっている。
- 小学生の平日の放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）をみると、「5日」は低学年時（1～3年生）では放課後等デイサービス（84.6%）、放課後児童クラブ[学童保育]（79.4%）など預かりを兼ねた居場所がともに多く、以下別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅（51.4%）、自宅（45.6%）の順になっているが、高学年時（4～6年生）では自宅（55.9%）が最も多く、放課後等デイサービス（53.8%）、放課後児童クラブ[学童保育]（31.4%）を上回っている。一方、ファミリー・サポート・センターや放課後子ども教室は「1日」が多くなっている。
- 放課後児童クラブ[学童保育]を選んだ方の下校時間からの希望終了時間をみると、「17時台」（低学年時（1～3年生）50.9%・高学年時（4～6年生）23.4%）、「18時台」（低学年時（1～3年生）39.4%・高学年時（4～6年生）17.7%）がともに多くなっているが、高学年時（4～6年生）では「無回答」が多く回答数が少ないため比率は高くない。

【小学生 問13】

宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

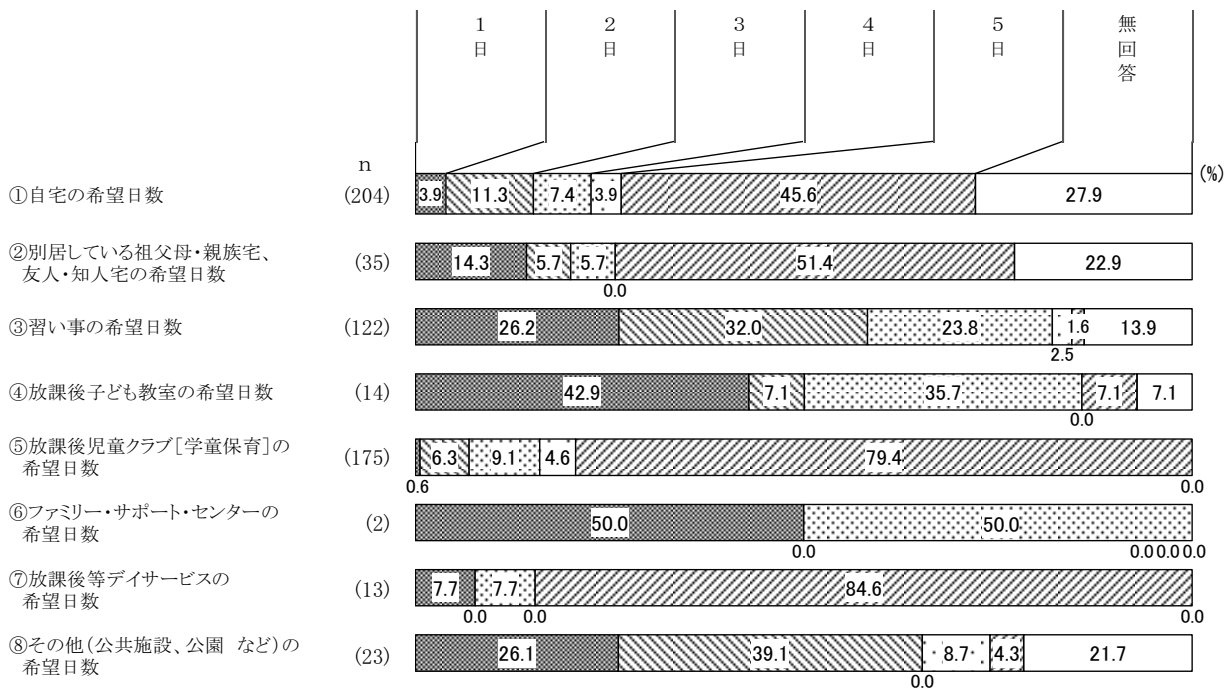
平日の放課後の過ごし方の今後の希望



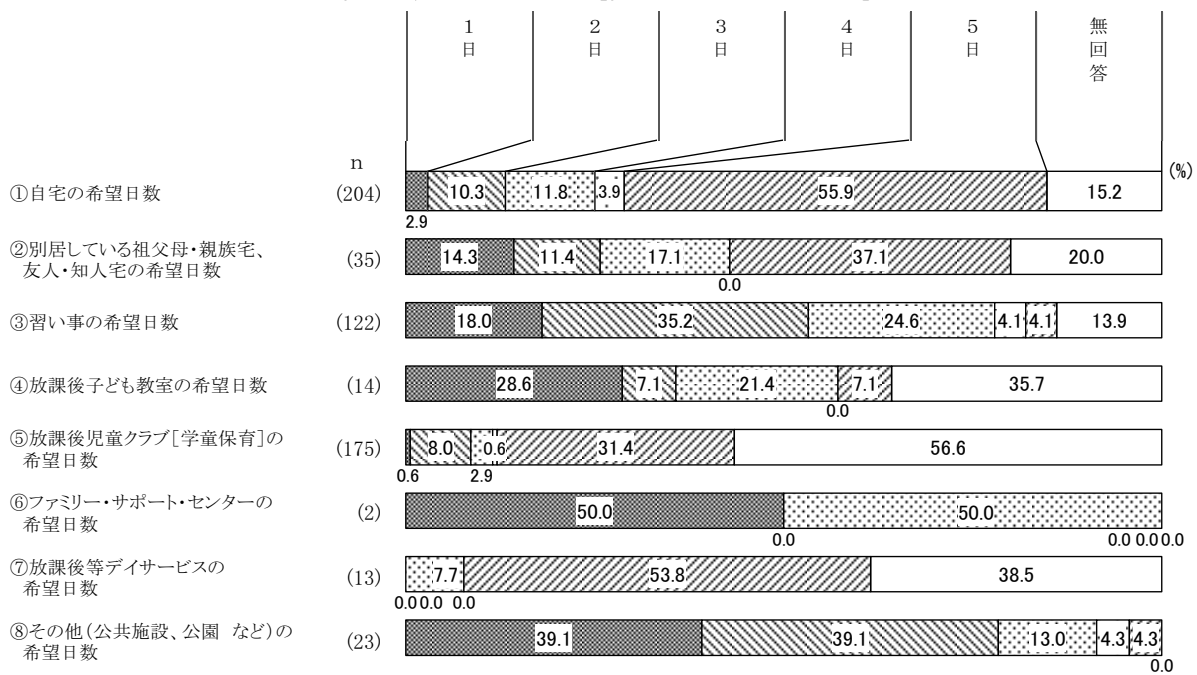
<学年別>

	調査数	自宅	別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	放課後児童クラブ〔学童保育〕	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公共施設、公園 など)	無回答
全体	333 100.0	204 61.3	35 10.5	122 36.6	14 4.2	175 52.6	2 0.6	13 3.9	23 6.9	10 3.0
学年別										
1年生	105 100.0	58 55.2	9 8.6	33 31.4	3 2.9	68 64.8	1 1.0	4 3.8	5 4.8	2 1.9
2年生	125 100.0	77 61.6	13 10.4	47 37.6	7 5.6	60 48.0	1 0.8	6 4.8	9 7.2	5 4.0
3年生	85 100.0	57 67.1	8 9.4	33 38.8	4 4.7	37 43.5	0 0.0	3 3.5	9 10.6	2 2.4

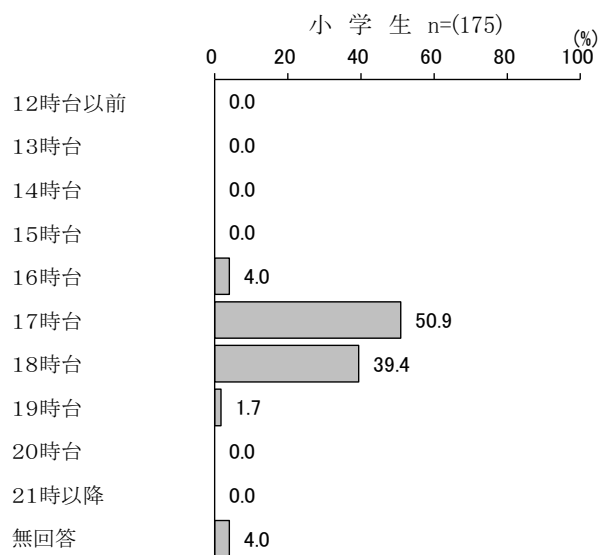
希望日数（1週当たり）[低学年時（1～3年生）]



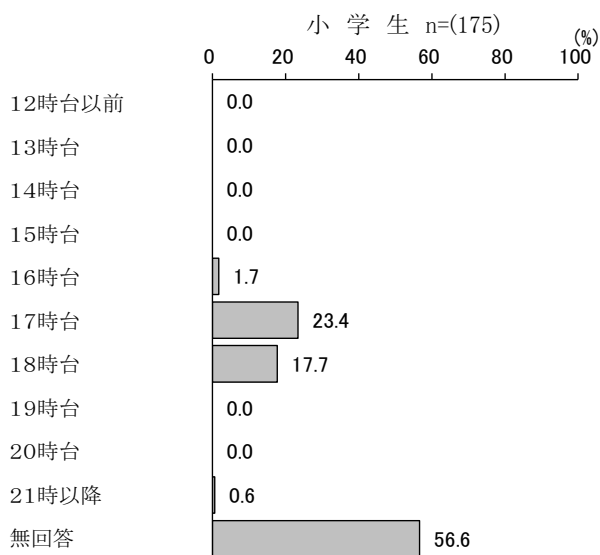
希望日数（1週当たり）[高学年時（4～6年生）]



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔低学年時（1～3年生）〕



放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の
下校時間からの希望終了時間
〔高学年時（4～6年生）〕



(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの今後の利用希望

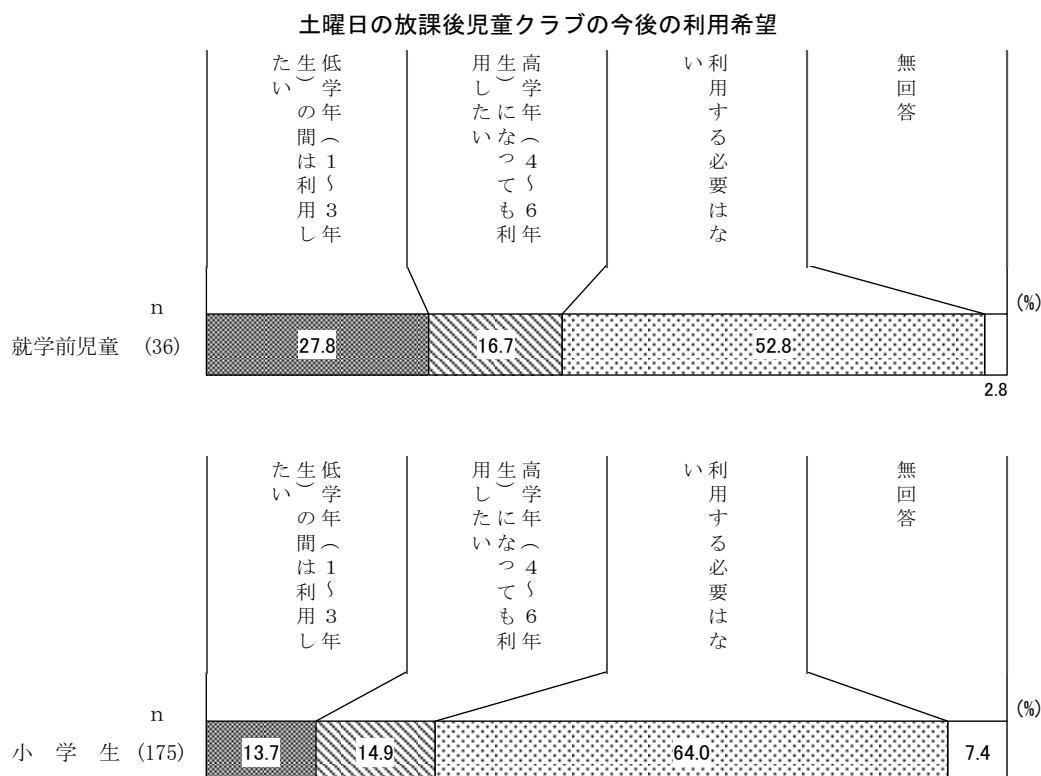
○土曜日の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、就学前児童では「利用する必要はない」(就学前児童 52.8%・小学生 64.0%)が最も多く「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(就学前児童 27.8%・小学生 13.7%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(就学前児童 16.7%・小学生 14.9%)を合わせた“利用したい”は就学前児童では44.5%、小学生では28.6%となっている。

○土曜日の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」(就学前児童 50.0%・小学生 70.0%)が最も多く、希望終了時間は就学前児童では「18時台」(43.8%)が最も多く、以下「16時台」(25.0%)、「17時台」(18.8%)、小学生では「18時台」(44.0%)、「17時台」(34.0%)がともに多くなっている。

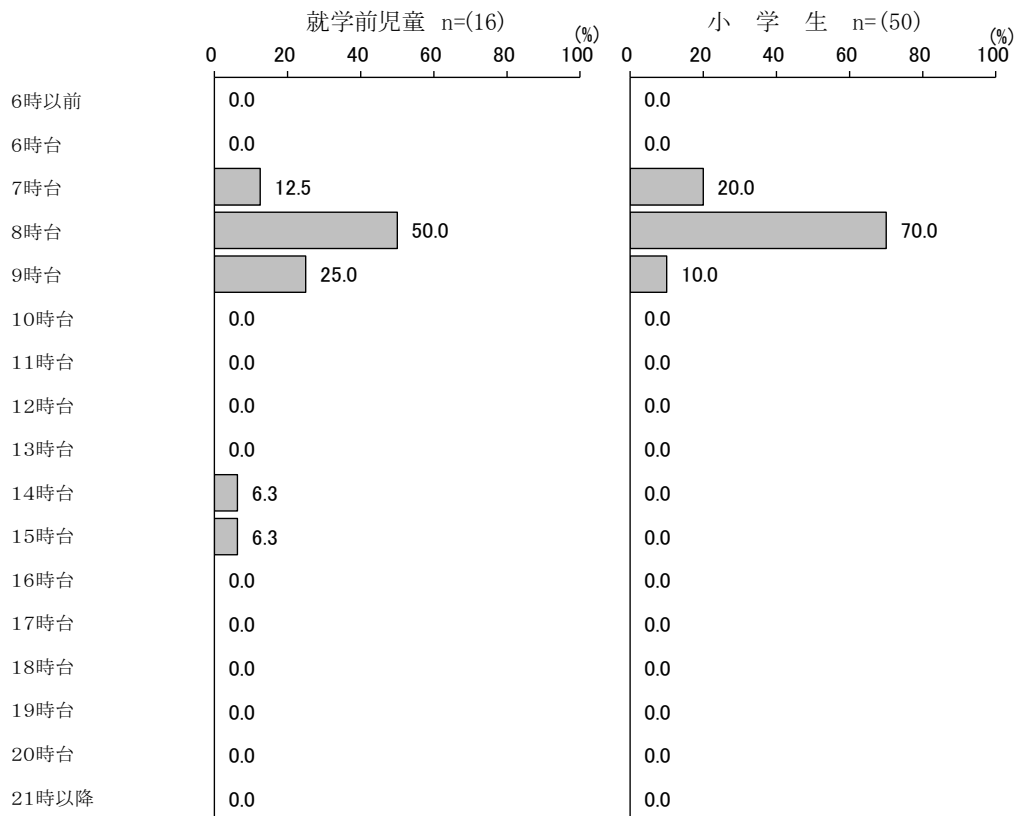
【就学前児童 問25】【小学生 問14】

問24(小学生 問13)で「放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。((1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
また、利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

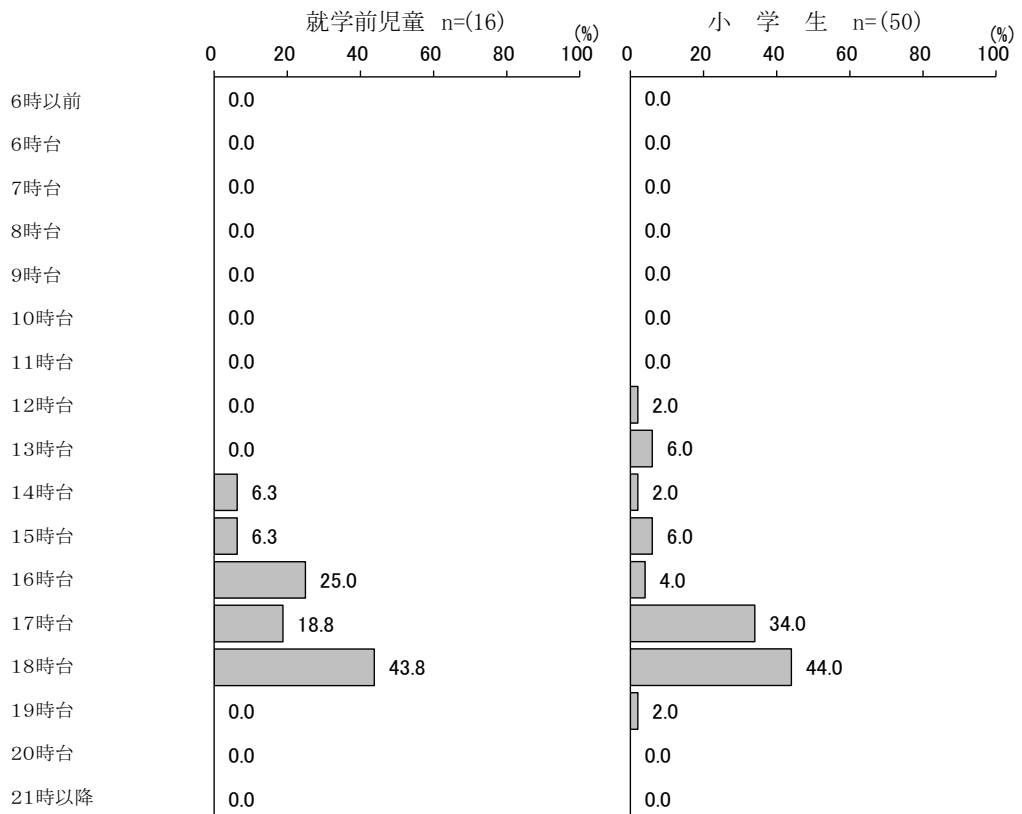
(1) 土曜日



土曜日の希望開始時間



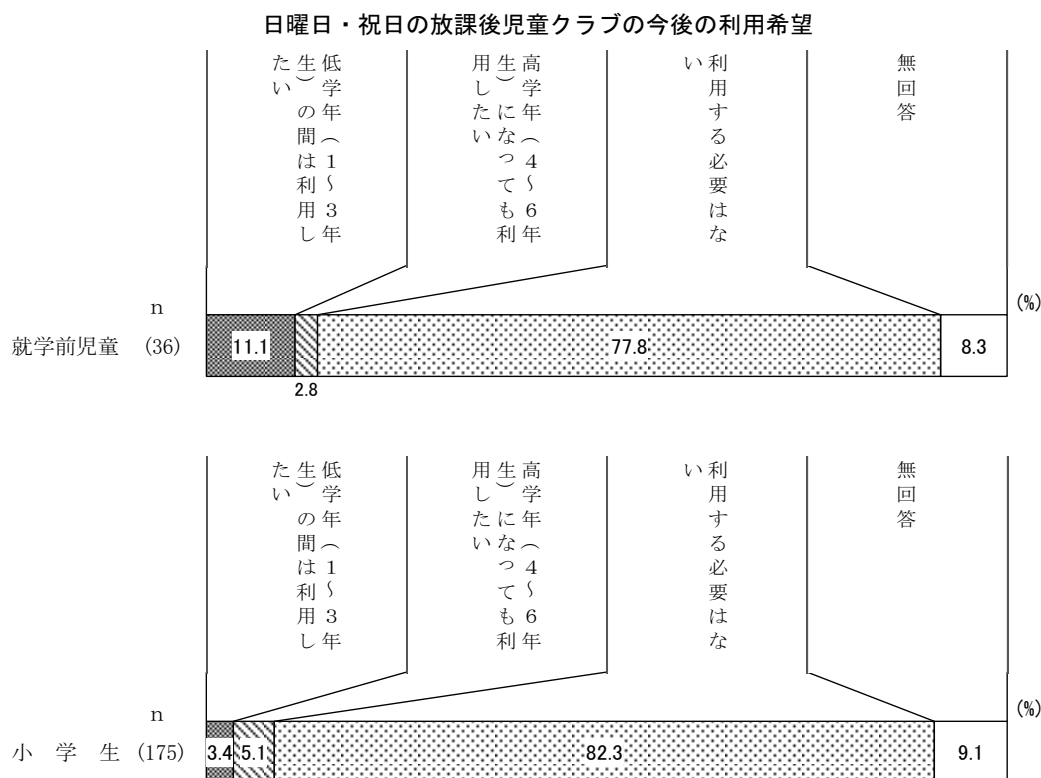
土曜日の希望終了時間



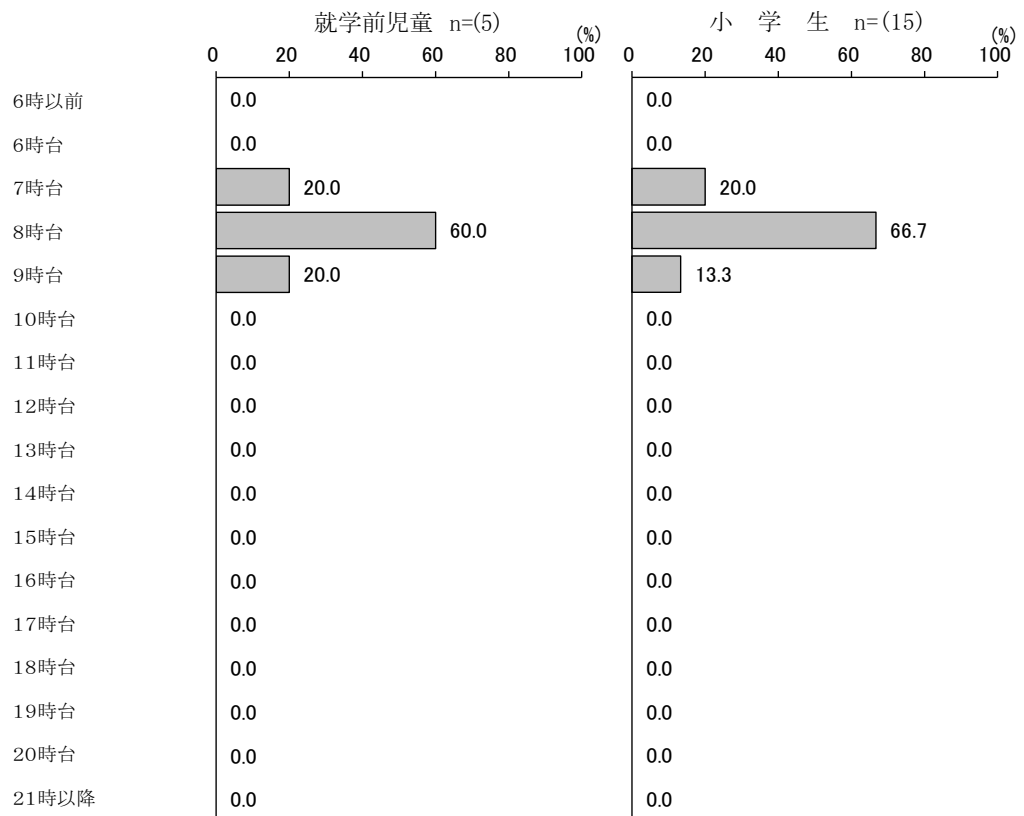
○日曜日・祝日の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、「利用する必要はない」（就学前児童 77.8%・小学生 82.3%）が大半を占めており、就学前児童では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（11.1%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（2.8%）を合わせた“利用したい”は13.9%となっている。小学生では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（3.4%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（5.1%）を合わせた“利用したい”は8.5%となっている。

○日曜日・祝日の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 60.0%・小学生 66.7%）が最も多く、希望終了時間をみると、就学前児童では「18時台」（40.0%）のほか、「15時台」「16時台」「17時台」（ともに20.0%）となっており、小学生では「18時台」（60.0%）が最も多く、以下「17時台」（26.7%）、「16時台」「19時台」（ともに6.7%）と、小学生の方がやや希望終了時間が遅くなっている。

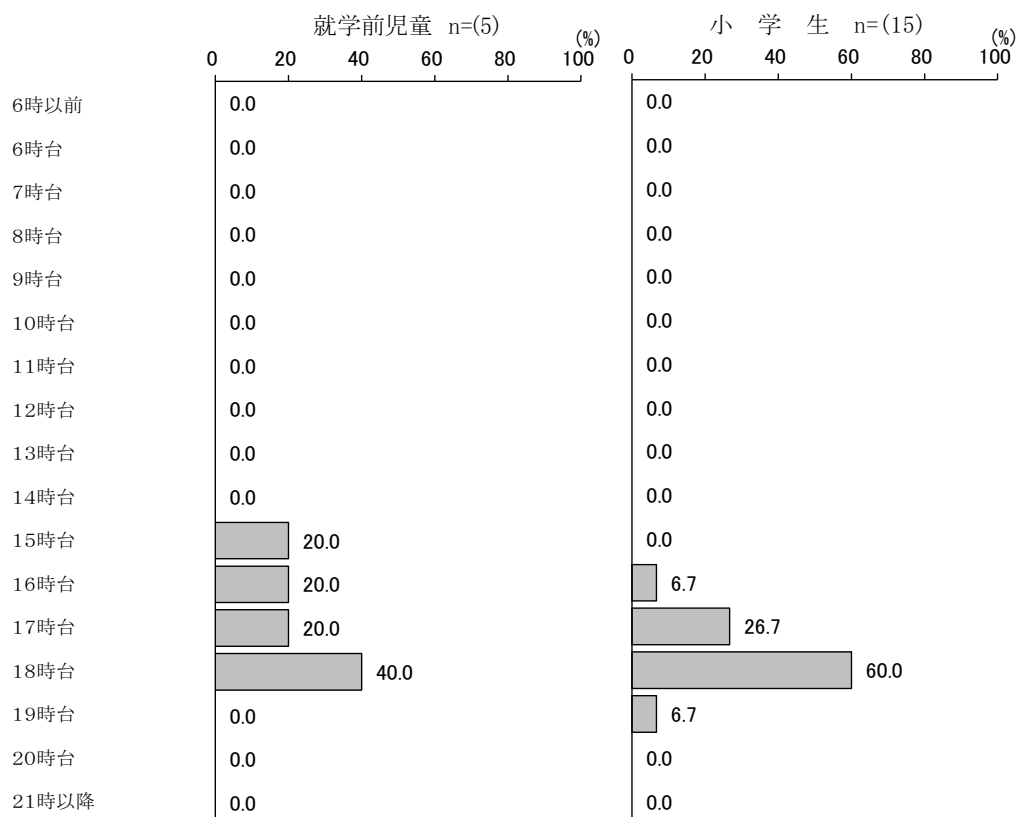
（2）日曜日・祝日



日曜日・祝日の希望開始時間



日曜日・祝日の希望終了時間



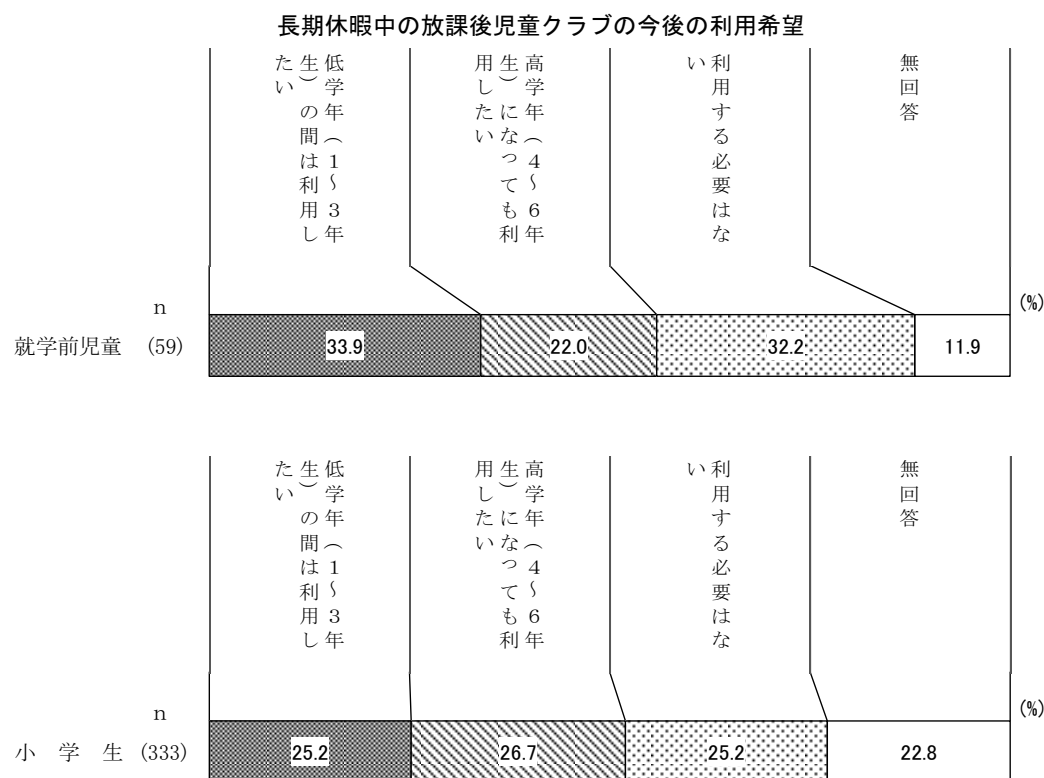
- 長期休暇中の放課後児童クラブの今後の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（就学前児童 33.9%・小学生 25.2%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（就学前児童 22.0%・小学生 26.7%）を合わせた“利用したい”は就学前児童では55.9%、小学生では51.9%となっており、土曜日、日曜日・祝日に比べてニーズが高い。
- 長期休暇中の放課後児童クラブの今後の利用希望開始時間・希望終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 60.6%・小学生 65.3%）が最も多く、希望終了時間は「17時台」（就学前児童 39.4%・小学生 48.0%）、「18時台」（就学前児童 42.4%・小学生 42.8%）が最も多くなっている。

【就学前児童 問26】【小学生 問15】

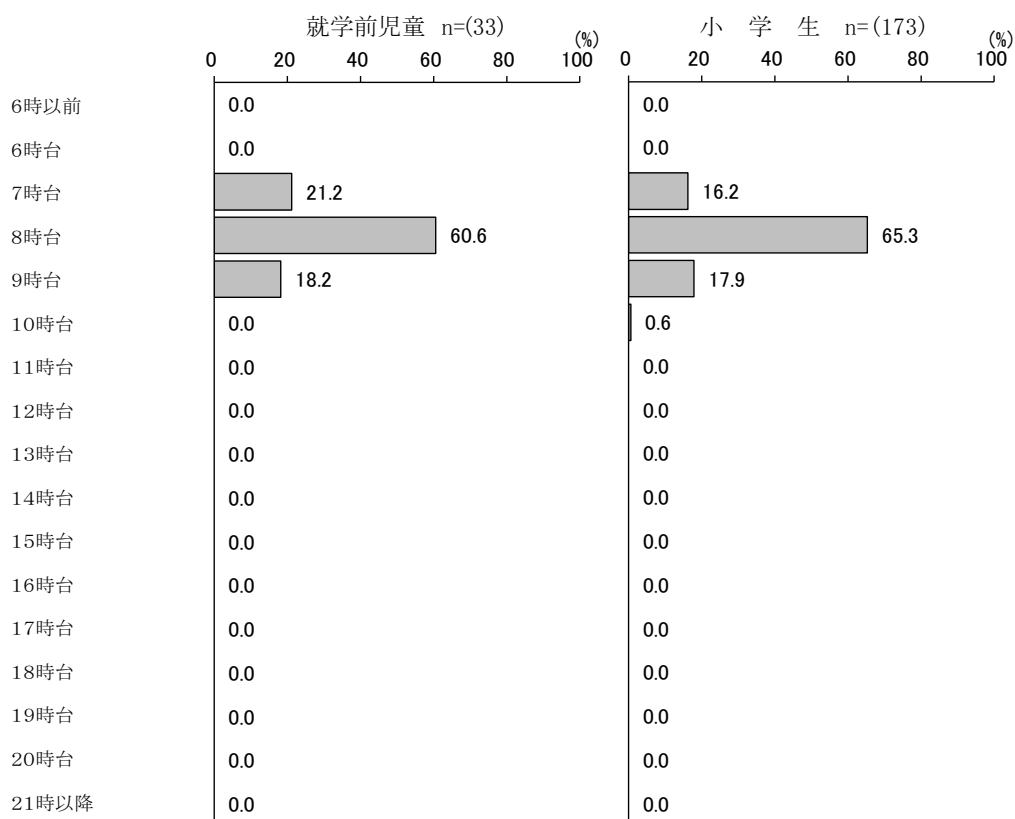
宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

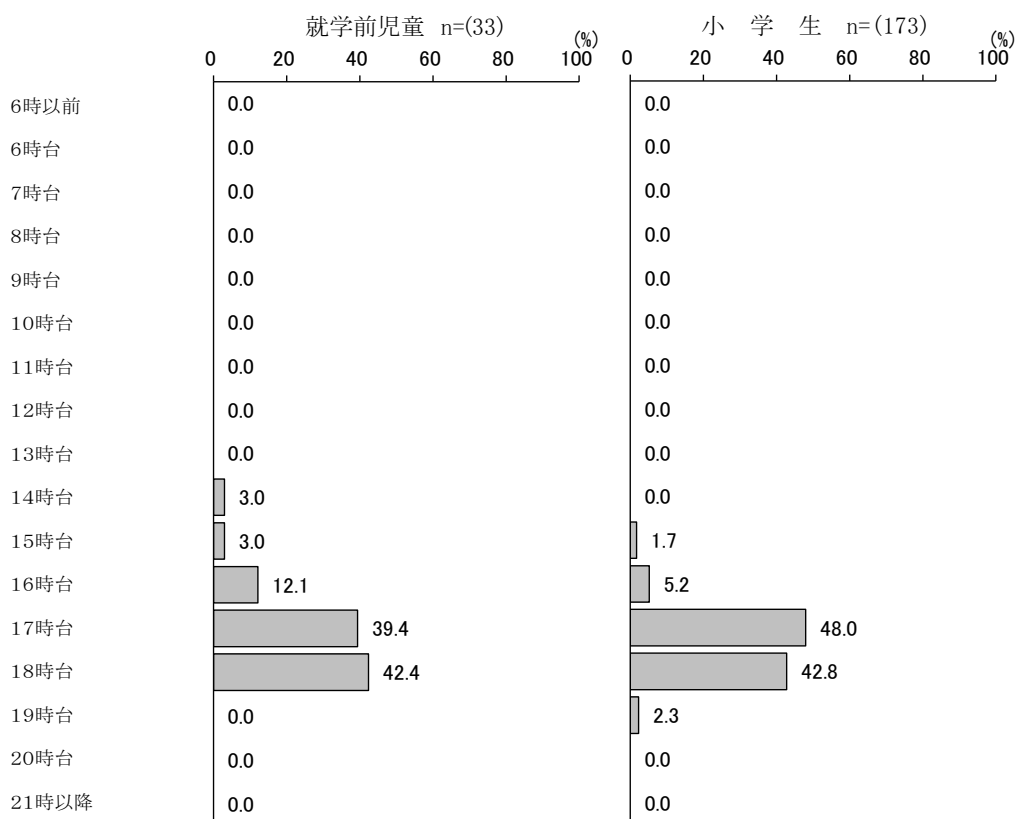
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。



長期休暇中の希望開始時間



長期休暇中の希望終了時間



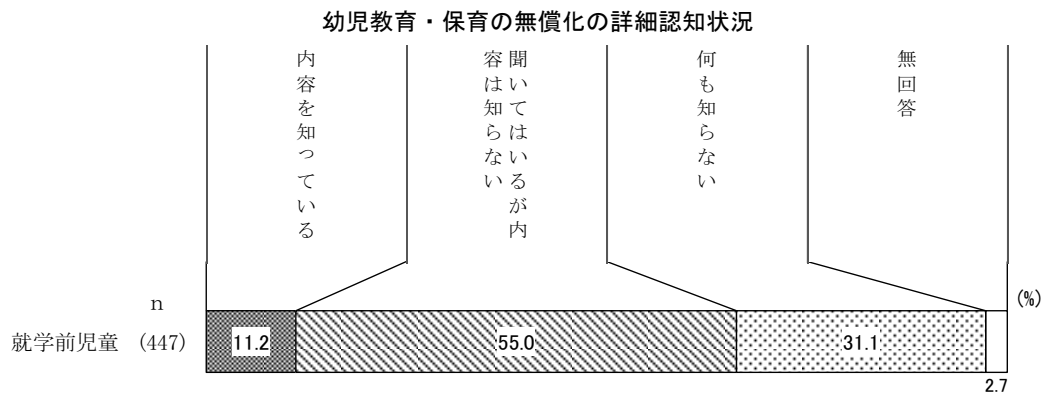
4. 幼児教育・保育の無償化について

(1) 幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況

○幼児教育・保育の無償化の詳細認知状況をみると、「聞いてはいるが内容は知らない」(55.0%)が最も多く、「内容を知っている」は11.2%にとどまっている。なお、「何も知らない」と回答している方も31.1%いることから、今後、内容の詳細も含めての幼児教育・保育の無償化の制度の周知徹底が重要と考えられる。

【就学前児童 問28】

2019年10月から、3～5歳児の幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象となることを知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

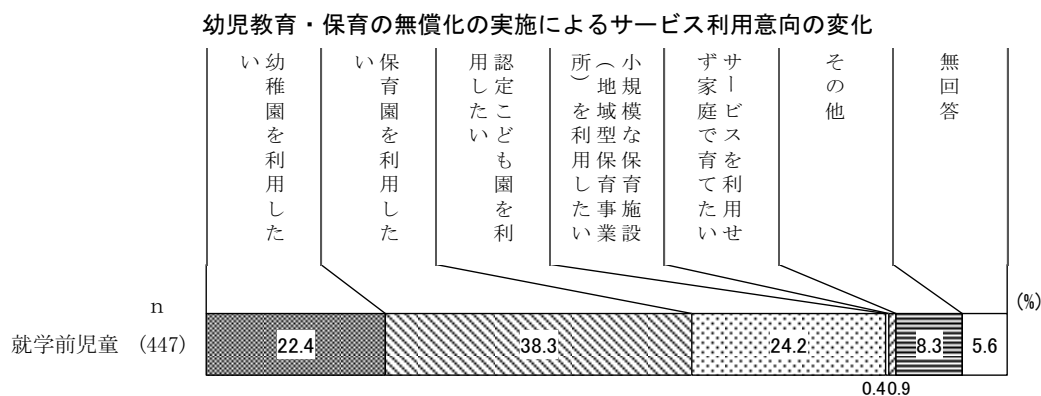


(2) 幼児教育・保育の無償化の実施によるサービス利用意向の変化

○幼児教育・保育の無償化の実施によるサービス利用意向の変化をみると、「保育園を利用したい」(38.3%)、「認定こども園を利用したい」(24.2%)、「幼稚園を利用したい」(22.4%)の順になっており、サービスを利用したいと考える方は約85%となっている。

【就学前児童 問29】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、宛名のお子さんのサービス利用意向に変化はありますか。(あてはまる番号1つに○)



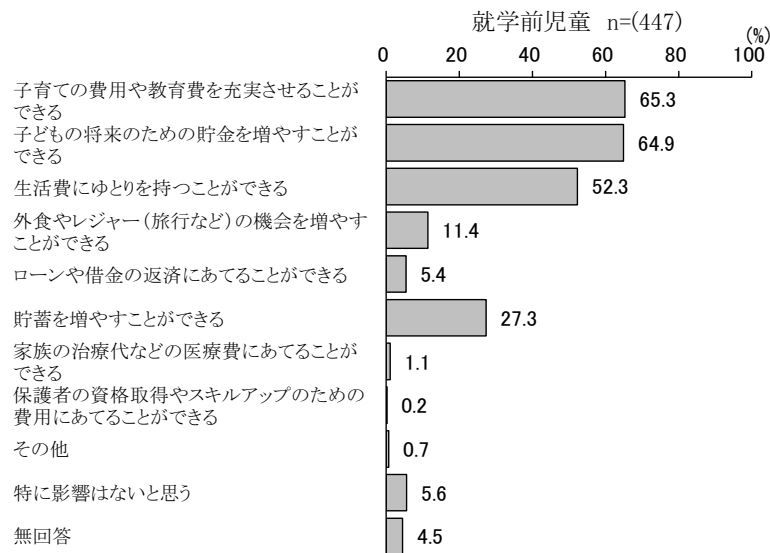
(3) 幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響

○幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響をみると、「子育ての費用や教育費を充実させることができる」(65.3%)、「子どもの将来のための貯金を増やすことができる」(64.9%)がともに多く、以下「生活費にゆとりを持つことができる」(52.3%)、「貯蓄を増やすことができる」(27.3%)の順になっている。

【就学前児童 問30】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、家庭生活にはどのような影響があると思いますか。(あてはまる番号3つまでに○)

幼児教育・保育の無償化の実施による家庭生活への影響



(4) 幼児教育・保育の無償化の実施によりさらに子どもを持つことへの考えの変化

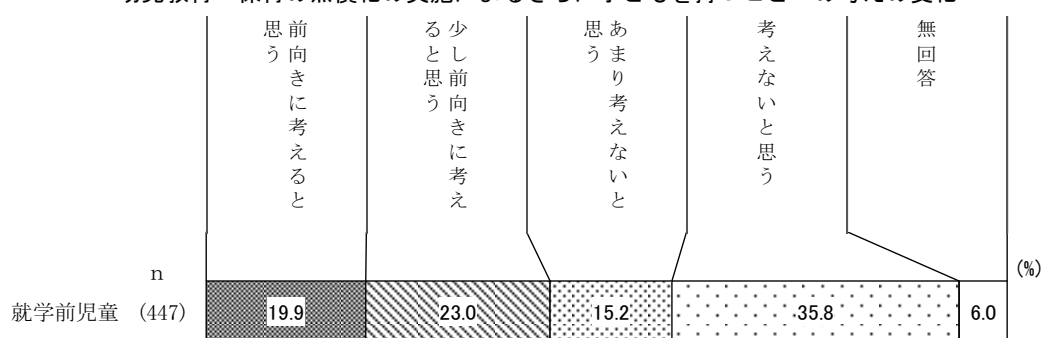
○幼児教育・保育の無償化の実施によりさらに子どもを持つことへの考えの変化をみると、「考えないと思う」(35.8%)が最も多く、「あまり考えないと思う」(15.2%)を合わせた“考えないと思う”は51.0%と「前向きに考えると思う」(19.9%)と「少し前向きに考えると思う」(23.0%)を合わせた“前向きに考えると思う” (42.9%)をやや上回っている。

【就学前児童 問31】

幼児教育・保育の無償化が実施されることで、子どもをさらに持ちたいと考えますか。

(あてはまる番号1つに○)

幼児教育・保育の無償化の実施によるさらに子どもを持つことへの考えの変化



第4章 子育て環境について

1. 子育ての情報源や悩んでいることについて

(1) 子育てに必要な施策などの情報の入手先

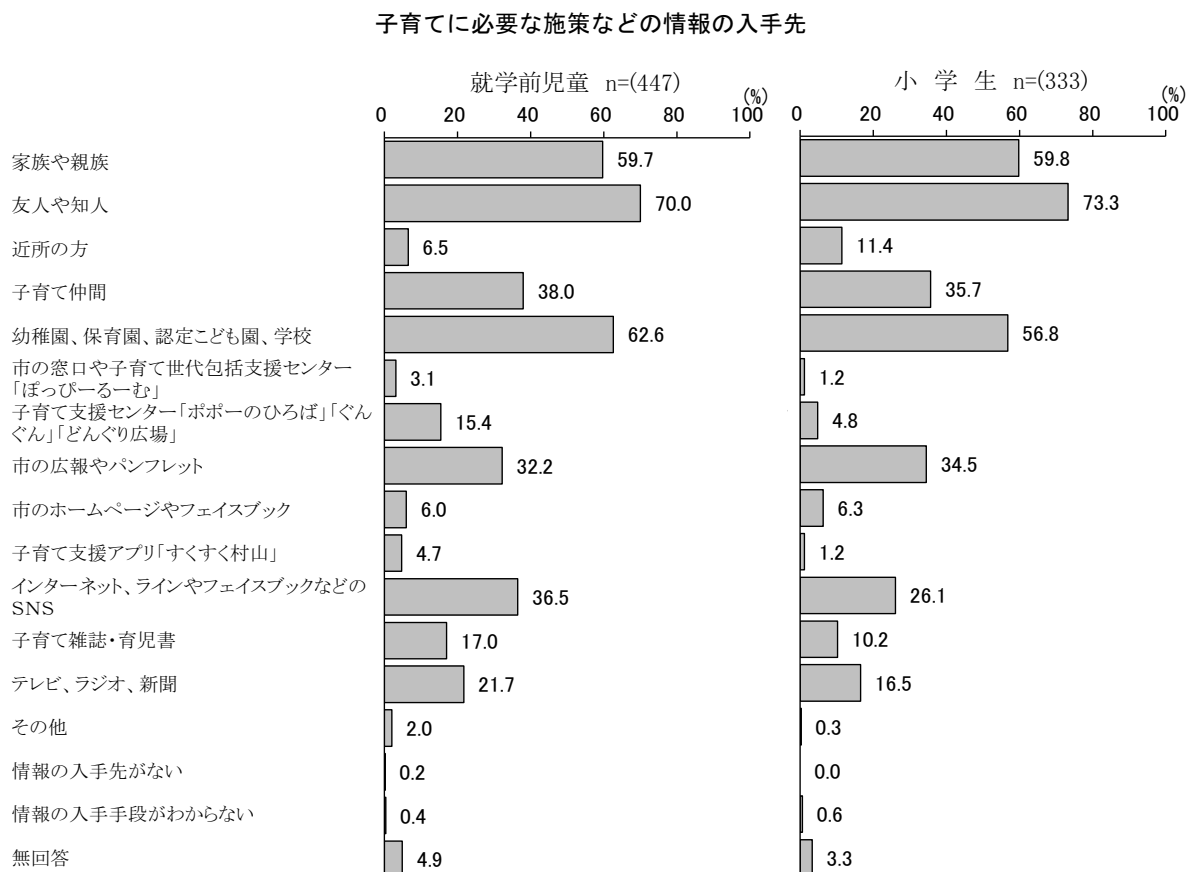
○子育てに必要な施策などの情報の入手先をみると、就学前児童では「友人や知人」(70.0%)、「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(62.6%)、「家族や親族」(59.7%)、「子育て仲間」(38.0%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(36.5%)、「市の広報やパンフレット」(32.2%)の順になっている。一方、小学生では「友人や知人」(73.3%)、「家族や親族」(59.8%)、「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(56.8%)、「子育て仲間」(35.7%)、「市の広報やパンフレット」(34.5%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(26.1%)の順になっている。また、就学前児童では「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」が小学生に比べて10.4ポイント多くなっている。

○年齢別(3区分)にみると、0歳児では「子育て支援センター「ポポーのひろば」「ぐんぐん」「どんぐり広場」(23.5%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(44.1%)が他の年齢に比べて多く、一方、3～5歳児では「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(68.4%)が他の年齢に比べて多くなっている。

【就学前児童 問32】【小学生 問18】

子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。

(あてはまる番号すべてに○)



<年齢別>

	調査数	家族や親族	友人や知人	近所の方	子育て仲間	幼稚園、保育園、学校	市の窓口や子育て世代包括支援センター「ほつび」	市の広報やパンフレット	市のホームページやフェイスブック	子育て支援アプリ「すくすく村山」	S フィ ンタ ー ネ ッ ク な ど の S N や	子育て雑誌・育児書	テレビ、ラジオ、新聞	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答	
全体	447 100.0	267 59.7	313 70.0	29 6.5	170 38.0	280 62.6	14 3.1	69 15.4	144 32.2	27 6.0	21 4.7	163 36.5	76 17.0	97 21.7	9 2.0	1 0.2	2 0.4	22 4.9
年齢別																		
0歳	102 100.0	67 65.7	72 70.6	5 4.9	40 39.2	52 51.0	7 6.9	24 23.5	35 34.3	8 7.8	11 10.8	45 44.1	20 19.6	20 19.6	2 2.0	1 1.0	0 0.0	6 5.9
1歳	70 100.0	42 60.0	50 71.4	4 5.7	21 30.0	45 64.3	4 5.7	14 20.0	24 34.3	3 4.3	2 2.9	28 40.0	11 15.7	17 24.3	2 2.9	0 0.0	1 1.4	2 2.9
2歳	71 100.0	43 60.6	52 73.2	3 4.2	26 36.6	46 64.8	1 1.4	17 23.9	25 35.2	6 8.5	4 5.6	25 35.2	12 16.9	16 22.5	3 4.2	0 0.0	0 0.0	1 1.4
3歳	65 100.0	38 58.5	42 64.6	5 7.7	21 32.3	44 67.7	0 0.0	4 6.2	17 26.2	4 6.2	1 1.5	19 29.2	15 23.1	13 20.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	7 10.8
4歳	69 100.0	44 63.8	47 68.1	6 8.7	28 40.6	42 60.9	1 1.4	4 5.8	17 24.6	2 2.9	1 1.4	25 36.2	6 8.7	14 20.3	0 0.0	0 0.0	1 1.4	3 4.3
5歳	59 100.0	27 45.8	44 74.6	6 10.2	32 54.2	46 78.0	0 0.0	4 6.8	22 37.3	4 6.8	2 3.4	18 30.5	9 15.3	15 25.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7
年齢別（3区分）																		
0歳	102 100.0	67 65.7	72 70.6	5 4.9	40 39.2	52 51.0	7 6.9	24 23.5	35 34.3	8 7.8	11 10.8	45 44.1	20 19.6	20 19.6	2 2.0	1 1.0	0 0.0	6 5.9
1～2歳	141 100.0	85 60.3	102 72.3	7 5.0	47 33.3	91 64.5	5 3.5	31 22.0	49 34.8	9 6.4	6 4.3	53 37.6	23 16.3	33 23.4	5 3.5	0 0.0	1 0.7	3 2.1
3～5歳	193 100.0	109 56.5	133 68.9	17 8.8	81 42.0	132 68.4	1 0.5	12 6.2	56 29.0	10 5.2	4 2.1	62 32.1	30 15.5	42 21.8	2 1.0	0 0.0	1 0.5	11 5.7

<学年別>

	調査数	家族や親族	友人や知人	近所の方	子育て仲間	幼稚園、保育園、学校	市の窓口や子育て世代包括支援センター「ほつび」	市の広報やパンフレット	市のホームページやフェイスブック	子育て支援アプリ「すくすく村山」	S フィ ンタ ー ネ ッ ク な ど の S N や	子育て雑誌・育児書	テレビ、ラジオ、新聞	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答	
全体	333 100.0	199 59.8	244 73.3	38 11.4	119 35.7	189 56.8	4 1.2	16 4.8	115 34.5	21 6.3	4 1.2	87 26.1	34 10.2	55 16.5	1 0.3	0 0.0	2 0.6	11 3.3
学年別																		
1年生	105 100.0	68 64.8	75 71.4	14 13.3	38 36.2	65 61.9	1 1.0	9 8.6	34 32.4	9 8.6	2 1.9	22 21.0	8 7.6	17 16.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.8
2年生	125 100.0	74 59.2	93 74.4	14 11.2	44 35.2	72 57.6	3 2.4	5 4.0	47 37.6	8 6.4	1 0.8	34 27.2	12 9.6	19 15.2	0 0.0	0 0.0	1 0.8	6 4.8
3年生	85 100.0	45 52.9	60 70.6	7 8.2	26 30.6	43 50.6	0 0.0	2 2.4	27 31.8	2 2.4	1 1.2	26 30.6	11 12.9	14 16.5	0 0.0	0 0.0	1 1.2	1 1.2

(2) 子育てに関して日常悩んでいることや気になること

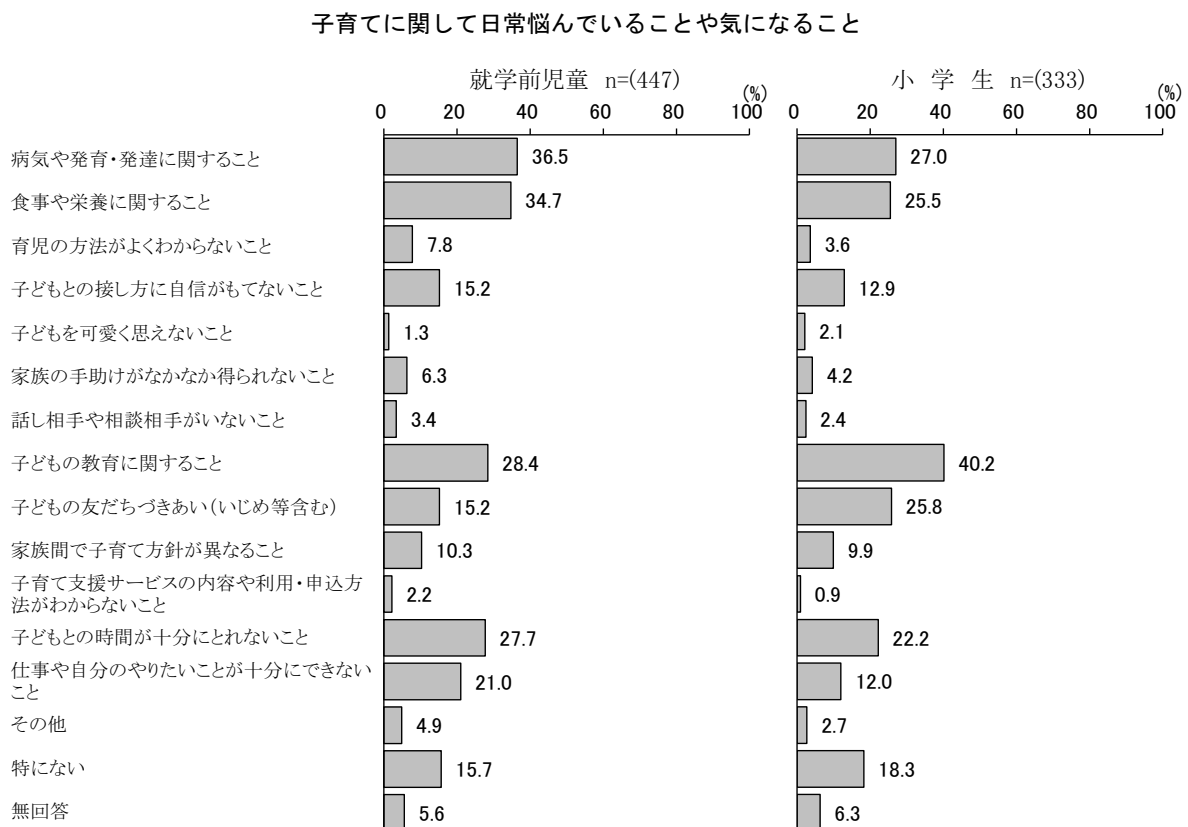
○子育てに関して日常悩んでいることや気になることをみると、就学前児童では「病気や発育・発達に関すること」(36.5%)、「食事や栄養に関すること」(34.7%)、「子どもの教育に関すること」(28.4%)、「子どもとの時間が十分にとれないこと」(27.7%)の順になっており、発育、発達などの成長に関する悩みが多くなっている。一方、小学生では「子どもの教育に関すること」(40.2%)、「病気や発育・発達に関すること」(27.0%)、「子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)」(25.8%)、「食事や栄養に関すること」(25.5%)の順になっており、就学前児童との違いがみられる。

○年齢別(3区分)・学年別にみると、0歳では「病気や発育・発達に関すること」(47.1%)、「食事や栄養に関すること」(46.1%)が1番に悩んでいることや気になることとなっており、おおむね年齢が上がるほど少なくなっている。一方、「子どもの教育に関すること」、「子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)」は、おおむね年齢が上がるほど多くなっている。

【就学前児童 問33】【小学生 問19】

子育てに関して、日常悩んでいること、または気になるのはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)



<年齢別>

	調査数	こ病 気や 発育・ 発達に 関する	食 事や 栄養に 関する	育 児の 方法が よくわ からな いこと	子 どもと の接し 方に自 信がも てない こと	子 どもを 可愛く 思えな いこと	家 族の手 助けが なかな か得ら れない こと	話 し相手 や相談 相手が いな いこと	子 どもの 教育に 関する こと	(子 どもの 友だち づきあ い(い じめ等 含む)	家 族間で 子育て 方針が 異なる こと	子 育て支 援サー ビスの 内容が わから ないこ と	子 どもと の時間 が十分 にとれ ないこ と	仕 事や自 分のや りたい ことが 十分に できな いこと	そ の他	特 にない	無 回答
全 体	447 100.0	163 36.5	155 34.7	35 7.8	68 15.2	6 1.3	28 6.3	15 3.4	127 28.4	68 15.2	46 10.3	10 2.2	124 27.7	94 21.0	22 4.9	70 15.7	25 5.6
年齢別																	
0歳	102 100.0	48 47.1	47 46.1	11 10.8	15 14.7	2 2.0	9 8.8	5 4.9	22 21.6	12 11.8	8 7.8	4 3.9	24 23.5	20 19.6	3 2.9	15 14.7	5 4.9
1歳	70 100.0	21 30.0	30 42.9	2 2.9	13 18.6	2 2.9	4 5.7	2 2.9	21 30.0	9 12.9	6 8.6	0 0.0	27 38.6	22 31.4	6 8.6	7 10.0	2 2.9
2歳	71 100.0	25 35.2	22 31.0	10 14.1	12 16.9	1 1.4	4 5.6	3 4.2	26 36.6	8 11.3	9 12.7	0 0.0	21 29.6	16 22.5	7 9.9	10 14.1	2 2.8
3歳	65 100.0	24 36.9	16 24.6	4 6.2	8 12.3	0 0.0	5 7.7	3 4.6	13 20.0	9 13.8	4 6.2	3 4.6	18 27.7	17 26.2	1 1.5	15 23.1	6 9.2
4歳	69 100.0	21 30.4	25 36.2	5 7.2	12 17.4	0 0.0	4 5.8	0 0.0	23 33.3	16 23.2	8 11.6	0 0.0	18 26.1	13 18.8	3 4.3	10 14.5	5 7.2
5歳	59 100.0	20 33.9	12 20.3	2 3.4	7 11.9	1 1.7	2 3.4	1 1.7	19 32.2	13 22.0	11 18.6	2 3.4	14 23.7	4 6.8	2 3.4	11 18.6	3 5.1
年齢別 (3区分)																	
0歳	102 100.0	48 47.1	47 46.1	11 10.8	15 14.7	2 2.0	9 8.8	5 4.9	22 21.6	12 11.8	8 7.8	4 3.9	24 23.5	20 19.6	3 2.9	15 14.7	5 4.9
1～2歳	141 100.0	46 32.6	52 36.9	12 8.5	25 17.7	3 2.1	8 5.7	5 3.5	47 33.3	17 12.1	15 10.6	0 0.0	48 34.0	38 27.0	13 9.2	17 12.1	4 2.8
3～5歳	193 100.0	65 33.7	53 27.5	11 5.7	27 14.0	1 0.5	11 5.7	4 2.1	55 28.5	38 19.7	23 11.9	5 2.6	50 25.9	34 17.6	6 3.1	36 18.7	14 7.3

<学年別>

	調査数	こ病 気や 発育・ 発達に 関する	食 事や 栄養に 関する	育 児の 方法が よくわ からな いこと	子 どもと の接し 方に自 信がも てない こと	子 どもを 可愛く 思えな いこと	家 族の手 助けが なかな か得ら れない こと	話 し相手 や相談 相手が いな いこと	子 どもの 教育に 関する こと	(子 どもの 友だち づきあ い(い じめ等 含む)	家 族間で 子育て 方針が 異なる こと	子 育て支 援サー ビスの 内容が わから ないこ と	子 どもと の時間 が十分 にとれ ないこ と	仕 事や自 分のや りたい ことが 十分に できな いこと	そ の他	特 にない	無 回答
全体	333 100.0	90 27.0	85 25.5	12 3.6	43 12.9	7 2.1	14 4.2	8 2.4	134 40.2	86 25.8	33 9.9	3 0.9	74 22.2	40 12.0	9 2.7	61 18.3	21 6.3
年齢別																	
1年生	105 100.0	33 31.4	25 23.8	4 3.8	8 7.6	3 2.9	5 4.8	4 3.8	34 32.4	29 27.6	11 10.5	2 1.9	21 20.0	15 14.3	3 2.9	19 18.1	8 7.6
2年生	125 100.0	31 24.8	35 28.0	7 5.6	19 15.2	4 3.2	4 3.2	3 2.4	52 41.6	25 20.0	14 11.2	0 0.0	28 22.4	12 9.6	4 3.2	29 23.2	5 4.0
3年生	85 100.0	21 24.7	21 24.7	1 1.2	12 14.1	0 0.0	2 2.4	1 1.2	40 47.1	25 29.4	5 5.9	1 1.2	17 20.0	11 12.9	2 2.4	10 11.8	8 9.4

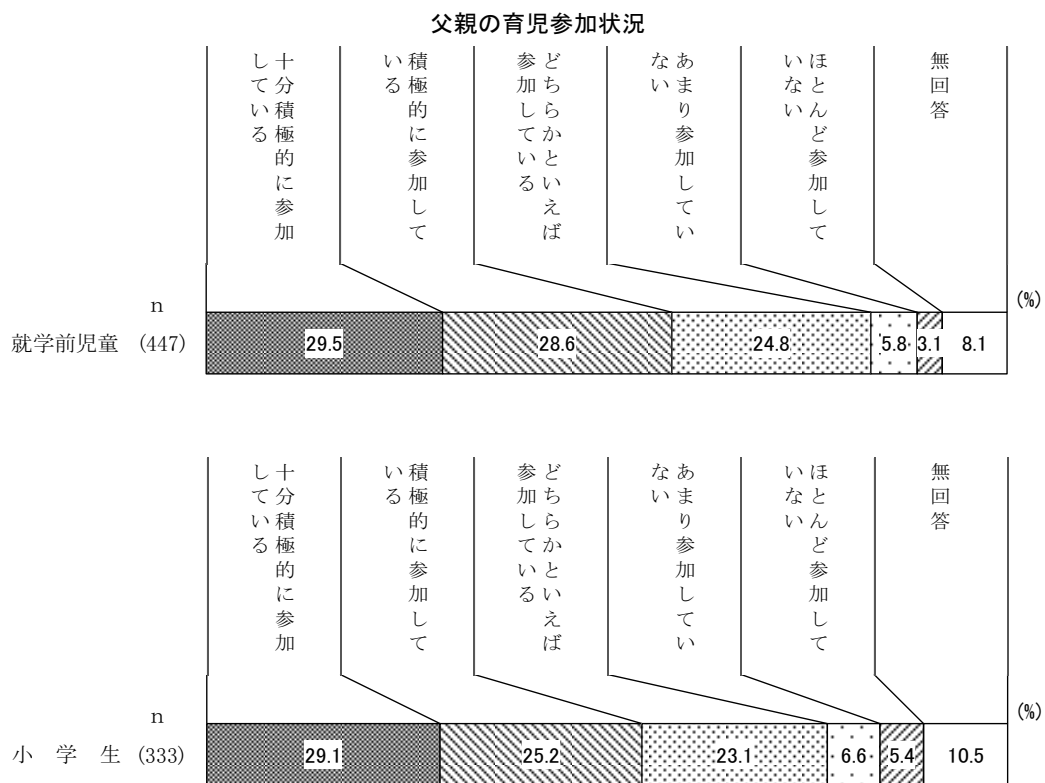
(3) 父親の育児参加状況

○父親の育児参加状況を見ると、両者ともに「十分積極的に参加している」(就学前児童 29.5%・小学生 29.1%) が最も多く、これに「積極的に参加している」「どちらかといえば参加している」を合わせた“参加している” (就学前児童 82.9%・小学生 77.4%) が、「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた“参加していない” (就学前児童 8.9%・小学生 12.0%) を大きく上回っている。

【就学前児童 問 34】【小学生 問 20】

お子さんの父親は、育児にどのくらい参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

※母子家庭の場合は回答は不要です。



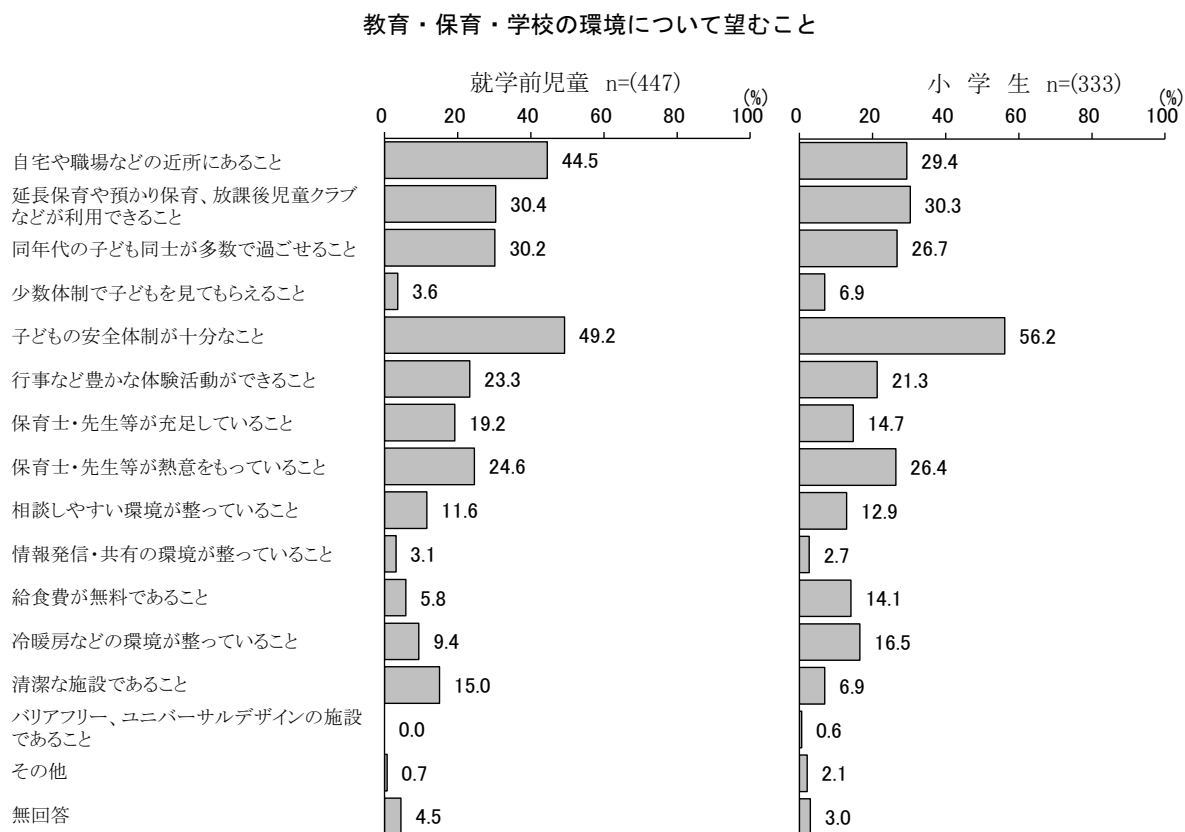
2. 子育て環境について

(1) 教育・保育・学校の環境について望むこと

○教育・保育・学校の環境について望むことをみると、両者ともに「子どもの安全体制が十分なこと」(就学前児童 49.2%・小学生 56.2%) が最も多く、「自宅や職場などの近所にあること」(就学前児童 44.5%・小学生 29.4%)、「延長保育や預かり保育、放課後児童クラブなどが利用できること」(就学前児童 30.4%・小学生 30.3%)、「同年代の子ども同士が多数で過ごせること」(就学前児童 30.2%・小学生 26.7%)、「保育士・先生が熱意をもっていること」(就学前児童 24.6%・小学生 26.4%)、「行事など豊かな体験活動ができること」(就学前児童 23.3%・小学生 21.3%) などが上位項目となっており、特に学区の制約がない就学前児童では近所であることが重視されている。

【就学前児童 問 35】【小学生 問 21】

教育・保育・学校の環境について望むことは何ですか。(あてはまる番号3つまでに○)



(2) 本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと

- 本市独自の子育て支援施策の評価をみると、「評価する」「どちらかといえば評価する」を合わせた評価派の比率は、就学前児童でより高く、13項目中11項目が80%以上であり、そのうち上位5位は『④産後1ヶ月の母子健診が無料(95.1%)』、『⑤保育料が半額(94.6%)』、『⑨中学3年生まで医療費が無料(94.6%)』、『⑩給付型奨学金(91.8%)』、『⑥児童手当に年額9万円プラス(91.0%)』と、90%以上の高評価となっている。
- 小学生の評価派の比率は、『⑨中学3年生まで医療費が無料(94.0%)』、『④産後1ヶ月の母子健診が無料(89.8%)』、『⑤保育料が半額(89.5%)』、『⑩給付型奨学金(89.2%)』、『⑧ピロリ抗体検査と除去治療が無料(85.3%)』の順に高く、出産前・乳児期向けの項目の評価比率は就学前児童に比べやや下がっている。
- なお、『⑪転入者の家賃に年間10万円を助成』、『⑫新築住宅の設計費を助成』など対象者が限定されかつ1回限りの項目の評価は、他の項目に比べ低く、就学前児童、小学生ともに「わからない」が約10%、「評価しない」「どちらかといえば評価しない」を合わせた不評派も10%以上存在している。
- 本市独自の子育て支援施策で今後力を入れるべき項目をみると、「特にそう思う」「そう思う」を合わせた賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なり、就学前児童、小学生ともに上位5項目は同様となっている。
- なお、今後の力を入れるべき項目で賛同者比率が他の項目に比べ低くなっているのは、転入者や住宅購入者向けの項目に加え、『③赤ちゃん応援ギフトを贈呈』が加わり、これも対象者がより限定されることが要因の1つと考えられる。

【就学前児童 問36】【小学生 問22】

村山市では独自の子育て支援を行っています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑬の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと[就学前児童]

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	447	59.1	21.3	1.6	0.7	13.6	3.8	45.6	34.9	10.1	0.9	1.6	6.9
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	447	72.9	16.6	0.9	0.4	6.0	3.1	53.7	30.6	6.7	1.1	1.3	6.5
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	447	57.7	27.5	2.9	2.7	5.1	4.0	41.8	30.0	16.8	3.4	1.6	6.5
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	447	86.4	8.7	0.2	0.0	1.3	3.4	68.2	20.1	2.9	0.2	0.7	7.8
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	447	84.1	10.5	1.6	0.0	0.7	3.1	76.7	13.2	2.7	0.4	0.7	6.3
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	447	69.1	21.9	2.0	0.9	3.1	2.9	63.5	21.5	6.5	0.9	1.8	5.8
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	447	54.6	29.1	4.0	0.4	8.7	3.1	49.9	26.6	14.8	0.9	1.3	6.5
⑧ ビロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	447	65.3	21.9	3.4	0.2	5.1	4.0	55.5	26.2	9.2	0.9	0.9	7.4
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	447	89.0	5.6	0.2	0.7	0.7	3.8	81.2	8.7	1.8	0.2	1.3	6.7
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	447	71.4	20.4	0.9	0.2	4.3	2.9	63.1	24.2	4.9	0.2	1.1	6.5
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	447	37.1	34.9	8.3	4.0	13.0	2.7	30.4	29.1	24.6	4.7	4.3	6.9
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	447	41.4	31.8	9.6	4.5	9.8	2.9	36.0	26.4	21.5	4.7	5.1	6.3
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	447	53.9	31.3	3.8	1.3	6.7	2.9	48.5	28.6	13.4	1.6	1.1	6.7

本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと〔小学生〕

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	どちらかといえば	評価しない	どちらかといえば	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	333	45.0	26.1	0.9	1.2	21.3	5.4	33.0	40.8	12.6	2.4	3.0	8.1
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	333	55.0	25.5	0.9	0.9	12.6	5.1	39.0	38.7	9.9	1.5	1.5	9.3
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	333	38.7	34.2	4.8	5.1	10.8	6.3	24.0	37.5	19.2	4.8	5.1	9.3
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	333	73.6	16.2	0.9	0.3	3.3	5.7	53.8	33.0	3.3	0.9	0.6	8.4
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	333	75.1	14.4	1.5	1.2	2.4	5.4	64.3	21.6	4.2	0.6	0.3	9.0
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	333	58.3	23.7	3.3	3.0	6.3	5.4	54.1	21.9	11.1	2.7	1.5	8.7
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	333	51.1	29.1	5.7	1.2	6.9	6.0	43.2	31.2	12.3	2.4	1.8	9.0
⑧ ビロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	333	61.0	24.3	0.6	0.9	7.5	5.7	51.1	29.1	7.8	0.9	0.9	10.2
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	333	87.1	6.9	0.3	0.0	1.2	4.5	76.9	12.3	1.8	0.0	0.6	8.4
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	333	65.8	23.4	1.8	0.9	2.7	5.4	58.9	26.1	5.1	0.6	0.0	9.3
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	333	32.1	32.7	9.6	6.3	13.8	5.4	26.4	30.6	23.7	6.6	3.9	8.7
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	333	35.4	28.2	10.5	5.7	14.4	5.7	31.8	26.7	20.7	6.6	5.7	8.4
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	333	42.9	31.5	7.2	2.1	11.1	5.1	38.1	30.9	16.8	3.0	2.7	8.4

(3) 本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと

- 本市全体の子育て支援施策の評価をみると、「評価する」「どちらかといえば評価する」を合わせた評価派の比率は、就学前児童でより高く、10項目中4項目の『④健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援(93.1%)』、『②保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み(88.1%)』、『①パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み(80.6%)』、『⑤障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援(80.1%)』が80%以上となっている。
- 小学生の評価派は、『④健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援(87.7%)』、『②保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み(82.2%)』、『⑤障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援(78.3%)』、『③市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり(71.1%)』、『⑥困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実(71.1%)』などが上位となっている。
- なお、『⑦遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり』の項目の評価は、他の項目に比べ劣り、「評価しない」「どちらかといえば評価しない」を合わせた不評価は、就学前児童で20.8%、小学生で21.3%となっている。
- 本市全体の子育て支援施策で今後力を入れるべき項目をみると、「特にそう思う」「そう思う」を合わせた賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なり、就学前児童で上位3項目、小学生で上位4項目は同様となっているが、現状の評価が低い『⑦遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり』が上位にあがってきている。
- なお、今後の力を入れるべき項目で「どちらともいえない」が多い『①パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み(就学前児童17.2%、小学生24.6%)』、『③市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり(就学前児童17.0%、小学生19.5%)』、『⑨若者の交流や地域との関わり、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり(就学前児童17.0%、小学生18.3%)』の3項目については、今後は内容の周知を一層図る必要がある。

【就学前児童 問37】【小学生 問23】

村山市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑩の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑩の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと[就学前児童]

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	どちらかといえば	評価しない	どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	447	37.4	43.2	4.9	1.1	9.8	3.6	32.0	42.7	17.2	0.4	2.0	5.6
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	447	55.7	32.4	3.4	0.7	4.0	3.8	57.9	30.4	5.4	0.2	0.4	5.6
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	447	31.8	45.9	8.5	2.7	7.2	4.0	35.8	38.0	17.0	2.2	1.6	5.4
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	447	69.6	23.5	1.1	0.4	1.1	4.3	69.4	20.6	4.3	0.2	0.2	5.4
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	447	53.0	27.1	2.0	0.2	13.9	3.8	56.2	27.3	9.6	0.4	1.1	5.4
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	447	48.1	27.1	3.6	0.9	16.6	3.8	60.0	26.0	7.4	0.2	1.1	5.4
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	447	38.3	28.2	12.5	8.3	8.9	3.8	59.7	25.7	8.1	1.1	1.1	4.3
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	447	34.9	30.9	7.4	3.1	19.9	3.8	45.0	33.6	13.4	1.1	2.0	4.9
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	447	32.4	30.0	9.8	2.5	21.0	4.3	40.0	36.0	17.0	1.1	1.6	4.3
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	447	34.5	30.6	10.7	4.3	16.1	3.8	48.3	34.5	11.2	0.2	1.6	4.3

本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと〔小学生〕

(%)

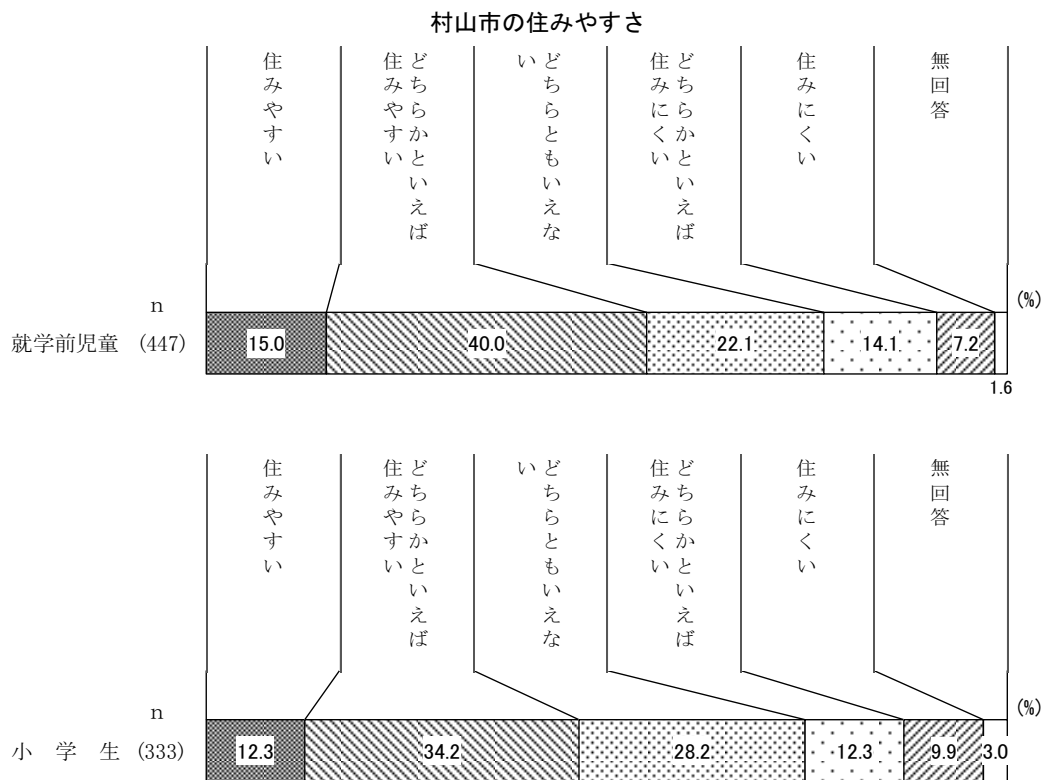
	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	333	24.0	45.9	7.2	1.2	17.4	4.2	22.5	41.1	24.6	2.7	1.2	7.8
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	333	42.6	39.6	4.5	2.1	6.9	4.2	47.4	33.9	8.7	1.2	0.6	8.1
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	333	23.4	47.7	9.9	1.8	13.2	3.9	24.3	42.6	19.5	3.9	1.2	8.4
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	333	57.7	30.0	3.3	0.3	4.5	4.2	57.1	27.3	6.3	0.6	0.3	8.4
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	333	43.8	34.5	5.4	0.9	11.1	4.2	47.4	33.9	9.0	0.3	0.9	8.4
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	333	39.3	31.8	7.5	1.2	15.6	4.5	50.2	32.1	8.7	0.6	0.0	8.4
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	333	29.1	36.6	13.8	7.5	8.4	4.5	47.1	31.5	12.9	0.3	0.6	7.5
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	333	30.9	39.6	7.8	2.7	15.0	3.9	42.3	35.1	12.6	0.6	0.9	8.4
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	333	24.3	41.7	9.6	3.3	16.8	4.2	33.6	36.9	18.3	2.1	1.2	7.8
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	333	25.8	38.7	12.6	3.0	15.6	4.2	37.8	38.4	15.0	0.6	0.3	7.8

(4) 村山市の住みやすさ

○村山市の住みやすさをみると、両者とも「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい派”（就学前児童 55.0%・小学生 46.5%）が「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい派”（就学前児童 21.3%・小学生 22.2%）を上回っており、就学前児童の評価が高い。

【就学前児童 問 38】【小学生 問 24】

あなたは、村山市の住みやすさについてどう感じていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

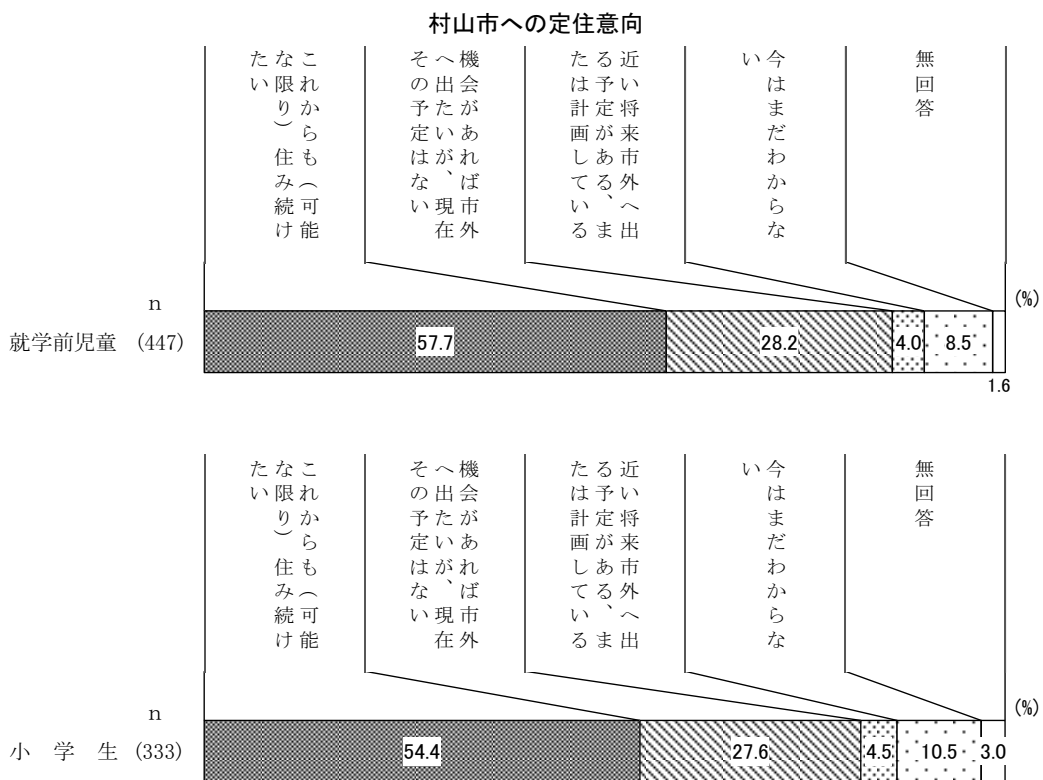


(5) 村山市への定住意向と定住し続けるために必要なこと

○村山市への定住意向をみると、両者ともに「これからも（可能な限り）住み続けたい」（就学前児童 57.7%・小学生 54.4%）が最も多く、以下「機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない」（就学前児童 28.2%・小学生 27.6%）、「今はまだわからない」（就学前児童 8.5%・小学生 10.5%）、「近い将来市外へ出る予定がある、または計画している」（就学前児童 4.0%・小学生 4.5%）の順になっている。

【就学前児童 問 39】【小学生 問 25】

あなたは、今後も村山市に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）



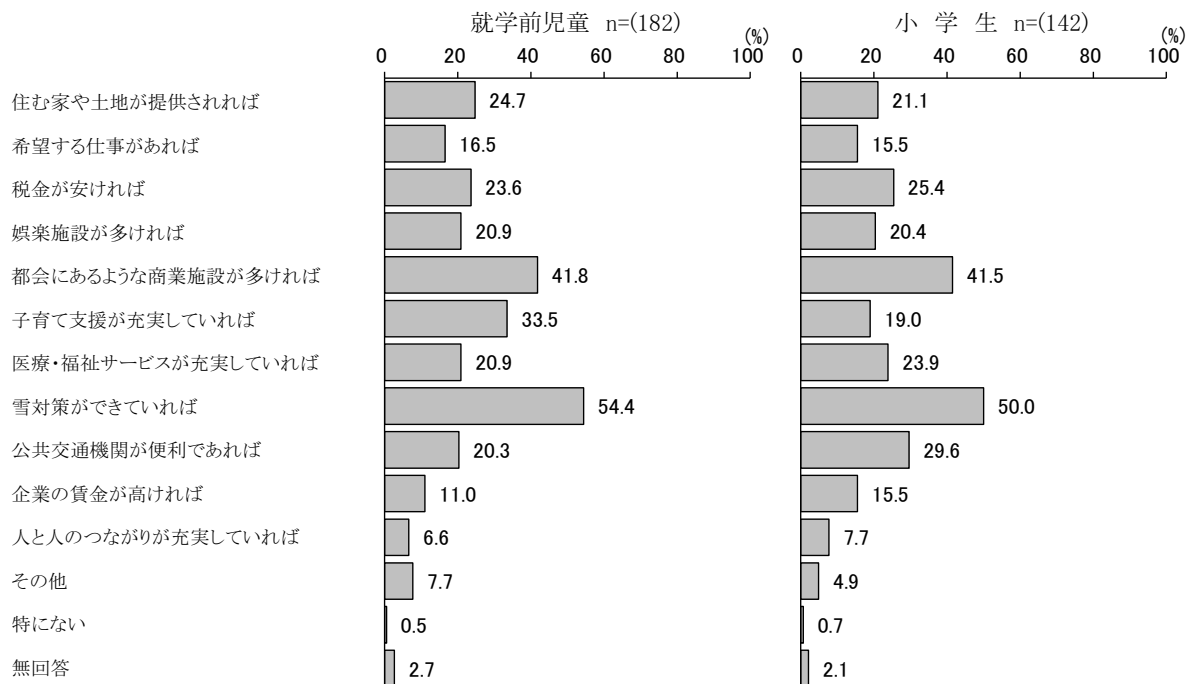
○定住し続けるために必要なこと[合算]をみると、両者ともに「雪対策ができていれば」(就学前児童 54.4%・小学生 50.0%)、「都会にあるような商業施設が多ければ」(就学前児童 41.8%・小学生 41.5%)が上位2項目となっているが、3位は就学前児童では「子育て支援が充実していれば」(33.5%)、小学生では「公共交通機関が便利であれば」(29.6%)となっている。

○定住し続けるために必要なこと[1番目]をみると、上位2項目は[合算]とかわりはないが、3位は両者ともに「住む家や土地が提供されれば」(就学前児童 13.2%・小学生 11.3%)となっており、一部の人に必要性が高いことがうかがえる。

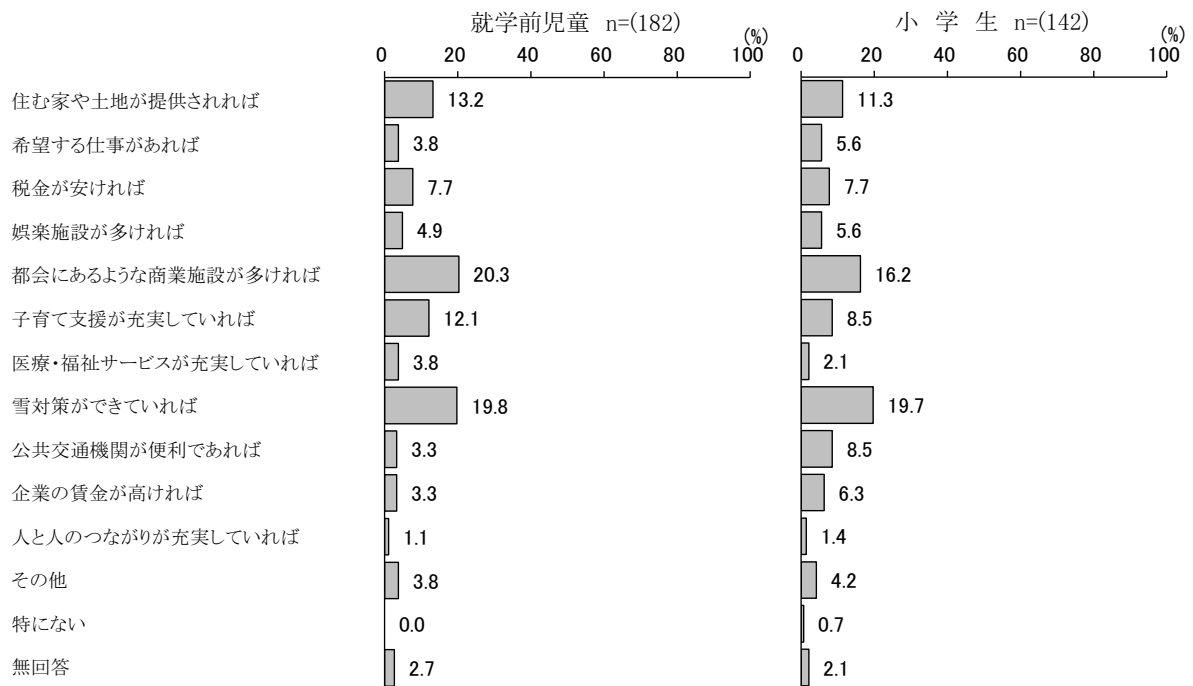
【就学前児童 問 39-1】【小学生 問 25-1】

問 39 (小学生 問 25) で「機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない」「近い将来市外へ出る予定がある、または計画している」「今はまだわからない」と回答された方(“転出の可能性のある方”)におうかがいします。あなたは、どのようになれば、現住地で住み続けたい・離れても戻ってきたいと思いますか。重要な理由の順に最大3つまで選び、それぞれの1番目から3番目の欄に番号を記入してください。

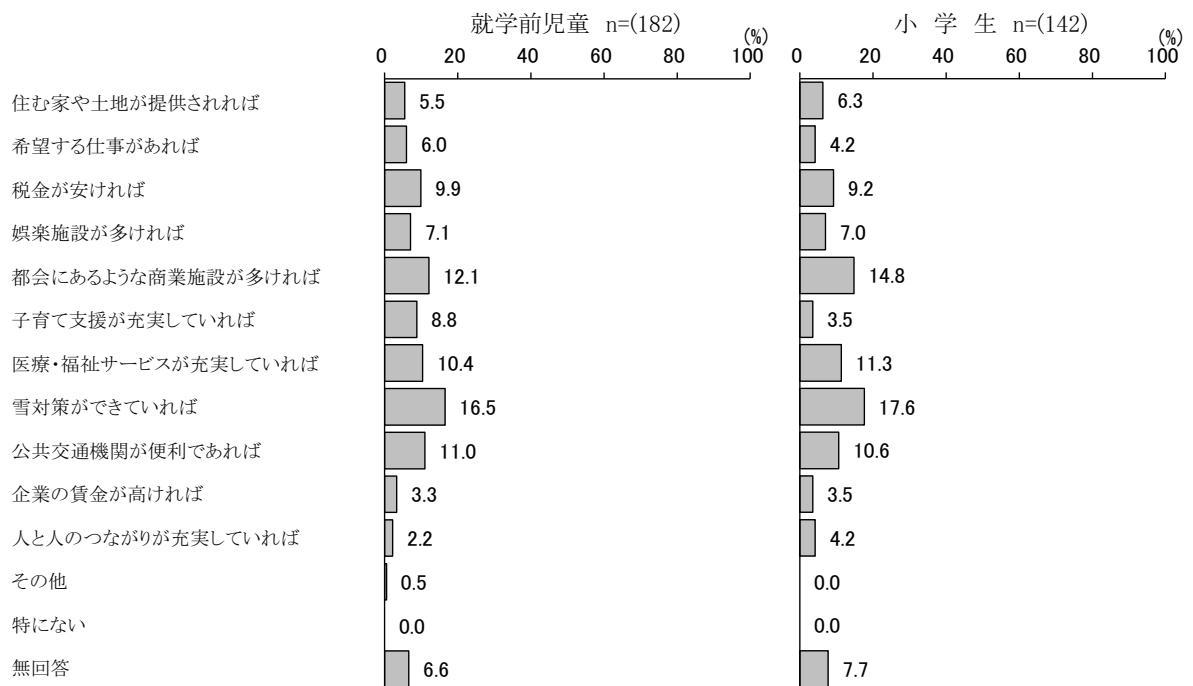
定住し続けるために必要なこと[合算]



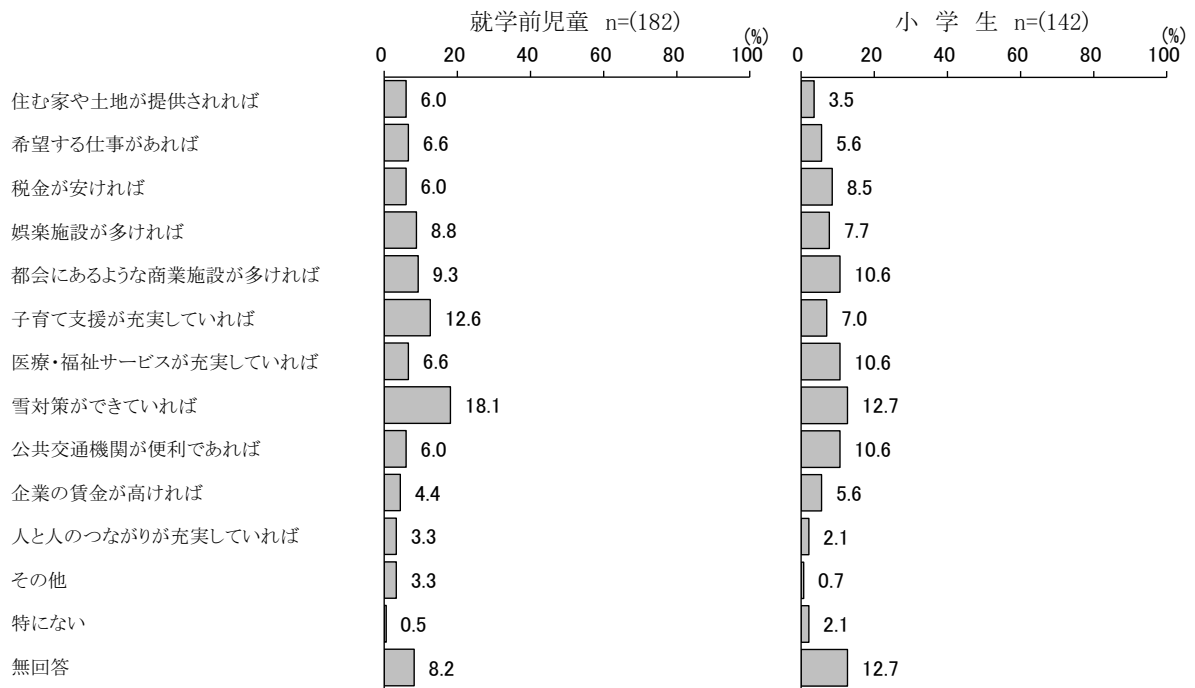
定住し続けるために必要なこと[1番目]



定住し続けるために必要なこと[2番目]



定住し続けるために必要なこと[3番目]

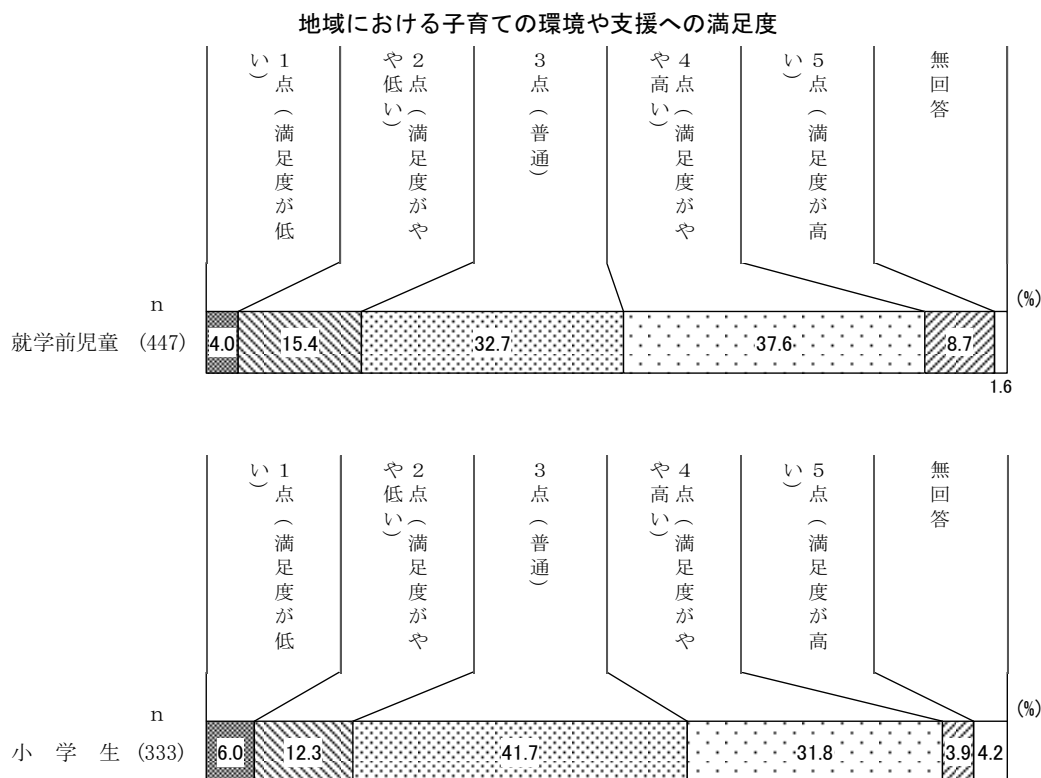


(6) 地域における子育ての環境や支援への満足度

○地域における子育ての環境や支援への満足度をみると、就学前児童では「4点（満足度がやや高い）」（37.6%）が最も多く、「5点（満足度が高い）」（8.7%）と合わせた“満足派”は46.3%となっている。なお、次点は「3点（普通）」（32.7%）であった。小学生では“満足派”は35.7%にとどまり、「3点（普通）」（41.7%）が最も多く、就学前児童よりやや満足度が低くなっている。

【就学前児童 問40】【小学生 問26】

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。



3. 自由意見について

- 自由記述部分について回答者の意見・要望等を15の内容に分類した。
- 回答者数は就学前児童170人、小学生94人、意見の合計数は就学前児童297件、小学生142件となっている。
- 結果をみると、就学前児童では「交流・広場・催物・公園」が最も多く、以下「経済的負担」、「教育・保育の事業」となっているが、小学生では就学前児童で2位の「経済的負担」が最も多く、以下「交流・広場・催物・公園」、「放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方」の順になっている。

【就学前児童 問41】【小学生 問27】

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<就学前児童>

(件)

順位	内容	件数
1	交流・広場・催物・公園	71
2	経済的負担	40
3	教育・保育の事業	38
4	母子保健・医療	32
5	生活環境（商業施設・雪含む）	25
6	子育て支援	22
7	安心・安全な街づくり	14
8	学校について	13
9	行政全般	10
10	病児・病後児保育と一時預かり （宿泊を伴うものも含む）	6
10	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	6
10	特に支援が必要な家庭について （ひとり親や障がい児家庭など）	6
13	労働環境	5
14	教育・保育施設統合	4
14	相談・情報提供	4
-	その他	1
合計		297

<小学生>

(件)

順位	内容	件数
1	経済的負担	28
2	交流・広場・催物・公園	21
3	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	19
4	母子保健・医療	13
5	安心・安全な街づくり	12
6	生活環境（商業施設・雪含む）	11
7	行政全般	10
8	学校について	8
9	子育て支援	7
10	教育・保育の事業	3
11	教育・保育施設統合	2
11	特に支援が必要な家庭について （ひとり親や障がい児家庭など）	2
11	相談・情報提供	2
11	労働環境	2
15	病児・病後児保育と一時預かり （宿泊を伴うものも含む）	1
-	その他	1
合計		142

資料編

1. 調査票（就学前児童）

就学前児童の保護者の方へ

村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、村山市では、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年を計画期間とする「村山市子ども・子育て支援事業計画『むらやま子育て あいあるプラン』」を平成26年12月に策定し、子育てしやすい環境づくりのための諸施策を総合的に推進してきました。

今回、平成32年度から始まる次期計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを的確に把握・分析し、計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査を実施することといたしました。

皆様からご回答いただいた内容は、市が策定する関連計画に活用するもので、回答者が特定されたり、回答が目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

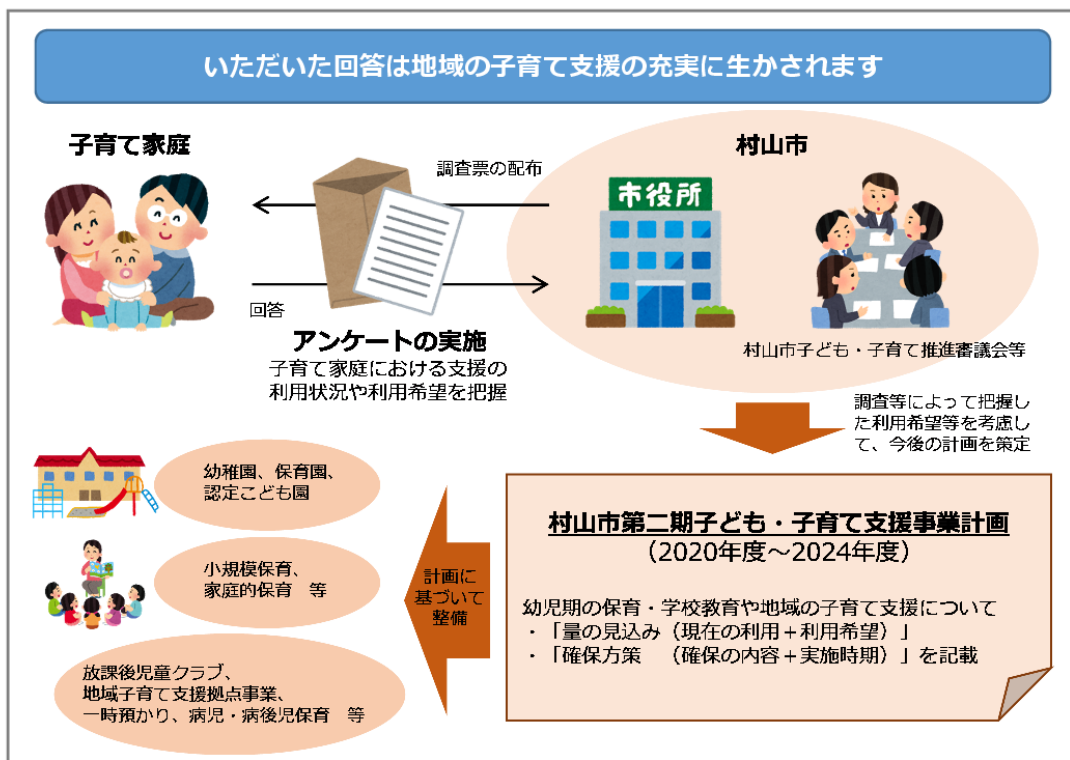
平成30年12月
村山市

～ご記入にあたってのお願い～

- (1) アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- (2) 就学前のお子さんが2人以上のご家庭は、一番下のお子さんについてご記入ください。
- (3) この調査は無記名です。(調査票にお名前を書いていただく必要はありません。)
- (4) 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
- (5) 数字で時間(時刻)を記入する場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
- (6) 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などがない場合は、次の設問にお進みください。
- (7) ご記入が済みましたら、お手数ですが、封筒に入れて、
平成30年12月28日(金)までにお返しく下さい。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

村山市 子育て支援課 電話：0237-55-2111 (内線 163)



「幼児教育・保育無償化」について

- 2019年10月から、消費税率が10%になった際の増収分を財源として、「幼児教育・保育無償化」が実施される予定です。
 - 3歳～5歳のお子さんは、世帯の収入に関わらず、幼稚園、認可保育所、認定こども園等の保育料が無償化(幼稚園は月額2万5,700円まで)される予定です。また、保育の必要性の認定※を受けている場合、認可外保育施設・サービス等についても、月額3万7千円を上限として無償化される予定です。
 - 0歳～2歳のお子さんは、住民税非課税世帯のみ、認可保育所・認定こども園・地域型保育事業の保育料が無償化される予定です。また、認可外保育施設・サービス等についても、保育の必要性の認定※を受けている場合、月額4万2千円を上限として無償化される予定です。
- ※「1ヶ月に64時間以上就労している」等の要件に当てはまると認定が受けられます。

【幼児教育・保育無償化の対象と内容】

	認可保育所 認定こども園 地域型保育事業	幼稚園	幼稚園の 預かり保育※1	認可外保育 施設・サービス ※1、※2	障害児 通園施設
3～5歳 (すべての世帯)	全額無償	月額 2万5,700円 まで無償	月額 1万1,300円 まで無償	月額 3万7,000円 まで無償	全額無償
0～2歳 (住民税非課税世帯)	全額無償	—	—	月額 4万2,000円 まで無償	全額無償

※1: 保育の必要性の認定を受けた場合

※2: 認可外保育施設・サービスとは、認可を受けていない保育施設やベビーシッター等の居宅訪問型保育等を指します。

注) 2018年10月時点で国から示されている情報です(今後変更することがありますのでご了承ください)。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域（実際に生活している場所）はどれになりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 楯岡 | 2. 西郷 | 3. 大倉 | 4. 富本 | 5. 大久保 |
| 6. 戸沢 | 7. 袖崎 | 8. 大高根 | 9. 市外 | |

問1-1 あなたの現在居住している住宅の種類はどれになりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 本人の持ち家（一戸建て） | 2. 家族の持ち家（一戸建て） |
| 3. 公営の賃貸住宅 | 4. 民営の賃貸住宅 |
| 5. 社宅などの給与住宅 | 6. その他（ ） |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|---|-----------------------|-------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園（桶岡 など） 6. 保育園（ひばり、戸沢、村山しょうよう、マアヤ など） | | | |
| 7. 認定こども園（西郷、ちぐさ、富本、袖崎、大高根、輝 など） | | | |
| 8. 小規模な保育施設（地域型保育事業所）（のぞみ、たんぼほベビーホーム など） | | | |
| 9. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） | | | |
| 10. 認可外保育施設 | 11. 児童発達支援事業所（いすみ など） | | |
| 12. その他（) | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | | |
|-----------------------|-------|-------------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. 小規模な保育施設（地域型保育事業所） | | 7. 事業所内保育施設 | | |
| 8. 認可外保育施設 | | 9. その他（) | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（) |

⇒ 問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる方はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|------------------|

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------|---|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の方 | 4. 地域子育て支援拠点(子育て支援センター)の職員(ボボーのひろば、くんくん、どんぐり広場) |
| 5. 市保健課の保健師 | 6. 幼稚園・保育園・認定こども園・学校 |
| 7. 市の窓口 | 8. 子育て世代包括支援センター「ぼっぴーるーむ」 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. その他 | 【例】児童発達支援事業所 |

<村山市の地域子育て支援拠点(子育て世代包括支援センター・子育て支援センター)>

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター「ぼっぴーるーむ」(保健センター内)	妊産婦のみなさんや子育て中のママが安心して楽しく子育てできるよう応援する相談窓口です。助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが、妊娠・出産・育児に関する一貫した相談支援を行います。母子保健コーディネーターをはじめ、保健師、管理栄養士もあわせてきめ細やかなサポートをしています。※利用は無料。
子育て支援センターボボーのひろば(瓢箪プラザ内)	【NPO法人ボボーのひろば】 毎月または季節に応じて、親子で参加出来る楽しいイベントを開催しています。
子育て支援センターくんくん(戸沢保育園内)	【(福)敬愛信の会】 育児に関する相談のほか育児講座、地域に出向いて子育て家庭対象のイベントなどを開催します。
子育て支援センターどんぐり広場(認定こども園ふたば大高根保育園内)	【(福)ふたば保育園】 子育て相談窓口、屋内遊び場、育児講座、地域交流の場など充実した内容です。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。（母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号 1つに○）

母親	父親
1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、 育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、 育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

※1フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

※週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
就労日数…1週当たり <input type="text"/> 日	就労日数…1週当たり <input type="text"/> 日
就労時間…1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度	就労時間…1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度

(2)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親	父親
家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時
帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問12 問11の(1)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問13へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい

問13 問11の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労した
ことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

問13-1 問13で「2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」または「3. す
ぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお
進みください。

希望する就労形態をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度	2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 14-1 に示した事業が含まれます。

問 14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 14-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 14-5 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 14-1 問 14-1～問 14-4 は、問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 幼稚園 (榑岡 など) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 保育園
(ひばり、戸沢、村山しょうよう、マアヤ など) | 4. 認定こども園
(西郷、ちぐさ、富本、袖崎、大高根、輝 など) |
| 5. 小規模な保育施設 (地域型保育事業所)
(のぞみ、たんぼほベビーホーム など) | 6. 事業所内保育施設
(企業等が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. その他の認可外の保育施設 | 8. ファミリー・サポート・センター
(協会員による託児、ファミサボタクシーによる送迎 など) |
| 9. その他 () | |

問 14-2 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※問 14-1 で複数の事業に○をつけた方は、若い番号の事業についてお答えください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	-----

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	-----

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

1. 村山市内	2. 市外
---------	-------

問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他（ <input type="text"/> ）
--

問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚がみている 3. 近所の方や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業（施設等）を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業（施設等）がない 8. 子どもがまだ小さいため（ <input type="text"/> <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている） 9. その他（ <input type="text"/> ）

問 15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のおさんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（楯岡 など）	2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 保育園 （ひばり、戸沢、村山しょうよう、マアヤ など）	4. 認定こども園 （西郷、ちぐさ、富本、袖崎、大高根、輝 など）
5. 小規模な保育施設（地域型保育事業所） （のぞみ、たんぼぼベビーホーム など）	6. 事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設）
7. その他の認可外の保育施設	8. ファミリー・サポート・センター （協力会員による託児、ファミサポタクシーによる送迎 など）
9. その他（ ）	

問 15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

1. 村山市内	2. 市外
---------	-------

問 15-2 問 15 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～9. 」にも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（次の中から、利用されているものすべてに○）

※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター） （ポポーのひろば、ぐんぐん、どんぐり広場）	⇒ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは
	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
2. その他、他市町村で実施している類似の事業 （具体名： <input type="text"/> ） （具体例：東根市のタントクルセンター内けやきホール、 尾花沢市の ABESA など）	⇒ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは
	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
3. 利用していない		

問 17 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号 1 つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	⇒ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは
	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは
	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない		

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

- 問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで

- 問 18-1 問 18 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

- 問 19 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで

- 問 19-1 問 19 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

問 20-3 問 20-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

⇒ 問 21 へ

問 20-4 問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（ ） | |

⇒ 問 21 へ

問 20-1 で「3.」から「8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※「3.」から「8.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字でご記入ください（数字は
一桁に一字）。

※1年間でお考えください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問 21 へ

2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 20-6 へ

問 20-6 問 20-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他（ ） |

**宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (協力 会員による託児)	□ □ 日
4. ベビーシッター	□ □ 日
5. その他 ()	□ □ 日
6. 利用していない	

⇒ 問 22 へ

村山市で実施している一時預かり

- ①一時保育：保育園(ひばり、戸沢)、認定こども園(袖崎、大高根)で実施している、理由に関係なく一時的に子どもを保育する事業→1月につき12日間まで
- ②一時預かり：産葉プラザの子育て支援センターポポーのひろばやベテスタキッズで実施している、理由に関係なく一時的に子どもを保育する事業

問 21 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない |
| 9. その他 () | |

問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
 ※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。
 ※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 22-1 へ	1. 利用したい	計	□□	日
	① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		□□	日
	② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		□□	日
	③ 不定期の就労		□□	日
	④ その他（ ）		□□	日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 23 へ				

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方うかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
 ※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□□ 泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	⑥ その他（ ）	□□ 泊
2. なかった		

問 23 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方うかがいます。

⇒①以外を選択した方は **問 24 へ**

問 23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問 24 宛名のお子さんについて、小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。小学校の授業終了後や休校日に保護者が就労等により家を留守にするため、児童だけになってしまう小学生に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の居場所	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅 (祖父母や親族など子どものほかに誰がいる場合も含む)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 別居している祖父母宅や親族宅、 友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1…現在は、多くの教室が平日未実施 (大久保フレンドクラブ、戸沢わくわく太陽塾、そでさき 元気っ子 など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (たてやまキッズクラブ、コスモスきっずクラブ、GOGO キッズクラブ、はや丸キッズクラブ、さんさんキッズク ラブ、洗心児童クラブ、あじさいっ子クラブ、D-ほけ っと など)	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
6. ファミリー・サポート・センター (むらやまファミリー・サポート・センターの協力会員宅、 または極楽プラザ内子育て支援センターボボのひろば のファミサポ託児専用室)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス (おひさま など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 25 問 24 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（（1）

（2）それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

問 26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）
また、取得していない方はその理由を下記から番号を選んで口内にご記入ください。

母親	父親
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した 15. その他（ ） </div>	

すべての方に、幼児教育・保育の無償化についてうかがいます。

問 28 2019年10月から、3～5歳児の幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象となることを知っていますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------------|-------------------|-----------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いてはいるが内容は知らない | 3. 何も知らない |
|-------------|-------------------|-----------|

問 29 幼児教育・保育の無償化が実施されることで、宛名のお子さんのサービス利用意向に変化はありますか。
（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 1. 幼稚園を利用したい | 2. 保育園を利用したい |
| 3. 認定こども園を利用したい | 4. 小規模な保育施設（地域型保育事業所）を利用したい…※0～2歳児のみ可 |
| 5. サービスを利用せず家庭で育てたい | 6. その他（ ） |

問 30 幼児教育・保育の無償化が実施されることで、家庭生活にはどのような影響があると思いますか。

(あてはまる番号3つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 子育ての費用や教育費を充実させることができる |
| 2. 子どもの将来のための貯金を増やすことができる |
| 3. 生活費にゆとりを持つことができる |
| 4. 外食やレジャー（旅行など）の機会を増やすことができる |
| 5. ローンや借金の返済にあてることができる |
| 6. 貯蓄を増やすことができる |
| 7. 家族（あなたを含む）の治療代などの医療費にあてることができる |
| 8. 保護者（あなたを含む）の資格取得やスキルアップのための費用にあてることができる |
| 9. その他（) |
| 10. 特に影響はないと思う |

問 31 幼児教育・保育の無償化が実施されることで、子どもをさらに持ちたいと考えますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 前向きに考えると思う | 2. 少し前向きに考えると思う |
| 3. あまり考えないと思う | 4. 考えないと思う |

すべての方に、子育ての情報源や悩んでいることについてうかがいます。

問 32 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---|----------------------|---------|
| 1. 家族や親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の方 |
| 4. 子育て仲間 | 5. 幼稚園、保育園、認定こども園、学校 | |
| 6. 市の窓口や子育て世代包括支援センター「ぼっぴーるーむ」 | | |
| 7. 子育て支援センター「ポポーのひろば」「ぐんぐん」「どんぐり広場」 | | |
| 8. 市の広報やパンフレット | 9. 市のホームページやフェイスブック | |
| 10. 子育て支援アプリ「すくすく村山」 | | |
| 11. インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS | | |
| 12. 子育て雑誌・育児書 | 13. テレビ、ラジオ、新聞 | |
| 14. その他（) | | |
| 15. 情報の入手先がない | 16. 情報の入手手段がわからない | |

問 33 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になるのはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 病気や発育・発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと | 4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと |
| 5. 子どもを可愛く思えないこと | 6. 家族の手助けがなかなか得られないこと |
| 7. 話し相手や相談相手がいないこと | 8. 子どもの教育に関すること |
| 9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等含む) | 10. 家族間で子育て方針が異なること |
| 11. 子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がわからないこと | |
| 12. 子どもとの時間が十分にとれないこと | |
| 13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと | |
| 14. その他() | |
| 15. 特になし | |

問 34 お子さんの父親は、育児にどのくらい参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○)

※母子家庭の場合は回答は不要です。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 十分積極的に参加している | 2. 積極的に参加している |
| 3. どちらかといえば参加している | 4. あまり参加していない |
| 5. ほとんど参加していない | |

すべての方に、村山市の子育て環境についてうかがいます。

問 35 教育・保育・学校の環境について望むことは何ですか。(あてはまる番号 3 つまでに○)

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. 自宅や職場などの近所にあること | 2. 延長保育や預かり保育、放課後児童クラブなどが利用できること |
| 3. 同年代の子ども同士が多数で過ごせること | 4. 少数体制で子どもを見てもらえること |
| 5. 子どもの安全体制が十分なこと | 6. 行事など豊かな体験活動ができること |
| 7. 保育士・先生等が充足していること | 8. 保育士・先生等が熱意をもっていること |
| 9. 相談しやすい環境が整っていること | 10. 情報発信・共有の環境が整っていること |
| 11. 給食費が無料であること | 12. 冷暖房などの環境が整っていること |
| 13. 清潔な施設であること | 14. バリアフリー、ユニバーサルデザインの施設であること |
| 15. その他() | |

問 36 村山市では独自の子育て支援を行っています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑬の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない	そう思わない	あまり そう思わない
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ ビロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 37 村山市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑩の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑩の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	評価しない	どちらかといえば 評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない	どちらとも そう思わない	あまり そう思わない
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 38 あなたは、村山市の住みやすさについてどう感じていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問 39 あなたは、今後も村山市に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. これからも（可能な限り）住み続けたい | ⇒問 40 へ |
| 2. 機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない | } ⇒問 39-1 へ |
| 3. 近い将来市外へ出る予定がある、または計画している | |
| 4. 今はまだわからない | |

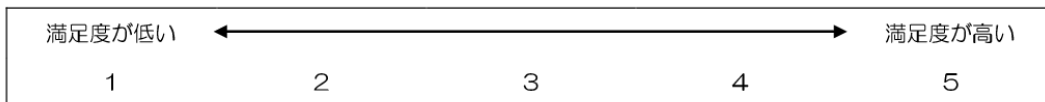
問 39-1 問 39 で「2.」～「4.」と回答された方（“転出の可能性のある方”）におうかがいします。あなたは、どのようになれば、現住地で住み続けたい・離れても戻ってきたいと思いますか。重要な理由の順に最大3つまで選び、それぞれの1番目から3番目の欄に番号を記入してください。

1 番目 2 番目 3 番目

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 住む家や土地が提供されれば | 2. 希望する仕事があれば |
| 3. 税金が安ければ | 4. 娯楽施設が多ければ |
| 5. 都会にあるような商業施設が多ければ | 6. 子育て支援が充実していれば |
| 7. 医療・福祉サービスが充実していれば | 8. 雪対策ができていければ |
| 9. 公共交通機関が便利であれば | 10. 企業の賃金が高ければ |
| 11. 人と人のつながりが充実していれば | 12. その他（ ） |
| 13. 特にない | |

問 40 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

（あてはまる番号 1 つに○）



問 41 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

2. 調査票（小学生）

小学1年生から3年生の保護者の方へ

村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、村山市では、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年を計画期間とする「村山市子ども・子育て支援事業計画『むらやま子育て あいあるプラン』」を平成26年12月に策定し、子育てしやすい環境づくりのための諸施策を総合的に推進してきました。

今回、平成32年度から始まる次期計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを的確に把握・分析し、計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査を実施することといたしました。

皆様からご回答いただいた内容は、市が策定する関連計画に活用するもので、回答者が特定されたり、回答が目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

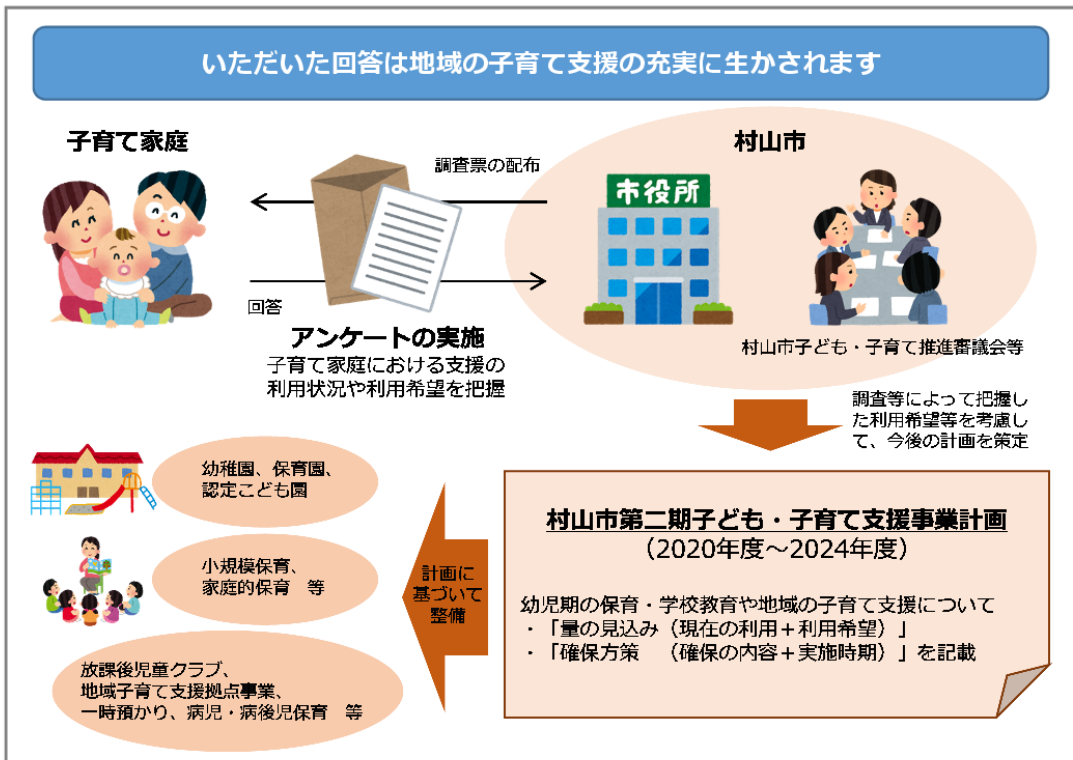
平成30年12月
村山市

～ご記入にあたってのお願い～

- (1) アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- (2) 小学生のお子さんが2人以上のご家庭は、一番下のお子さんについてご記入ください。
- (3) この調査は無記名です。（調査票にお名前を書いていただく必要はありません。）
- (4) 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- (5) 数字で時間（時刻）を記入する場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- (6) 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は、次の設問にお進みください。
- (7) ご記入が済みましたら、お手数ですが、封筒に入れて、
平成30年12月28日（金）までにお返しく下さい。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

村山市 子育て支援課 電話：0237-55-2111（内線163）



「幼児教育・保育無償化」について

- 2019年10月から、消費税率が10%になった際の増収分を財源として、「幼児教育・保育無償化」が実施される予定です。
 - 3歳～5歳のお子さんは、世帯の収入に関わらず、幼稚園、認可保育所、認定こども園等の保育料が無償化(幼稚園は月額2万5,700円まで)される予定です。また、保育の必要性の認定*を受けている場合、認可外保育施設・サービス等についても、月額3万7千円を上限として無償化される予定です。
 - 0歳～2歳のお子さんは、住民税非課税世帯のみ、認可保育所・認定こども園・地域型保育事業の保育料が無償化される予定です。また、認可外保育施設・サービス等についても、保育の必要性の認定*を受けている場合、月額4万2千円を上限として無償化される予定です。
- ※「1ヶ月に64時間以上就労している」等の要件に当てはまると認定が受けられます。

【幼児教育・保育無償化の対象と内容】

	認可保育所 認定こども園 地域型保育事業	幼稚園	幼稚園の 預かり保育※1	認可外保育 施設・サービス ※1、※2	障害児 通園施設
3～5歳 (すべての世帯)	全額無償	月額 2万5,700円 まで無償	月額 1万1,300円 まで無償	月額 3万7,000円 まで無償	全額無償
0～2歳 (住民税非課税世帯)	全額無償	—	—	月額 4万2,000円 まで無償	全額無償

※1: 保育の必要性の認定を受けた場合
 ※2: 認可外保育施設・サービスとは、認可を受けていない保育施設やベビーシッター等の居宅訪問型保育等を指します。
 注) 2018年10月時点で国から示されている情報です(今後変更することがありますのでご了承ください)。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域（実際に生活している場所）はどれになりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 楯岡 | 2. 西郷 | 3. 大倉 | 4. 富本 | 5. 大久保 |
| 6. 戸沢 | 7. 袖崎 | 8. 大高根 | 9. 市外 | |

問1-1 あなたの現在居住している住宅の種類はどれになりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 本人の持ち家（一戸建て） | 2. 家族の持ち家（一戸建て） |
| 3. 公営の賃貸住宅 | 4. 民営の賃貸住宅 |
| 5. 社宅などの給与住宅 | 6. その他（ ） |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問7-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問7-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問8へ |

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

⇒ 問8へ

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる方はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|---------|-----------|-------|
| 1. いる/ある | ⇒ 問8-1へ | 2. いない/ない | ⇒ 問9へ |
|----------|---------|-----------|-------|

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の方	4. 地域子育て支援拠点（子育て支援センター）の職員（ポポーのひろば、ぐんぐん、どんぐり広場）
5. 市保健課の保健師	6. 幼稚園・保育園・認定こども園・学校
7. 市の窓口	8. 子育て世代包括支援センター「ぽっぴーるーむ」
9. かかりつけの医師	10. 民生委員・児童委員
11. その他	）
【例】ベビーシッター	

<村山市の地域子育て支援拠点(子育て世代包括支援センター・子育て支援センター)>

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター「ぽっぴーるーむ」(保健センター内)	妊産婦のみなさんや子育て中のママが安心して楽しく子育てできるよう応援する相談窓口です。助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが、妊娠・出産・育児に関する一貫した相談支援を行います。母子保健コーディネーターをはじめ、保健師、管理栄養士もあわせてきめ細やかなサポートをしています。※利用は無料。
子育て支援センターポポーのひろば(甄葉プラザ内)	【NPO 法人ポポーのひろば】 毎月または季節に応じて、親子で参加出来る楽しいイベントを開催しています。
子育て支援センターぐんぐん(戸沢保育園内)	【(福)敬愛信の会】 育児に関する相談のほか育児講座、地域に出向いて子育て家庭対象のイベントなどを開催します。
子育て支援センターどんぐり広場(認定こども園ふたば大高根保育園内)	【(福)ふたば保育園】 子育て相談窓口、屋内遊び場、育児講座、地域交流の場など充実した内容です。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

母親	父親
1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、 育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、 育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

※1フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

※週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
就労日数…1週当たり □ 日	就労日数…1週当たり □ 日
就労時間…1日当たり □ □ 時間程度	就労時間…1日当たり □ □ 時間程度

(2)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親	父親
家を出る時刻 □ □ 時	家を出る時刻 □ □ 時
帰宅時刻 □ □ 時	帰宅時刻 □ □ 時

問10 問9の(1)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労した
ことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問11-1 問11で「2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」または「3. す
ぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお
進みください。

希望する就労形態をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度	2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。小学校の授業終了後や休校日に保護者が就労等により家を留守にするため、児童だけになってしまう小学生に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅 (祖父母や親族など子どものほかに誰かいる場合も含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1…現在は、多くの教室が平日未実施 (大久保フレンドクラブ、戸沢わくわく太陽塾、そでさき元気っ子 など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (たてやまキッズクラブ、コスモスキッズクラブ、GOGO キッズクラブ、はや丸キッズクラブ、さんざんキッズクラブ、洗心児童クラブ、あじさいっ子クラブ、D-ぼけっと など)	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
6. ファミリー・サポート・センター (むらやまファミリー・サポート・センターの協力会員宅、または飯塚プラザ内子育て支援センターボボーのひろばのファミサポ託児専用室)	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス (おひさま など)	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 12-1 問 12 で「1. ～3.」または「8.」に○をつけた（「4. ～7.」を利用していない）方にうかがいます。

宛名のお子さんが「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「ファミリー・サポート・センター」、「放課後等デイサービス」を現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 利用したい事業が地域にない	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
8. その他（	）
9. 特に利用する必要がない	

放課後の過ごし方の希望についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。小学校の授業終了後や休日日に保護者が就労等により家を留守にするため、児童だけになってしまう小学生に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の居場所	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅 (祖父母や親族など子どものほかに誰がいる場合も含む)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1…現在は、多くの教室が平日未実施 (大久保フレンドクラブ、戸沢わくわく太陽塾、そでさき元気っ子 など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (たてやまキッズクラブ、コスモスきっすクラブ、GOGOキッズクラブ、はや丸キッズクラブ、さんさんキッズクラブ、洗心児童クラブ、あじさいっ子クラブ、Dーほけっと など)	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
6. ファミリー・サポート・センター (むらやまファミリー・サポート・センターの協会員宅、または飯塚プラザ内子育て支援センターポポーのひろばのファミサポ託児専用室)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス (おひさま など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 14 問 13 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（（1）

（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

問 15 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---	---

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校に行けなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あった ⇒ 問 16-1へ 2. なかった ⇒ 問 17へ

問 16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. その他()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

⇒ 問 16-5へ

問 16-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

※日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問 16-3へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 16-4へ

問 16-3 問 16-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例：幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
 4. その他()

⇒ 問 17へ

問 16-4 問 16-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間
日数など)がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他() | |

⇒ 問 17 へ

問 16-1 で「3.」から「8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※「3.」から「8.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字でご記入ください(数字は
 一枠に一字)。

※1年間でお考えください。

- | |
|---|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 日 ⇒ 問 17 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 16-6 へ |

問 16-6 問 16-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます。

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	⑥ その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

問 17で「1.あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒①以外を選択した方は 問 18へ

問 17-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

すべての方に、子育ての情報源や悩んでいることについてうかがいます。

問 18 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族や親族 2. 友人や知人 3. 近所の方
 4. 子育て仲間 5. 幼稚園、保育園、認定こども園、学校
 6. 市の窓口や子育て世代包括支援センター「ぼっぴーるーむ」
 7. 子育て支援センター「ボポーのひろば」「ぐんぐん」「どんぐり広場」
 8. 市の広報やパンフレット 9. 市のホームページやフェイスブック
 10. 子育て支援アプリ「すくすく村山」
 11. インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS
 12. 子育て雑誌・育児書 13. テレビ、ラジオ、新聞
 14. その他（ ）
 15. 情報の入手先がない 16. 情報の入手手段がわからない

問 19 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になるのはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 病気や発育・発達に関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと	4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもを可愛く思えないこと	6. 家族の手助けがなかなか得られないこと
7. 話し相手や相談相手がいないこと	8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)	10. 家族間で子育て方針が異なること
11. 子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がわからないこと	
12. 子どもとの時間が十分にとれないこと	
13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	
14. その他 ()	
15. 特になし	

問 20 お子さんの父親は、育児にどのくらい参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○)

※母子家庭の場合は回答は不要です。

1. 十分積極的に参加している	2. 積極的に参加している
3. どちらかといえば参加している	4. あまり参加していない
5. ほとんど参加していない	

すべての方に、村山市の子育て環境についてうかがいます。

問 21 教育・保育・学校の環境について望むことは何ですか。(あてはまる番号 3 つまでに○)

1. 自宅や職場などの近所にあること	2. 延長保育や預かり保育、放課後児童クラブなどが利用できること
3. 同年代の子ども同士が多数で過ごせること	4. 少数体制で子どもを見てもらえること
5. 子どもの安全体制が十分なこと	6. 行事など豊かな体験活動ができること
7. 保育士・先生等が充足していること	8. 保育士・先生等が熱意をもっていること
9. 相談しやすい環境が整っていること	10. 情報発信・共有の環境が整っていること
11. 給食費が無料であること	12. 冷暖房などの環境が整っていること
13. 清潔な施設であること	14. バリアフリー、ユニバーサルデザインの施設であること
15. その他 ()	

問 22 村山市では独自の子育て支援を行っています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑬の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない どちらかも	そう思わない あまり	そう思わない
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ ピロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 23 村山市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑩の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑩の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号 1 つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない	どちらとも そう思わない	あまり そう思わない
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 24 あなたは、村山市の住みやすさについてどう感じていますか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい	

問 25 あなたは、今後も村山市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. これからも(可能な限り)住み続けたい	⇒問 26 へ
2. 機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない	} ⇒問 25-1 へ
3. 近い将来市外へ出る予定がある、または計画している	
4. 今はまだわからない	

問 25-1 問 25 で「2.」～「4.」と回答された方(“転出の可能性のある方”)におうかがいします。あなたは、どのようになれば、現住地で住み続けたい・離れても戻ってきたいと思えますか。重要な理由の順に最大 3 つまで選び、それぞれの 1 番目から 3 番目の欄に番号を記入してください。

1 番目

2 番目

3 番目

1. 住む家や土地が提供されれば	2. 希望する仕事があれば
3. 税金が安ければ	4. 娯楽施設が多ければ
5. 都会にあるような商業施設が多ければ	6. 子育て支援が充実していれば
7. 医療・福祉サービスが充実していれば	8. 雪対策ができていれば
9. 公共交通機関が便利であれば	10. 企業の賃金が高ければ
11. 人と人のつながりが充実していれば	12. その他()
13. 特にない	

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号 1 つに○)

満足度が低い	←—————→	満足度が高い
1	2 3 4	5

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発行日 平成31年3月
発行元 村山市子育て支援課
住所 山形県村山市中央一丁目3番6号 〒995-8666
連絡先 TEL 0237-55-2111（内線163）
FAX 0237-55-7577
<https://www.city.murayama.lg.jp>
集計・分析 株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所